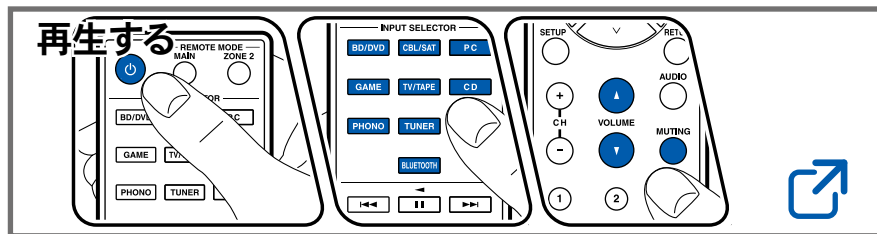
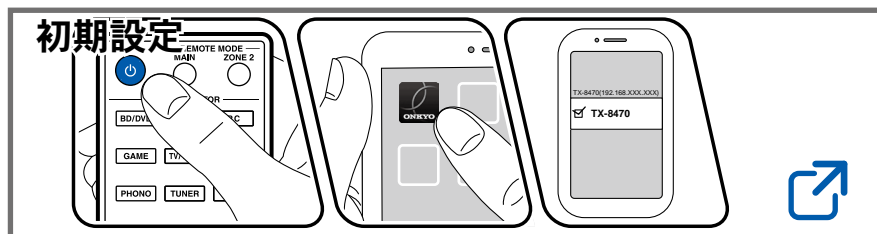
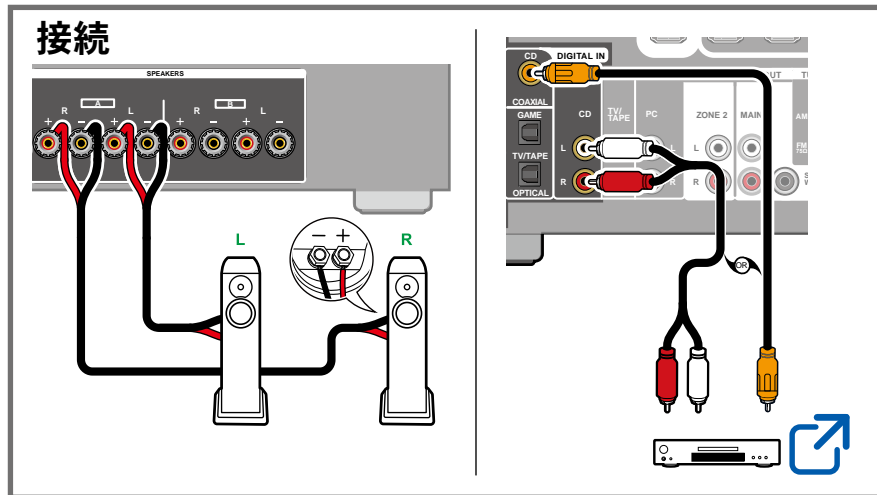


ONKYO

NETWORK STEREO RECEIVER /
NETWORK STEREO AMPLIFIER

TX-8470

目次



ファームウェアアップデートについて

困ったときは

追補情報

待機時消費電力を抑えるには

次の機能を有効に設定している場合は、スタンバイ時の消費電力が増加します。スタンバイ時の消費電力を抑えるには、各設定の内容を確認したうえで、設定を「オフ」にしてください。

- HDMI CEC (→p74)
- HDMIスタンバイスルー (→p74)
- ネットワークスタンバイ (→p75)
- Bluetoothによる起動 (→p75)

□ 目次の詳細 (次のページ)



はじめにお読みください	6	オーディオ機器との接続	26
ファームウェアアップデートについて	7	別室のプリメインアンプと接続する (マルチゾーン)	27
ファームウェアの更新情報について	7	アンテナを接続する	
本機のファームウェアバージョンの確認	7	(北米モデルとヨーロッパモデル)	28
ファームウェアアップデートの手順	7	ネットワークに接続する	29
各部の名前	10	電源コードを接続する	30
前面パネル	10	はじめにお読みください	32
表示部	12	1. アプリをインストールする	32
後面パネル	13	2. 本機をWi-Fiに接続する	33
リモコン	15	インピーダンスを設定する	33
文字を入力する	16	再生する	
接続		基本の操作	35
本機で使用できるスピーカーとケーブルの接続について	18	電源を入れる	35
スピーカーのレイアウト	19	再生するソースを選択する	35
スピーカーを接続する	20	音量を調節する	36
サブウーファーを接続する	21	音質や左右の音量バランスを調節する	36
パワーアンプを接続する	22	スピーカーを切り換える	37
HDMIケーブルの接続と注意点	23	連動機能を使う (HDMI CEC)	37
接続について	23	表示を切り換える	38
テレビを接続する	24	Bluetooth® 再生	39
ARC/eARC対応テレビとの接続	24	Bluetooth対応機器の音声を本機で再生する	39
ARC非対応テレビとの接続	24	本機からBluetooth対応機器へ音声を送信する	40
再生機器を接続する	25	ラジオを聴く	42
ブルーレイディスク/DVDプレーヤーやゲーム機との接続	25	AM/FMラジオを聴く	42



放送局を登録する	44
Spotify	45
AirPlay®	46
本機で再生する	46
複数の機器で再生する (AirPlay2)	47
Amazon Alexa	48
本機をAmazonアカウントに登録する	48
本機を操作する	49
Amazon Music	50
本機をAmazon Musicに登録する	50
Onkyo Controllerを使ってAmazon Musicを再生する	51
リモコンを使ってAmazon Musicを再生する	51
Sonosシステムと接続して再生する	52
必要な機器	52
本機とSonos Portとの接続方法	52
設定する	52
Sonosを本機で再生する	53
インターネットラジオ	54
再生する	54
マルチゾーン	56
再生する(ゾーン 2)	57
別々の音声と映像を再生する	59
音楽を再生しながら、お好みの映像をテレビに映す	59
MY INPUTを使う	60

登録できる設定内容について	60
登録する	60
登録した設定を使用する	60
USBストレージに保存された音楽ファイルを再生する	61
再生する	61
USBストレージについて	62
Music Server	63
Music Serverについて	63
Windows Media® Player 12 の設定をする	63
再生する	64
Play Queue	66
Play Queue情報の追加	66
並び替えや削除	66
再生する	67

設定する

システム設定	69
メニューリスト	69
1. オーディオ	73
2. コントロール	74
3. ネットワーク	76
4. Bluetooth	79
5. Works with SONOS	81
6. ファームウェアアップデート	82
7. ロック	82

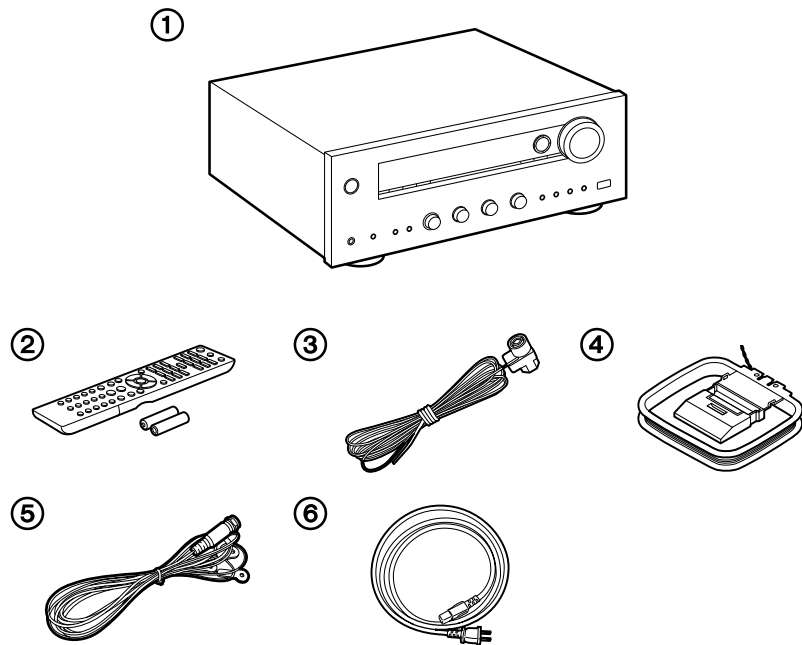


8. ファクトリーリセット	83
Web Setup	84
メニュー操作	84
困ったときは	
はじめにお読みください	86
動作が不安定なときは	87
電源を入れたときに表示される初期設定をオフにする	88
故障かなと思ったら	89
仕様について	
主な仕様	97



はじめにお読みください

■ 箱の中身を確認する



- ① 本体(1)
- ② リモコン (RC-903S) (1)
乾電池 (AAA/R03) (2) (一部のモデルのみ)
- ③ FM室内アンテナ (北米モデルのみ) (1)
- ④ AM室内アンテナ (北米モデルのみ) (1)
- ⑤ DAB/FM アンテナ (ヨーロッパモデルのみ) (1)
- ⑥ 電源コード(1) *モデルによっては、電源コードが2本以上同梱されています。適切な形状のコードをお使いください。
 - 初期設定ガイド (1)
 - 安全上のご注意 (1)

* 本書はオンライン版の取扱説明書です。製品には付属していません。

■ ご注意

- スピーカーはインピーダンスが4~16Ωのものを接続してください。
- 電源コードは、すべてのケーブル接続が完了してから接続してください。
- 他社製品との接続により生じたいかなる損害に対しても、当社では責任を負いかねます。
- お使いいただけるネットワークサービスやコンテンツは、ファームウェアのアップデートにより新しい機能が追加されたり、サービスプロバイダーのサービス終了などによりご利用できなくなる場合があります。また、お住まいの地域によって利用可能なサービスが異なる場合があります。
- ファームウェアアップデートの詳細については、弊社ホームページなどでお知らせいたします。
- 本書で使用するイラストは特に記載がない限り、北米モデルのイラストを使用しております。
- 仕様および外観は予告なく変更する場合があります。



ファームウェアアップデートについて

免責事項：本プログラムおよび付随するオンラインドキュメンテーションは、お客様の責任においてご使用いただくために提供されます。

弊社は、法理に関わらず、また不法行為や契約から生じるかを問わず、本プログラムまたは付随するオンラインドキュメンテーションの使用に際して生じたいかなる損害および請求に対して責任を負うものではなく、賠償することはありません。

弊社は、いかなる場合においても、補償、弁済、損失利益または逸失利益、データの損失その他の理由により生じた損害を含む（ただしこれらに限定されない）、特別損害、間接的損害、付随的又は派生的損害について、お客様または第三者に対して一切の責任を負いません。

ファームウェアの更新情報について

最新のファームウェアの更新内容や、ファームウェアバージョンについては、ホームページでご確認ください。

- 本機をネットワーク接続している場合、ファームウェアの更新の通知が表示される場合があります。アップデートを行う場合は、リモコンのカーソルボタンで、「Update Now」を選んでENTERボタンで決定してください。「Completed!」が表示された後に、本機は自動でスタンバイ状態になり、更新が完了します。

本機のファームウェアバージョンの確認

お持ちの製品のファームウェアを確認するには、リモコンのSETUPボタンを押し、「6. ファームウェアアップデート」-「バージョン」(→[p82](#))を参照ください。

ファームウェアアップデートの手順

更新には約20分かかります。また、どちらの方法で更新しても設定した内容は保持されます。

ネットワーク経由で更新する

- 更新中は、以下のことを行わないでください。
 - ケーブルやUSBストレージ、ヘッドホンの抜き差し、電源を切るなど機器の操作
 - PCやスマートフォンのアプリケーションからの本機へのアクセス
 - 本機の電源が入っていること、インターネットに接続していることを確認してください。
 - ネットワークに接続されたコントロール機器（PCなど）の電源を切ってください。
 - 再生中のインターネットラジオ、USBまたは、サーバーなどを止めてください。
 - マルチゾーン機能を使用している場合は、機能をオフにしてください。
 - 「HDMI CEC」設定を「オン」にしている場合は、「オフ」にしてください。
 - SETUPボタンを押します。次に「2. コントロール」を選び、ENTERを押したあと、「HDMI CEC」を選び、「オフ」を選びます。
- * 記載が画面の実際の表示と異なる場合がありますが、操作や機能は変わりません。

Update

1. SETUPボタンを押します。
テレビ画面にセットアップメニューが表示されます。
2. カーソルで「6. ファームウェアアップデート」-「ネットワーク経由のアップデート」を順に選び、ENTERを押します。
 - 「6. ファームウェアアップデート」が選べない場合は、システムが起動するまでしばらくお待ちください。
 - 更新可能なファームウェアが存在しない場合、「ネットワーク経由のアップデート」は選べません。
3. 「アップデート」が選ばれた状態で、ENTERを押して更新を開始します。
 - 書き換えるプログラムによっては途中でテレビ画面が消える場合があります。その場合、進行状況は本体の表示部で確認できます。書き込みが完了して再度電源を入れるまで、テレビ画面には何も表示されません。
 - 「Completed!」が表示されると、更新完了です。
4. 本体のON/STANDBYを押して、本機をスタンバイ状態にします。これでアップデートが完了して、最新のファームウェアに更新されました。
 - リモコンの \odot は使用しないでください。



エラーが表示されたときは

エラー時は、本体の表示部に「*-** Error!」と表示されます。（「*」は表示される英数字を表しています。）以下の説明を参照し、確認してください。

エラーコード

- *-01、*-10:
LANケーブルが認識できません。LANケーブルを正しく接続してください。
- *-02、*-03、*-04、*-05、*-06、*-11、*-13、*-14、*-16、*-17、*-18、*-20、*-21:
インターネットに接続できません。以下の項目を確認してください。
 - ルーターの電源が入っている
 - 本機とルーターがネットワーク接続されている本機およびルーターの電源の抜き差しをお試しください。改善することがあります。それでもインターネットにつながらない場合は、DNSサーバーまたはプロキシサーバーが停止している可能性があります。サーバーの稼働状況をプロバイダにご確認ください。
- その他:
一度電源プラグを抜いたあとコンセントに差し込み、最初からやり直してください。

USB経由で更新する

- 更新中は、以下のことを行わないでください。
 - ケーブルやUSBストレージ、ヘッドホンの抜き差し、電源を切るなど機器の操作
 - PCやスマートフォンのアプリケーションからの本機へのアクセス
- 1 GB以上の容量のUSBストレージを準備してください。USBストレージのフォーマットは、FAT16、FAT32に対応しています。
 - USBカードリーダーに挿入したメディアは、この機能で使えないことがあります。
 - セキュリティ機能付きのUSBストレージには対応していません。
 - ハブおよびハブ機能付きUSB機器に対応していません。これらの機器を本機に接続しないでください。
- USBストレージにデータがある場合は消去してください。
- ネットワークに接続されたコントロール機器（PCなど）の電源を切ってください。
- 再生中のインターネットラジオ、USBまたは、サーバーなどを止めてください。
- マルチゾーン機能を使用している場合は、機能をオフにしてください。
- 「HDMI CEC」の設定を「オン」にしている場合は、「オフ」にしてください。
 - SETUPボタンを押します。次に「2. コントロール」を選び、ENTERを押したあと、「HDMI CEC」を選び、「オフ」を選びます。
 - * USBストレージやその内容によっては、読み込みに時間がかかる場合、正しく内容を読み込めない場合、電源が正しく供給されなかったりする場合があります。
 - * USBストレージの使用に際して、データの損失や変更、ストレージの故障などが発生しても、弊社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
 - * 記載が画面の実際の表示と異なる場合がありますが、操作や機能は変わりません。

アップデート

1. お使いのPCにUSBストレージを接続します。
2. 弊社ホームページからお使いのPCにファームウェアファイルをダウンロードして、解凍します。
ファームウェアには、以下のようなファイル名が付いています。
ONKAVER****_R****.zip
PC上でこのファイルを解凍してください。機種により、ファイルやフォルダの数は異なります。
3. 解凍したファイルやフォルダをすべてUSBストレージのルートフォルダにコピーします。
 - 必ず解凍したファイルをコピーしてください。
4. USBストレージを本機のUSB端子に接続します。
 - USBストレージにACアダプターが付属している場合は、ACアダプターをつないで家庭用電源でお使いください。
 - USBストレージがパーティションで区切られている場合、本機では複数のUSBストレージとして認識されます。



5. SETUPを押します。
テレビ画面にセットアップメニューが表示されます。
6. カーソルで「6. ファームウェアアップデート」-「USB経由のアップデート」を順に選び、ENTERを押します。
 - 「6. ファームウェアアップデート」が選べない場合は、システムが起動するまでしばらくお待ちください。
 - 更新可能なファームウェアが存在しない場合、「USB経由のアップデート」は選べません。
7. 「アップデート」が選ばれた状態で、ENTERを押して更新を開始します。
 - 書き換えるプログラムによっては途中でテレビ画面が消える場合があります。その場合、進行状況は本体の表示部で確認できます。書き込みが完了して再度電源を入れるまで、テレビ画面には何も表示されません。
 - 更新中は、電源を切ったり、USBストレージを抜き差ししないでください。
 - 「Completed!」が表示されると、更新完了です。
8. 本機からUSBストレージを抜きます。
9. 本体のON/STANDBYを押して、本機をスタンバイ状態にします。これでアップデートが完了して、最新のファームウェアに更新されました。
 - リモコンのは使用しないでください。

エラーが表示されたときは

エラー時は、本体の表示部に「*-** Error!」と表示されます。（「*」は表示される英数字を表しています。）以下の説明を参照し、確認してください。

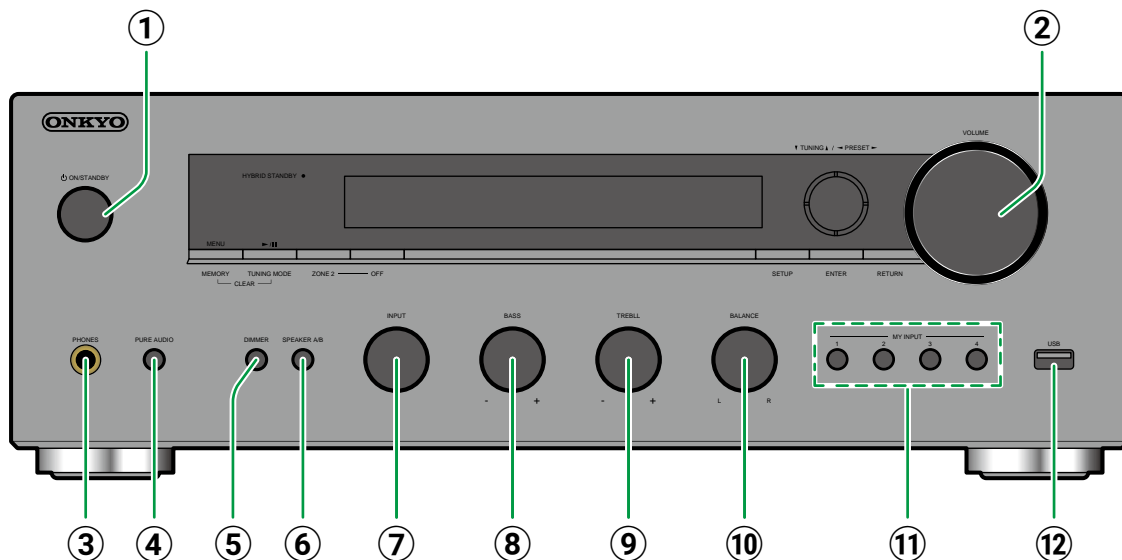
エラーコード

- *-01、*-10:
USBストレージが認識できません。USBストレージやUSBケーブルが、本機のUSB端子にしっかりと差し込まれているか確認してください。
USBストレージで外部電源を供給できる製品は、外部電源をご使用ください。
- *-05、*-13、*-20、*-21:
USBストレージのルートフォルダにファームウェアファイルが存在しない、お使いの機種と異なるファームウェアファイルが使用されている、などが考えられます。再度ファームウェアファイルのダウンロードからやり直してください。
- その他:
一度電源プラグを抜いたあとコンセントに差し込み、最初からやり直してください。



各部の名前

前面パネル



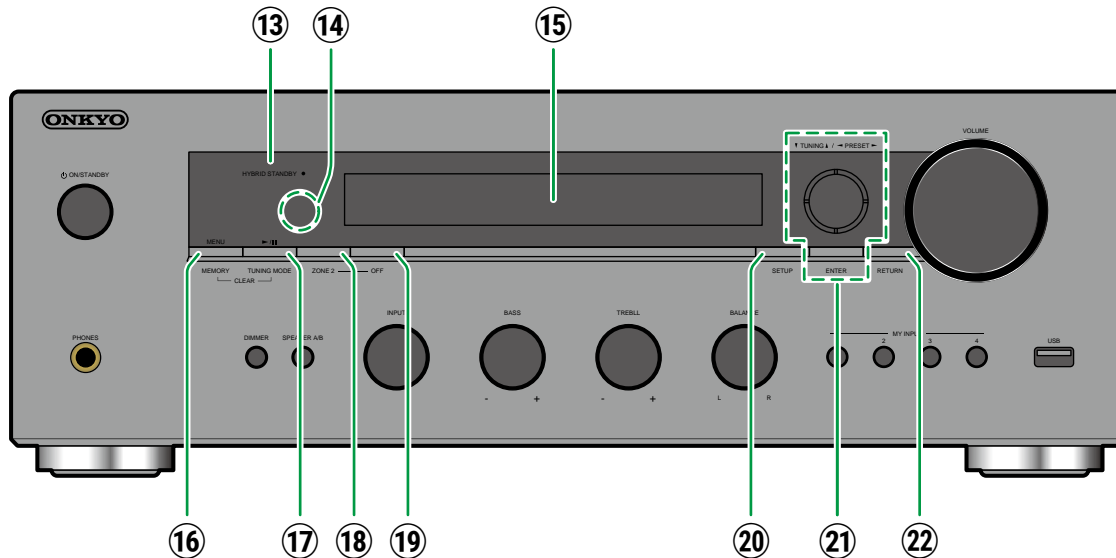
- ⑤ **DIMMERボタン** (北米、中東、オーストラリア、アジアモデル): 表示部の明るさを3段階で切り換えることができます。完全に消灯することはできません。
RT/PTY ボタン (ヨーロッパモデル): 文字情報を配信している放送局を受信するときに使用します。
- ⑥ **SPEAKER A/B ボタン**: 音声を出力する端子を SPEAKERS A/B 端子から選びます。
- ⑦ **INPUT ダイヤル**: 再生する入力を切り換えます。
- ⑧ **BASS ダイヤル**: 低音を調整します。
- ⑨ **TREBLE ダイヤル**: 高音を調整します。
- ⑩ **BALANCE ダイヤル**: 左右のスピーカーから出力される音のバランスを調整します。
- ⑪ **MY INPUTボタン**: 現在の入力切り換えやリスニングモードなどの設定状態を登録したり、呼び出したりします。(→p60)
- ⑫ **USB 端子**: USB ストレージを接続して音楽ファイルを再生します。USBケーブルを使用して、USB 機器への電源供給 (5 V/1 A) も可能です。

- ① **ON/STANDBYボタン**
- ② **VOLUMEダイヤル**
- ③ **PHONES端子**: 標準プラグ (φ1/4" /6.3 mm) のヘッドホンを接続します。

- ④ **PURE AUDIO ボタン/ LEDインジケーター**: よりピュアな音質が楽しめるPure Audio モードをオン/ オフします。オンにするとLEDインジケーターが点灯し、表示部は消灯、「Bass」と「Treble」の設定は無効になります。
 - マルチゾーン機能をオンにすると、Pure Audio モードは解除されます。



前面パネル



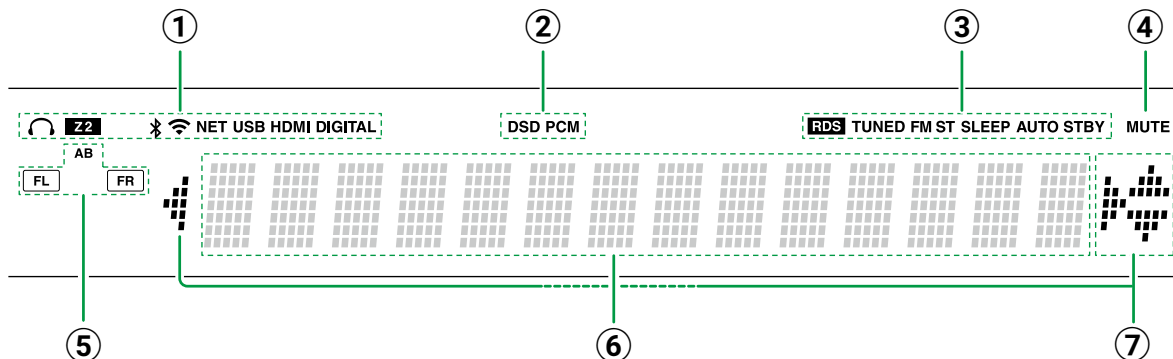
⑬ **HYBRID STANDBYインジケータ**: 本機がスタンバイ時に、次のいずれかの機能を有効に設定している場合や、機能が働いている状態のときに点灯します。点灯しているときは、スタンバイ時での消費電力が増加しますが、必要最小限の回路のみが作動するHYBRID STANDBYモードとなり、消費電力の増加を最小限に抑制しています。

- HDMI CEC (→p74)
- HDMIスタンバイスルー (→p74)
- ネットワークスタンバイ (→p75)
- Bluetoothによる起動 (→p75)

- ⑭ **リモコン受光部**: リモコンからの信号を受信します。
 - リモコンの受光範囲は距離が約16¹/₅ m、角度は上下20°、左右30°以内です。
- ⑮ **表示部** (→p12)
- ⑯ **MENU ボタン**: メニューを表示するときに使用します。
MEMORY ボタン (北米モデルとヨーロッパモデル): AM/FM/DAB 放送局を登録するときに使用します。
- ⑰ **再生(▶)/一時停止(⏸) ボタン**: Music Server や USB 再生の再生操作に使用します。
TUNING MODE ボタン (北米モデルとヨーロッパモデル): AM/FM 放送局の自動選局/手動選局の切り換えや、DAB 放送局の表示順を選ぶときに使用します。
- ⑱ **ZONE 2ボタン**: マルチゾーン機能の操作に使用します。(→p56)
- ⑲ **OFF ボタン**: マルチゾーン機能をオフにします。
- ⑳ **SETUPボタン**: 本機をより深くお楽しみいただくための応用的な設定項目をテレビや表示部に表示することができます。(→p69)
- ㉑ **カーソル(▲/▼/◀/▶)、ENTERボタン**: カーソルで項目を選び、ENTERで決定します。チューナー使用時には選局に使用します。(→p42)
- ㉒ **RETURNボタン**: 設定中にひとつ前の表示に戻します。



表示部



① 次の状態のときに点灯します。

🎧: ヘッドホン接続時

Z2: ZONE 2がオンのとき

📶: Bluetooth接続時

📶: Wi-Fi接続時

NET: 「NET」入力切替でネットワークに接続されているとき。ネットワークに正しく接続されていないときは点滅します。

USB: 「NET」入力切替でUSBが接続かつ選択されているとき。USBが正しく接続されていないときは点滅します。

HDMI: HDMI信号が入力かつ選択されているとき

DIGITAL: デジタル信号が入力かつ選択されているとき

② 入力されているデジタル音声信号の種類に応じて点灯します。

③ 次の状態のときに点灯します。

TUNED: DAB (ヨーロッパモデル)/AM (北米モデル)/FM (北米モデルとヨーロッパモデル)放送局の受信時

FM ST: FM ステレオ局の受信時

SLEEP: スリープタイマーが設定されているとき

AUTO STBY: 自動スタンバイが設定されているとき(→p75)

④ MUTE: 消音中に点滅します。

⑤ **スピーカー/チャンネル表示:** スピーカーの出力チャンネルを表示します。

A: SPEAKERS A端子から音声を出力しているとき

B: SPEAKERS B端子から音声を出力しているとき

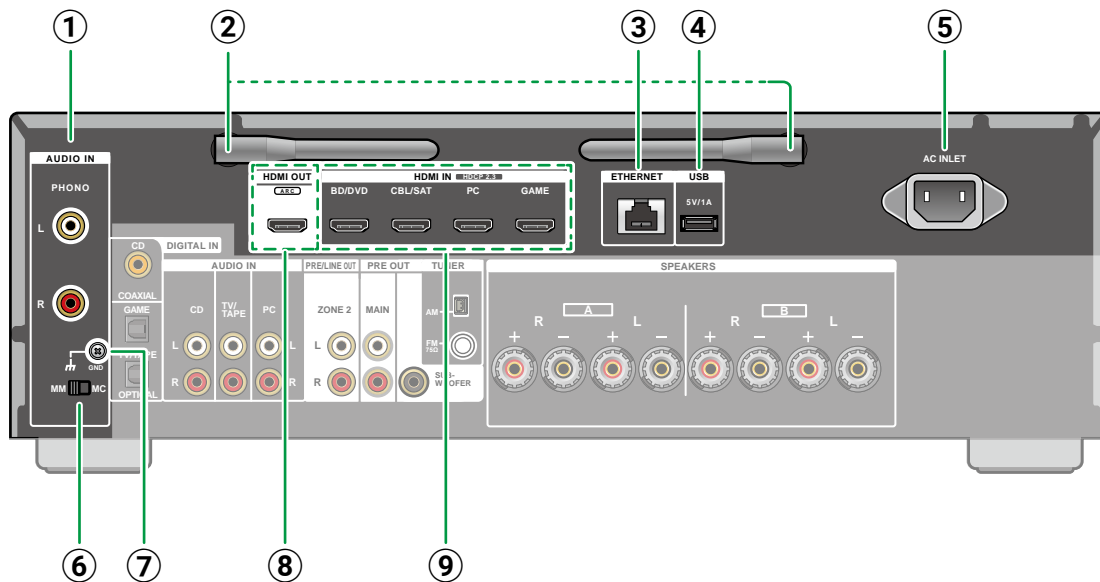
AB: SPEAKERS A端子とSPEAKERS B端子の両方から音声を出力しているとき

⑥ 入力信号のさまざまな情報を表示します。

⑦ **カーソル(Λ/V/</>):** 「NET」入力切替での操作時に点灯することがあります。Λ/Vは選択可能なフォルダやファイルが複数存在するときに点灯します。</>は文字情報が「⑥」の範囲内に収まらない場合に点灯します。



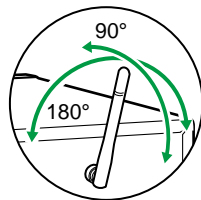
後面パネル



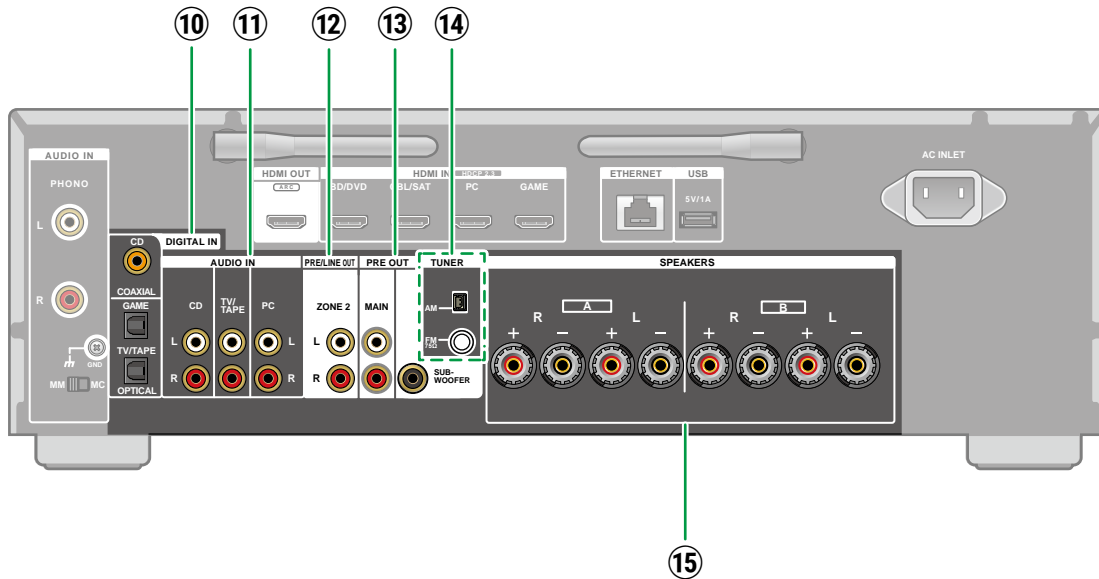
① **PHONO端子**: オーディオ用ピンケーブルを使用してMM型、またはMC型カートリッジのレコードプレーヤーを接続します。

② **無線アンテナ**: Wi-Fi接続を行う場合や、Bluetooth対応機器をご使用の場合に使用します。接続状況に応じて、アンテナの角度を調整してください。

- ③ **ETHERNET端子**: LANケーブルを使用して、ネットワークに接続します。
- ④ **USB端子**: USBストレージを接続して音楽ファイルを再生します(→p61)。USBケーブルを使用して、USB機器への電源供給(5 V/1 A)も可能です。
- ⑤ **AC INLET**: 付属の電源コードを接続します。
- ⑥ **MM/MC 切換スイッチ**: レコードプレーヤーのカートリッジの形式(MM型/MC型)に合わせて切り換えます。
- ⑦ **GND端子**: レコードプレーヤーのアース線を接続します。
- ⑧ **HDMI OUT端子**: HDMIケーブルを使用してテレビやプロジェクターなどのモニターと接続し、映像信号や音声信号を伝送します。
- ⑨ **HDMI IN端子**: HDMIケーブルを使用してAV機器と接続し、映像信号や音声信号を伝送します。



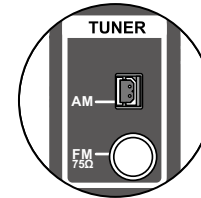
後面パネル



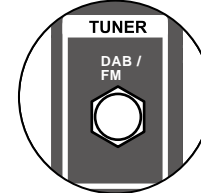
- ⑩ DIGITAL IN OPTICAL/COAXIAL端子:** 光デジタルケーブルまたは同軸デジタルケーブルを使用して、テレビやAV機器のデジタル音声信号を入力します。
- ⑪ AUDIO IN端子:** オーディオ用ピンケーブルを使用して、AV機器の音声信号を入力します。
*チューナー非搭載のモデルは、「PC」の端子名が「TUNER」に変わります。

- ⑫ ZONE 2 PRE/LINE OUT端子:** オーディオ用ピンケーブルを使用して、別室(ゾーン2)のプリメインアンプと接続し、音声信号を出力します。
- ⑬ MAIN PRE OUT端子:** パワーアンプを接続します。(→p22)
SUBWOOFER PRE OUT端子: サブウーファーケーブルを使用して、アンプ内蔵サブウーファーを接続します。

- ⑭ TUNER AM/FM端子 (北米モデル):** 付属のアンテナを接続します。



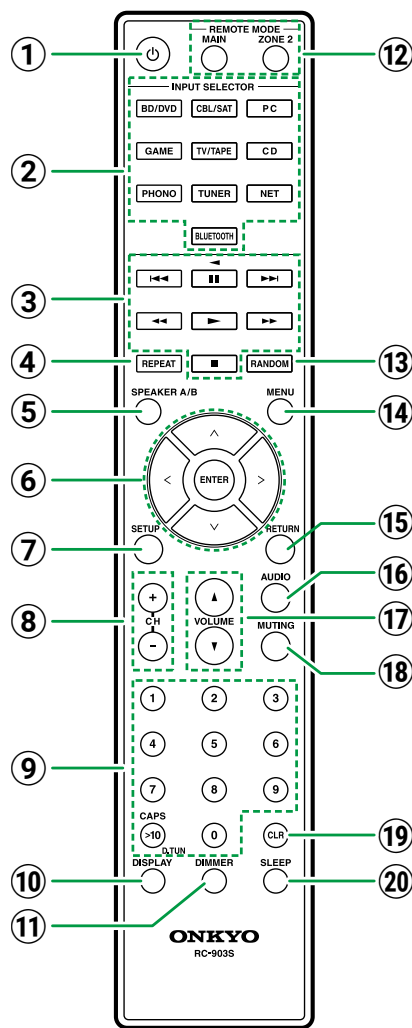
- TUNER DAB/FM端子 (ヨーロッパモデル):** 付属のアンテナを接続します。



- ⑮ SPEAKERS端子:** スピーカーケーブルを使用して、スピーカーを接続します。(北米と日本モデルはバナナプラグに対応しています。直径が4 mmのプラグをお使いください。)
Yプラグの接続には対応していません。



リモコン



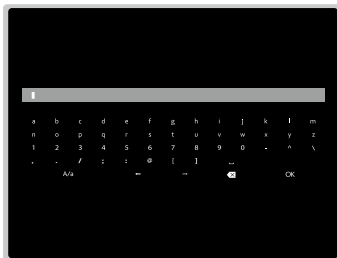
- ① **ON/STANDBYボタン**
- ② **INPUT SELECTOR ボタン**: 再生する入力を切り換えます。
- ③ **再生操作ボタン**: Music Server (→p63)やUSB再生(→p61)の再生操作に使用します。
- ④ **REPEATボタン**: Music Server やUSB 再生時にリピート再生の操作に使用します。1トラックリピート、フォルダリピートに切り換わります。
- ⑤ **SPEAKER A/B ボタン**: 音声を出力する端子をSPEAKERS A/B 端子から選びます。
- ⑥ **カーソル、ENTER ボタン**: カーソルで項目を選び、ENTER で決定します。</> 左/右 ボタンは、テレビの画面で音楽フォルダやファイルなどのリストが一画面で表示されない場合に、画面を切り換えることができます。
- ⑦ **SETUP ボタン**: 本機をより深くお楽しみいただくための応用的な設定項目をテレビや表示部に表示することができます。(→p69)
- ⑧ **CH (+/-) ボタン**: 登録したDAB (ヨーロッパモデル)/AM (北米モデル)/FM (北米モデルとヨーロッパモデル)放送局を選びます。
- ⑨ **数字ボタン**
- ⑩ **DISPLAY ボタン**: 表示部の情報を切り換えます。再生中にくり返し押すと、入力ソースや音量、入力フォーマットなどの情報が表示されます。
- ⑪ **DIMMER ボタン**: 表示部の明るさを3段階で切り換えることができます。完全に消灯することはできません。
- ⑫ **REMOTE MODE MAIN/ZONE 2 ボタン**: マルチゾーン機能(→p56)の操作に使用します。
- ⑬ **RANDOM ボタン**: Music Server やUSB 再生時にランダム再生の操作に使用します。押すたびに (ランダム) をオン/ オフします。
- ⑭ **MENU ボタン**: メニューを表示するときに使用します。
- ⑮ **RETURN ボタン**: 設定中にひとつ前の表示に戻します。
- ⑯ **AUDIO ボタン**: 低音と高音の強弱や、左右の音量バランスなどを調整することができます。(→p36)。
- ⑰ **VOLUME ボタン**
- ⑱ **MUTING ボタン**: 一時的に消音します。もう一度押すと消音状態を解除できます。
- ⑲ **CLR ボタン**: TV 画面での文字入力時に、入力した文字をすべて消去します。
- ⑳ **SLEEPボタン**: 指定した時間が経過したら、本機を自動的にスタンバイ状態にすることができます。「30 min」、「60 min」、「90 min」、「オフ」から選びます。自動的にスタンバイ状態にしない場合は「オフ」を選びます。



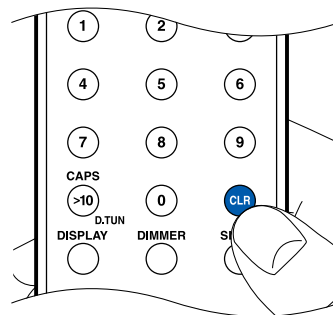
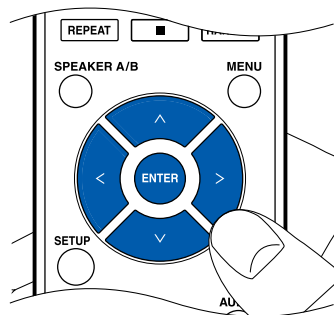
文字を入力する

Wi-Fi Setup (→p76)でのパスワードの入力をテレビ画面に表示したキーボードで行うことができます。

1. リモコンのカーソル \wedge / \vee / \lt / \gt 上/下/左/右で文字・記号を選び、ENTERボタンを押します。
2. 入力を終えて、文字を保存するときは「OK」を選び、ENTERボタンを押します。

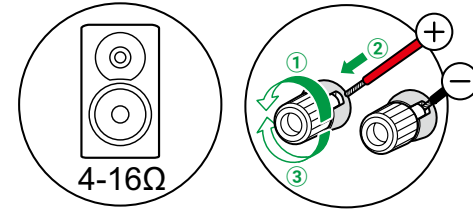


- 大文字/小文字の切り換えは「A/a」を選びます。
- 1文字分スペースを入れるには、「□」を選びます。
- カーソルの左側の文字を1文字消去するには、「☒」を選びます。
- 入力した文字をすべて消去するには、リモコンのCLRボタンを押します。



接続

(はじめにお読みください)
本機で使用できるスピーカーとケーブルの接続について 18



スピーカーのレイアウト	19
スピーカーを接続する	20
サブウーファーを接続する	21
パワーアンプを接続する	22
HDMIケーブルの接続と注意点	23
テレビを接続する	24
再生機器を接続する	25
別室のプリメインアンプと接続する (マルチゾーン)	27
アンテナを接続する (北米モデルとヨーロッパモデル)	28
ネットワークに接続する	29
電源コードを接続する	30



本機で使用できるスピーカーとケーブルの接続について

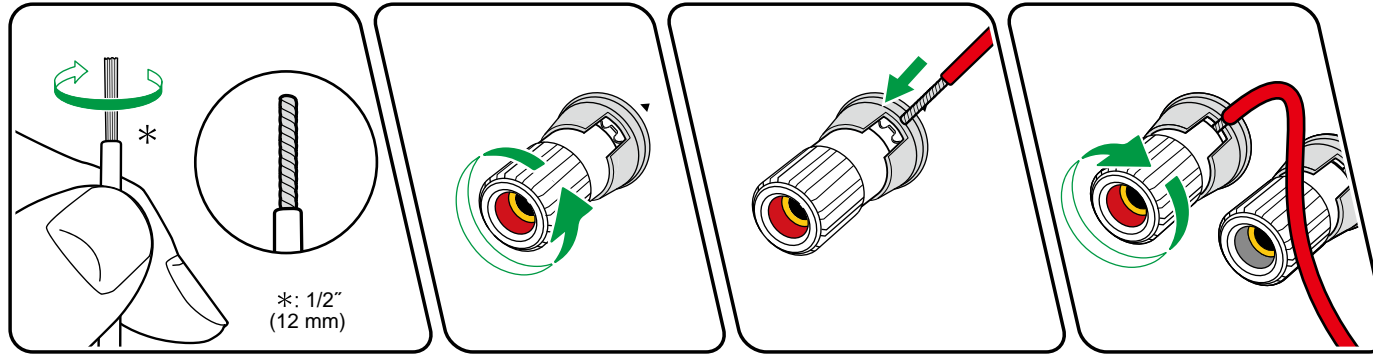
■ 本機で使用できるスピーカー

本機はスピーカーのインピーダンスが4~16 Ωのスピーカーに対応しています。スピーカーのインピーダンスについては、使用するスピーカーの取扱説明書をご確認ください。

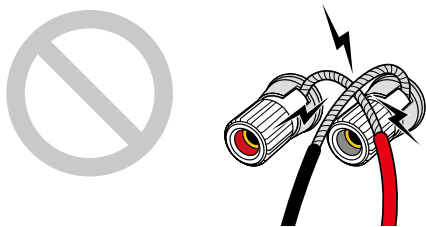
■ (ご注意) スピーカーインピーダンスについて

接続するスピーカーの中に4 Ω 以上6 Ω 未満のスピーカーが1 台でもあるときは、インピーダンスの設定が必要です。リモコンのSETUPボタンを押し、「1. オーディオ」-「スピーカーインピーダンス」(→p73)を「4オーム」に設定してください。また、スピーカーを2セット接続して同時に音声を出力する場合は、インピーダンスが8Ω~16Ω のものを接続してください。

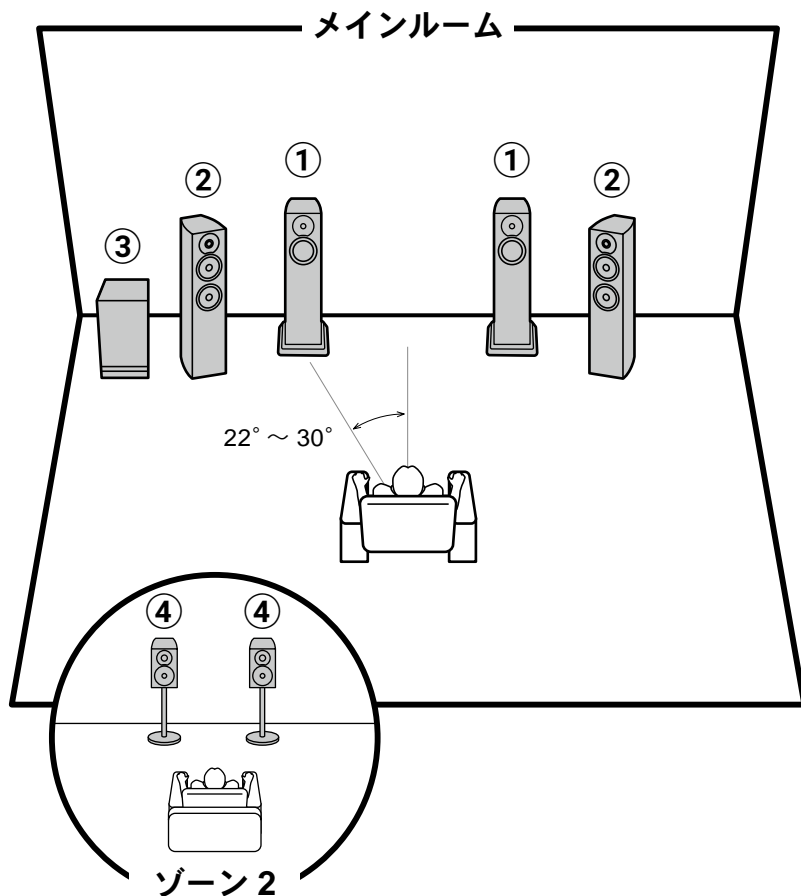
■ スピーカーケーブルを接続する



本機の端子の+側とスピーカーの+側を、-側は-側とを、チャンネルごとに必ず合わせて接続してください。間違えて接続すると、位相が逆になり低音が出にくくなります。スピーカーケーブル先端の芯線はしっかりよじるなどして、芯線がスピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルに接触したり、+側と-側が接触すると故障の原因となることがあります。



スピーカーのレイアウト

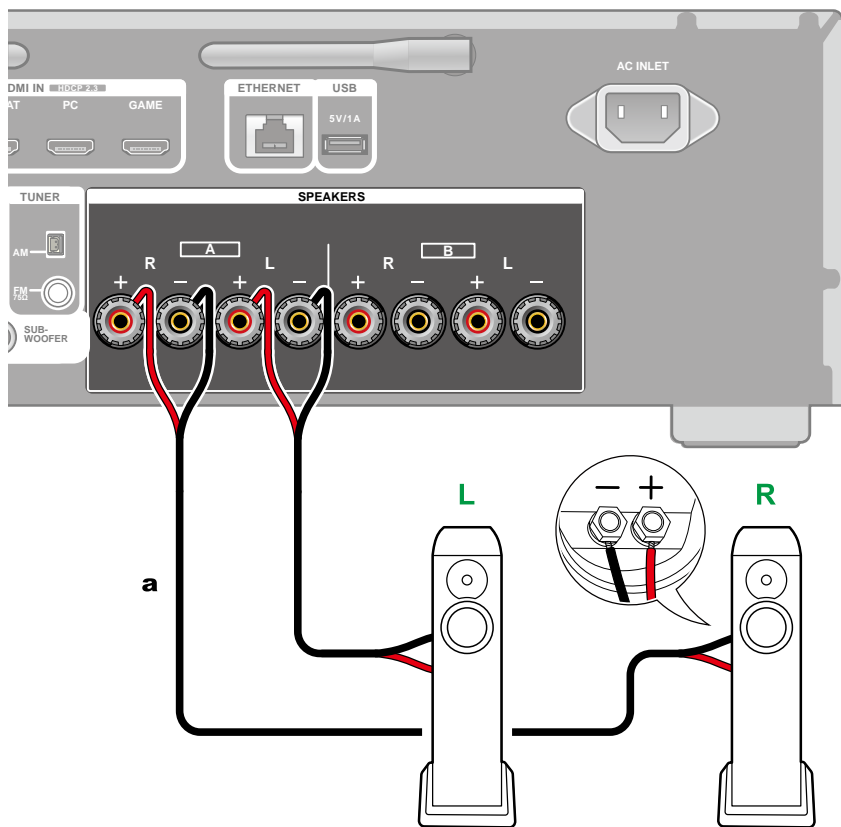


- ① スピーカー A
SPEAKERS A端子に接続するスピーカーです。メインルーム（本機のある部屋）に設置します。
- ② スピーカー B
本機はスピーカーシステムをもう1系統接続することができます。スピーカーはSPEAKERS B端子に接続します。
- ③ アンプ内蔵サブウーファー
アンプ内蔵サブウーファーは重低音を再生し、音場の密度感を高めます。(→p21)
- ④ ZONE 2 スピーカー
別室（ゾーン2）に設置するスピーカーシステムです。メインルームと別室で同時に同じソースを再生することや、別々のソースを再生することもできます。なお、ZONE 2 スピーカーを使用するには、別途アンプが必要になります。(→p27)

□ スピーカーを接続する (→p20)



スピーカーを接続する



a スピーカーケーブル

スピーカーケーブルを使用して、本機とスピーカーを接続します。

- 本機には2セットのスピーカーを接続できます。音楽を鑑賞するときに、どちらのスピーカーから音を出すか選択できます。また、両方のスピーカーから音を出すこともできます。

音声出力の切り換え操作は、リモコンまたは本体のSPEAKER A/Bボタンで行います。押すたびにスピーカー A、スピーカー B、スピーカー A+B の順に切り換わります。(→p37)

Note

2 系統から同時に音声出力する場合

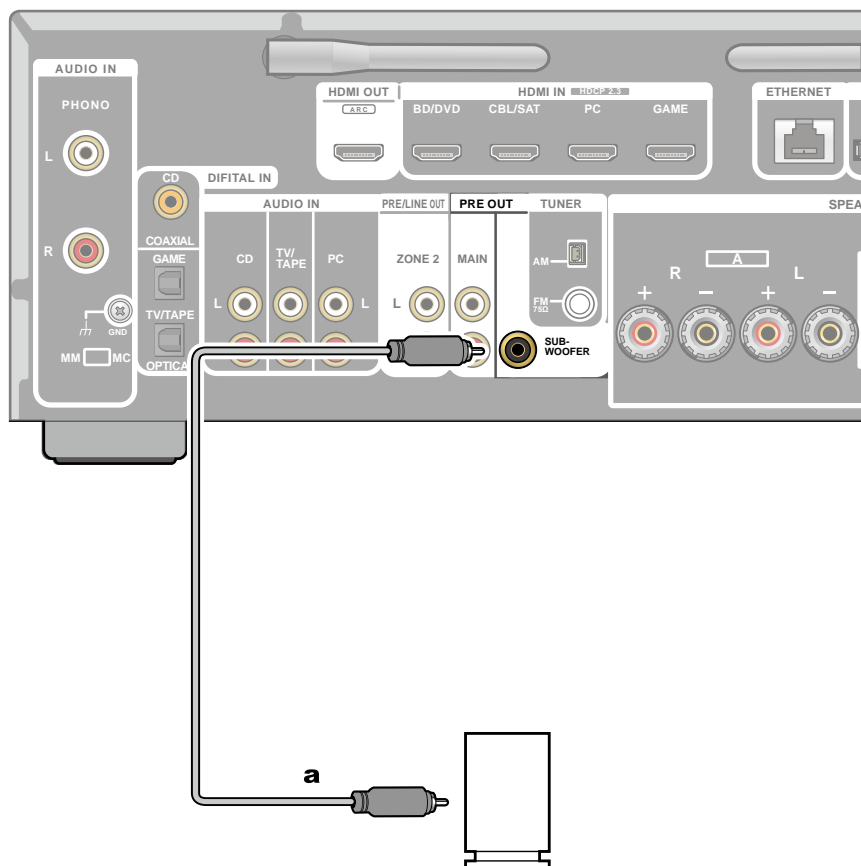
接続するスピーカーはインピーダンスが $8\Omega \sim 16\Omega$ のものをお使いください。

スピーカー A/Bどちらか1系統を切り換えて音声出力する場合

接続するスピーカーはインピーダンスが $4\Omega \sim 16\Omega$ のものをお使いください。



サブウーファーを接続する

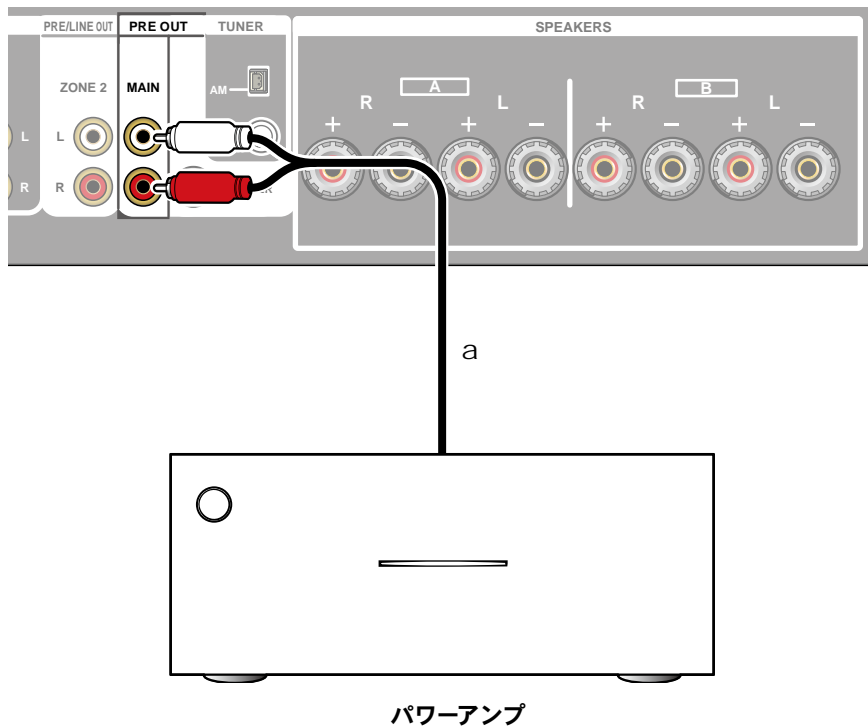


サブウーファーケーブルを使用して、本機とアンプ内蔵サブウーファーを接続します。

a サブウーファーケーブル



パワーアンプを接続する



パワーアンプを本機に接続して、本機をプリアンプとして使用できます。本機だけでは出力できない大音量で再生できるようになります。スピーカーは、パワーアンプに接続してください。詳しくは、パワーアンプの取扱説明書をご覧ください。

- 左図のように、MAIN PRE OUT 端子を使用して接続します。

a オーディオ用ピンケーブル

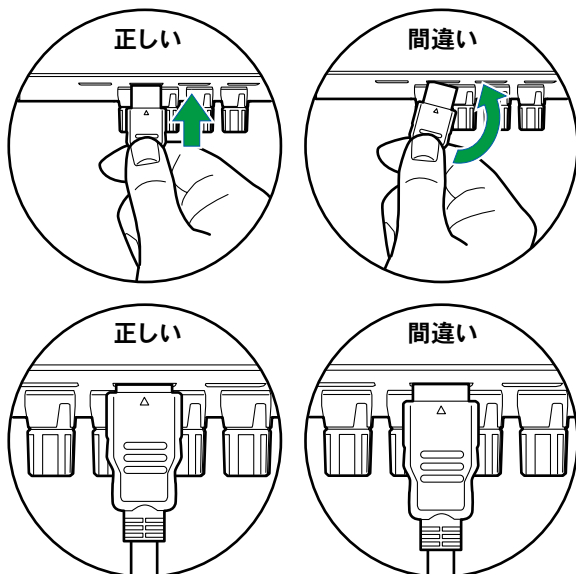


HDMIケーブルの接続と注意点

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) は、テレビ、プロジェクター、ブルーレイディスクプレーヤー、ゲーム機などの映像機器の接続に対応したデジタルインターフェース規格です。HDMIでは、1本のケーブルで、制御信号、デジタル映像、デジタル音声を伝送できます。

接続について

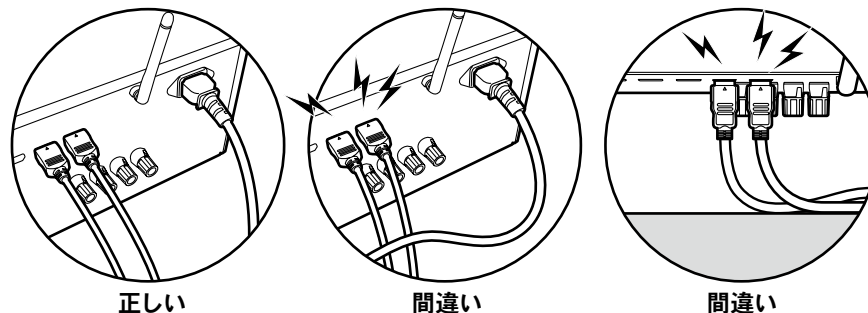
HDMIケーブルはまっすぐ、しっかりと奥まで差し込んでください。斜めに差し込むと端子を傷つける可能性があります。



- HDMIケーブルを抜くときは、端子を持って抜いてください。ケーブルを引っ張って抜くと断線する可能性があります。

■ (ご注意) ケーブルの配線について

HDMIケーブルに負担が掛かると動作不良の原因になります。負担が掛からない配線を行ってください。

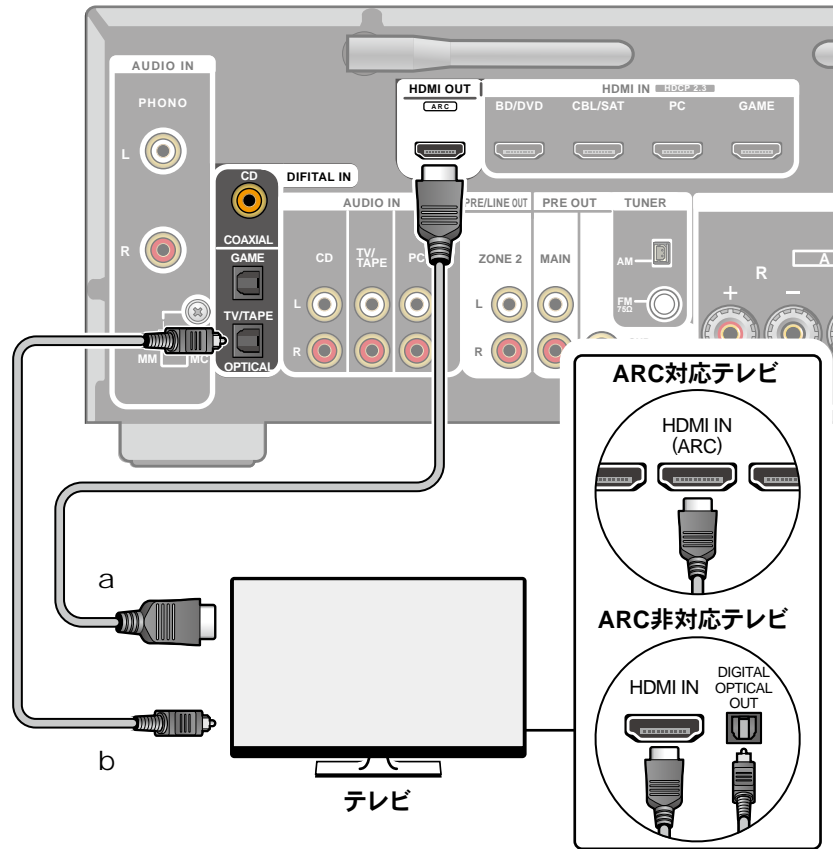


- 4Kの高画質映像 (4K 120Hzなど) や8Kの高画質映像 (8K 60Hzなど) を再生する場合は、パッケージに「ULTRA HIGH SPEED」のラベルが貼られているULTRA High Speed HDMIケーブルをご使用ください。



テレビを接続する

テレビを本機に接続することで、本機に接続したAV機器の映像をテレビに出力したり、テレビの音声を本機で再生することができます。



a HDMIケーブル、b 光デジタルケーブル

ARC/eARC対応テレビとの接続

テレビがARC (Audio Return Channel) 機能(*)に対応している場合は、HDMIケーブルのみを使用してTVと接続を行います。テレビ側のHDMI IN 端子はARC対応の端子を選んで接続してください。

ARC非対応テレビとの接続

テレビがARC (Audio Return Channel) 機能(*)に対応していない場合は、HDMIケーブルと光デジタルケーブルを接続します。テレビにDIGITAL OPTICAL OUT端子がない場合は、オーディオ用ピンケーブルを使用して、本機のAUDIO IN TV/TAPE端子と接続することもできます。

- 本機のinput 端子に接続したケーブルテレビ用チューナーなどでテレビを視聴する場合(テレビ内蔵のチューナーを使用しない場合)は、光デジタルケーブルやオーディオ用ピンケーブルを接続する必要はありません。



設定が必要です

- ARC 機能を使用しない場合は、リモコンのSETUPボタンを押し、「2. コントロール」-「オーディオリターンチャンネル」(→p75)を「オフ」に設定してください。

(*) ARC機能は、HDMIケーブルを経由してテレビの音声信号を伝送し、本機でテレビの音声を再生する機能です。テレビがARC機能に対応しているかどうかは、テレビの取扱説明書などでご確認ください。

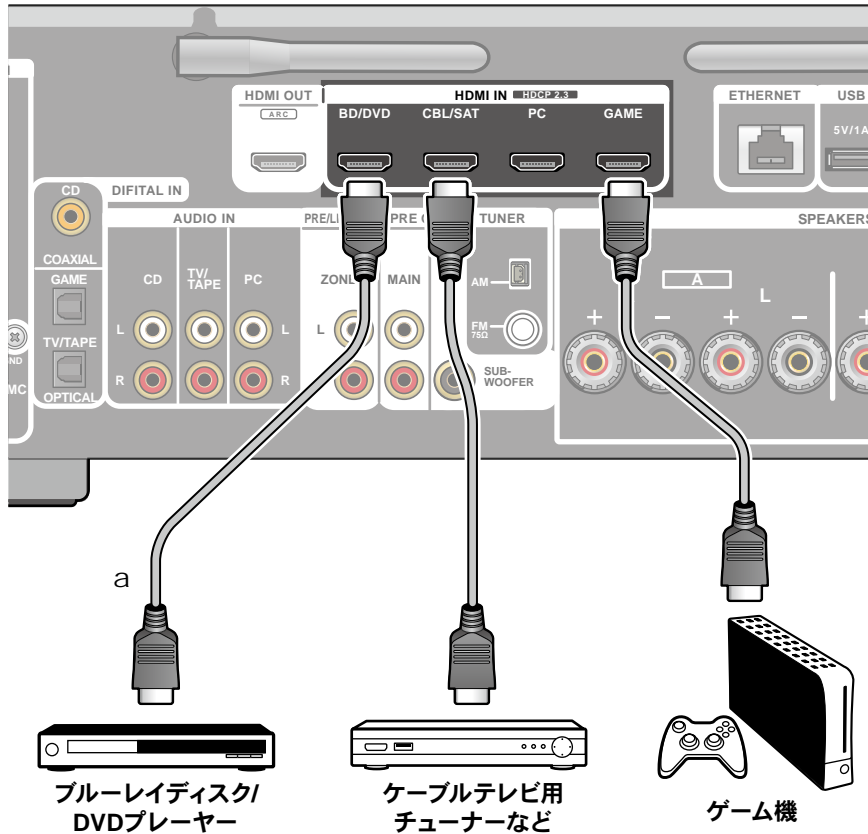
ARC対応音声フォーマット (→p99)

- 4Kや8Kの高画質映像を再生する場合は、これらに対応したHDMIケーブルをご使用ください。
- HDMIケーブルは奥まで確実に差し込んでください。



再生機器を接続する

ブルーレイディスク/DVDプレーヤーやゲーム機との接続



a HDMIケーブル

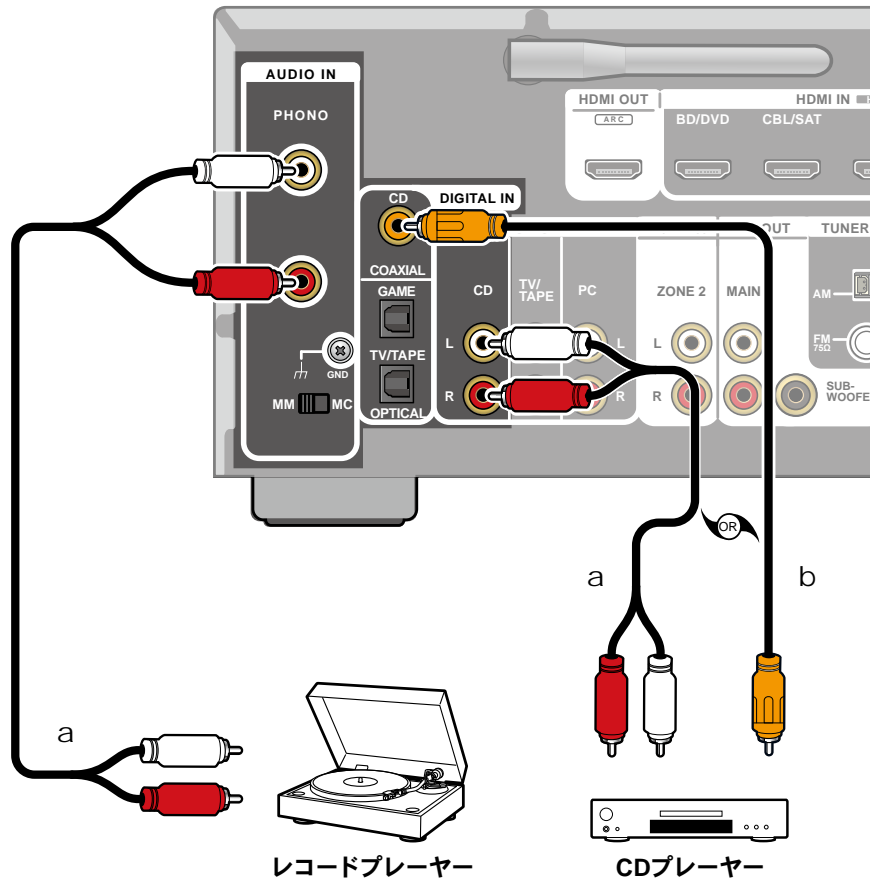
HDMI 端子を持つAV機器との接続例です。CEC(Consumer Electronics Control) 規格に準拠しているAV機器との接続では、入力切替の連動切替などのHDMI CEC 機能(*) や、本機の電源がスタンバイ状態になっているときでもAV機器の映像/音声信号をテレビに伝送できるHDMIスタンバイスルー機能を使用することができます。

(*)HDMI CEC 機能 :CEC 規格に準拠した再生機との入力切替の連動切り換え / CEC 規格に準拠したテレビのリモコンで、音声をテレビから出力するか、本機から出力するか切り換えや音量調整などの操作 / テレビの電源オフに連動して自動で電源スタンバイなどのコントロール機能が可能です。

- 4Kや8Kの高画質映像を再生する場合は、これらに対応したHDMIケーブルをご使用ください。
- HDMIケーブルは奥まで確実に差し込んでください。



オーディオ機器との接続



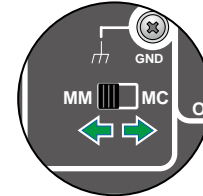
レコードプレーヤー

CDプレーヤー

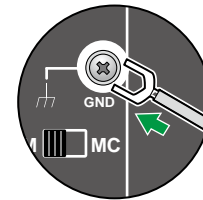
a オーディオ用ピンケーブル, b 同軸デジタルケーブル

オーディオ機器との接続例です。CDプレーヤーとはオーディオ用ピンケーブルで接続します。PHONO 端子には、MM 型またはMC型のカートリッジを使用したレコードプレーヤーを接続することができます。

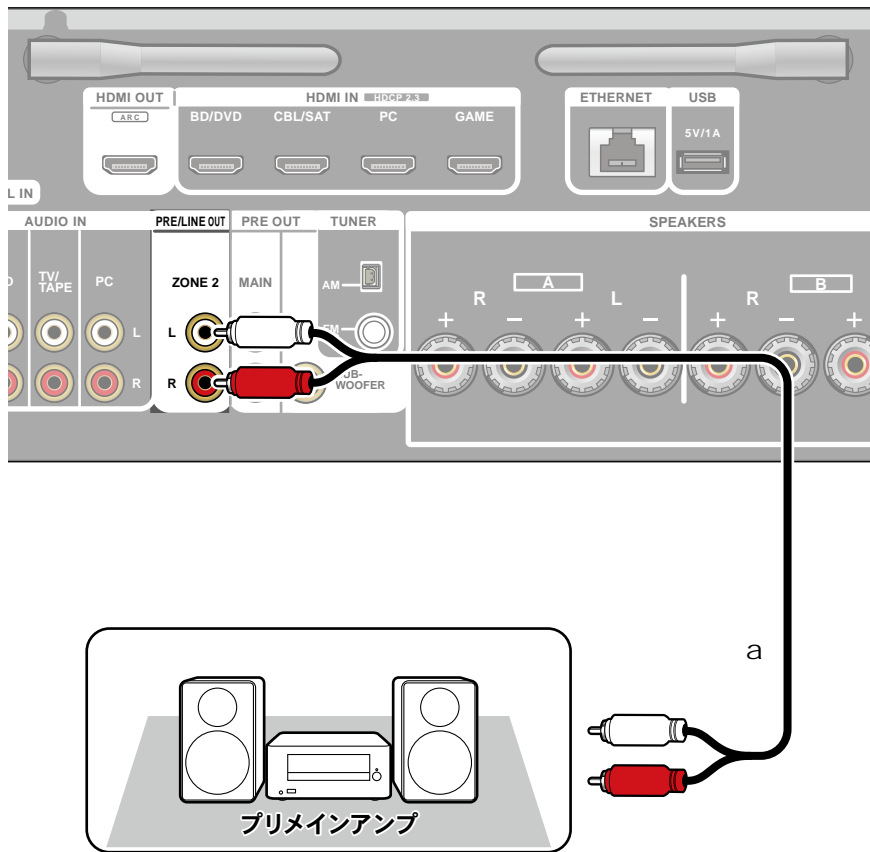
- レコードプレーヤーがフォノイコライザーを内蔵している場合は、PHONO 端子以外のAUDIO IN 端子のいずれかに接続します。
- レコードプレーヤーのカートリッジの形式 (MM型/MC型) に合わせて、MM/MC スイッチを切り換えます。



- レコードプレーヤーにアース線がある場合は、GND端子に接続します。



別室のプリメインアンプと接続する(マルチゾーン)



a オーディオ用ピンクケーブル

メインルーム(本機のある部屋)で再生をしながら、別室(ゾーン2)で、2chの音声を楽しむことができます。本機のZONE 2 PRE/LINE OUT 端子と別室のプリメインアンプの入力端子をオーディオ用ピンクケーブルで接続します。

- 外部接続のAV機器の音声をゾーン2 出力するには、オーディオ用ピンクケーブルでの接続が必要です。HDMIケーブルや同軸デジタルケーブル、光デジタルケーブルでの接続ではゾーン2 出力できませんのでご注意ください。



設定が必要です

- ボリュームコントロールが付いていないプリメインアンプを接続する場合は、セットアップメニューの「1. オーディオ」-「ゾーン2 アウトプットレベル」(→p73)を「可変(初期値:固定)」に設定してください。設定しない場合、大音量が出力されて、プリメインアンプやスピーカー等が破損する恐れがあります。ボリュームコントロールが付いているプリメインアンプを接続する場合は、「固定」のままご使用ください。

□ マルチゾーン (→p56)

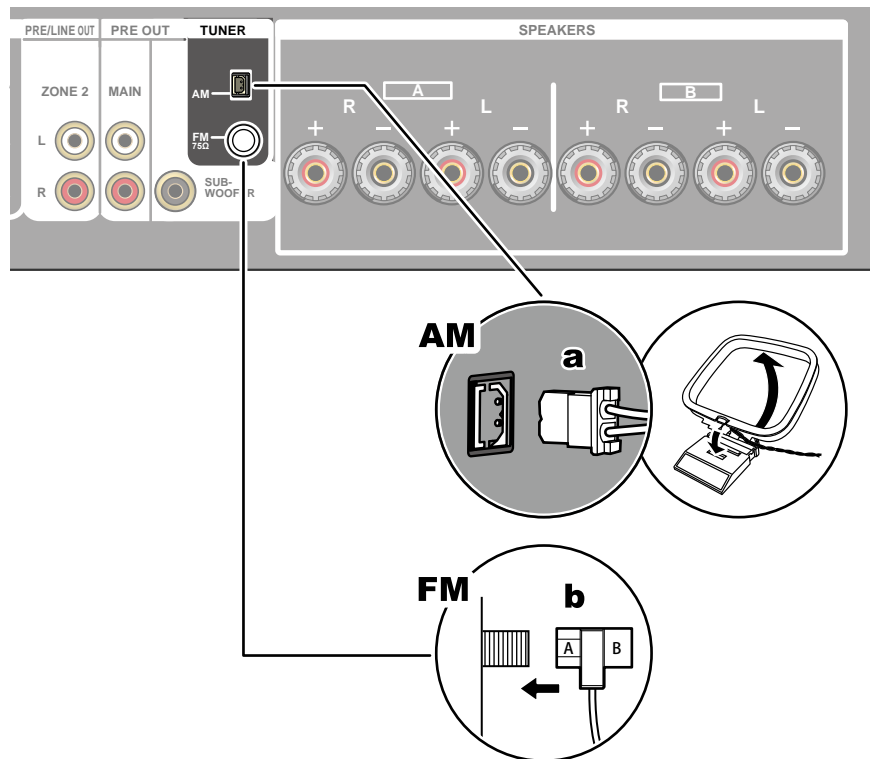
□ 再生する(ゾーン2) (→p57)



アンテナを接続する (北米モデルとヨーロッパモデル)

本機にアンテナを接続し、受信しながら、もっとも聴き取りやすい位置にアンテナを設置してください。

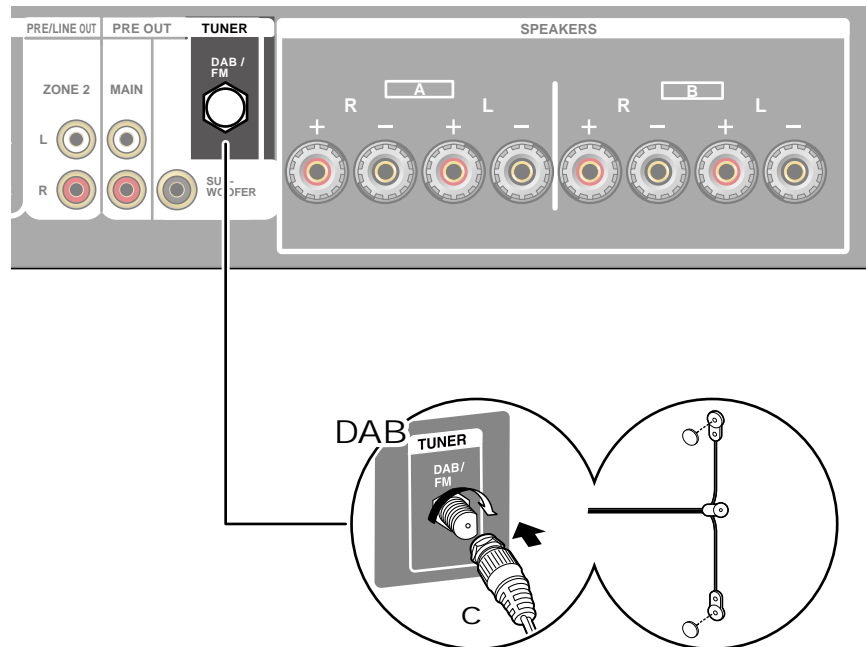
■ 北米モデル



- FM 室内アンテナは接着テープや画びょうなどで壁面に設置してください。

a AM室内アンテナ、 b FM室内アンテナ

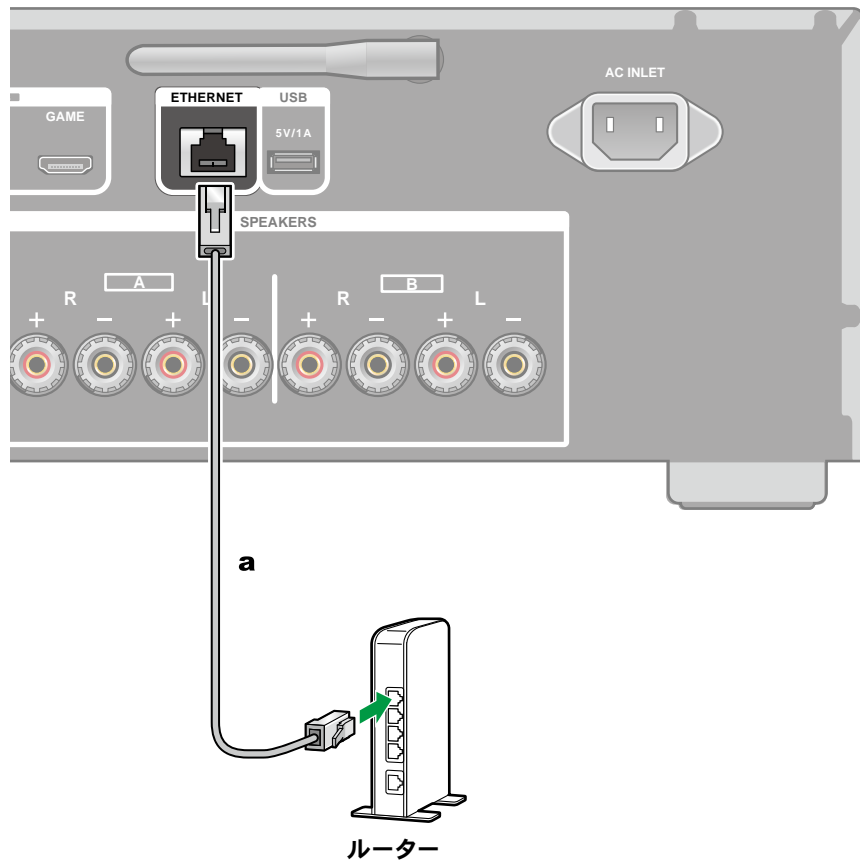
■ ヨーロッパモデル



c DAB/FM屋内アンテナ



ネットワークに接続する



本機は有線LANまたはWi-Fi(無線LAN)を使用して、ネットワークに接続できます。ネットワークに接続すると、インターネットラジオなどのネットワーク機能を楽しむことができます。有線LANで接続する場合は、図のようにルーターとETHERNET端子をLANケーブルで接続してください。Wi-Fiで接続するには、初期設定の「2. 本機をWi-Fiに接続する」(→p33)でお好みの設定方法を選んで画面の指示に従って設定してください。セットアップメニューで設定する場合は、リモコンのSETUPボタンを押し、「3. ネットワーク」から設定します(→p76)。また、Wi-Fi接続の場合は、無線アンテナを立ててご使用ください。

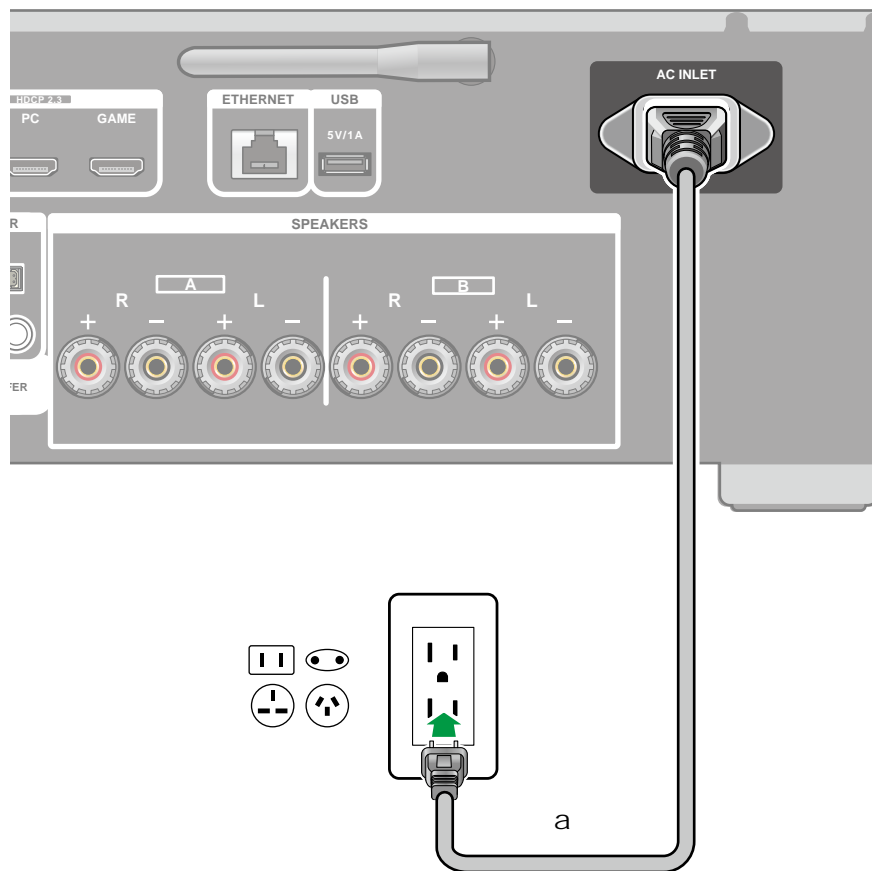
Note

- 本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティを保つために、必ずルーターなどを使用してください。電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダなど)の通信回線(公衆無線LANを含む)には直接接続しないでください。

a LANケーブル



電源コードを接続する



a 電源コード

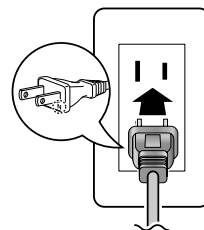
すべての接続が完了したら、電源コードを接続してください。

- 本機には取り外しタイプの電源コードが付属しています。電源コードは必ず本機の電源入力に接続したあとで、コンセントに接続してください。電源コードを抜くときは先にコンセントから抜いてください。

Note

日本モデル

- 音質向上のため、電源の極性を合わせます。本機に付属している電源プラグのNの印字がある側をコンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。





初期設定

はじめにお読みください	32
1. アプリをインストールする	32
2. 本機をWi-Fiに接続する	33
インピーダンスを設定する	33



はじめにお読みください

お買い上げ後、電源を入れると、初期設定が始まります。初期設定ではアプリを使って、本機をWi-Fi（無線LAN）に接続します。

Download

- 初期設定を後で行う場合は、SETUPボタンまたはRETURNボタンを押します。
- Wi-Fiの接続が完了していない、または有線LAN接続が行われていない場合、電源を入れると再度初期設定を表示します。

1. アプリをインストールする



Onkyo Controller (iOSやAndroid™でご利用になれます) はモバイル端末をリモコンとして使用できる無償の専用アプリです。本機のWi-Fi（無線LAN）設定や、入力切替、ボリューム調整、ネットワークサービス（インターネットラジオや音楽ファイルの再生）の操作を、手元で行うことができます。

主な機能

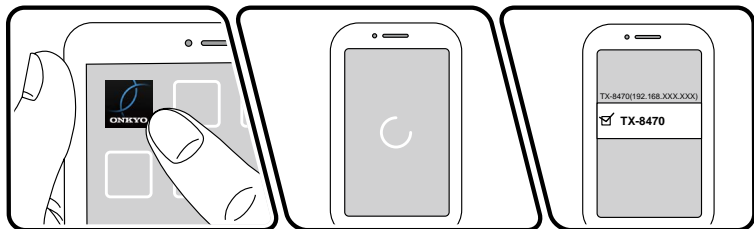
- 本機のWi-Fi（無線LAN）設定。
- 電源のオン/オフ、入力切替、ボリューム調整など、リモコンの基本操作。
- マルチゾーン(→p56) を使用すると、メインルーム（本機のある部屋）だけでなく、別室（ゾーン 2）の操作もアプリで行うことができます。
- インターネットラジオサービス（TuneIn Radioなど）の再生や選局。テレビ画面を見なくても、手元で操作をすることができます。
- モバイル端末に保存されている音楽ファイルをWi-Fi経由で再生。
- Amazon Musicの再生（対応機種のみ）(→p50)

1. App StoreやGoogle Play™ Storeで、Onkyo Controllerをダウンロードします。すでにダウンロードしている場合は、最新のバージョンにアップデートします。



2. 本機をWi-Fiに接続する

1. 本機の電源を入れます。
2. Onkyo Controllerを起動します。起動すると自動で本機の検索が始まります。
3. デバイスの一覧画面に本機が表示されたら、本機をタップして選択します。



4. アプリのガイダンスに従って本機をWi-Fi接続に接続します。

インピーダンスを設定する

接続するスピーカーのインピーダンスが4 Ω 以上6 Ω 未満で、フルパワーでの連続使用が想定される場合は、インピーダンスの設定が必要です。リモコンのSETUPボタンを押し、「1. オーディオ」-「スピーカーインピーダンス」(→p73)を「4オーム」に設定してください。



Basic Operations

基本の操作	35
Bluetooth® 再生	39
ラジオを聴く	42

Network Services

Spotify	45
AirPlay®	46
Amazon Alexa	48
Amazon Music	50
Sonosシステムと接続して再生する	52
インターネットラジオ	54

Convenience functions


マルチゾーン	56
別々の音声と映像を再生する	59
MY INPUTを使う	60
USBストレージに保存された音楽ファイルを再生する	61
Music Server	63
Play Queue	66

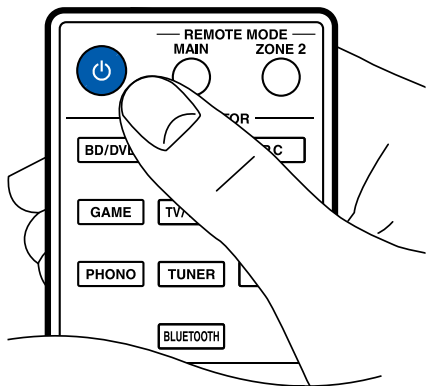
再生する



基本の操作

電源を入れる

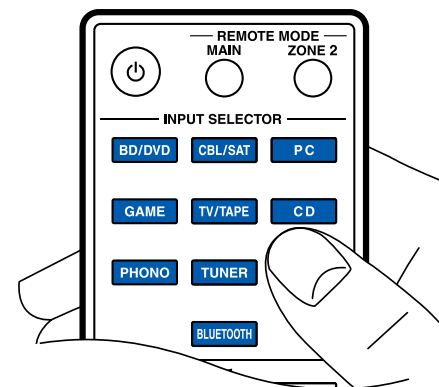
1. リモコンの  を押すと、本機の電源が入ります。
 - リモコンが反応しない場合は、上部にあるREMOTE MODEのMAINボタンを1回押して、リモコンをメインモードに切り換えます。



- 次の操作でも電源を入れる事ができます。
- 本体の  ON/STANDBYボタンを押す
 - アプリのOnkyo Controller ([→p32](#)) を使う
 - 連動機能を使う (HDMI CEC) ([→p37](#))

再生するソースを選択する

1. リモコンの入力切替ボタンを押して、再生するソースを選択します。
 - 例えば、BD/DVD 端子に接続した機器を再生する場合は、BD/DVDを押します。テレビの音声を聴くにはTV/TAPEを押します。
 - リモコンが反応しない場合は、上部にあるREMOTE MODEのMAINボタンを1回押して、リモコンをメインモードに切り換えます。

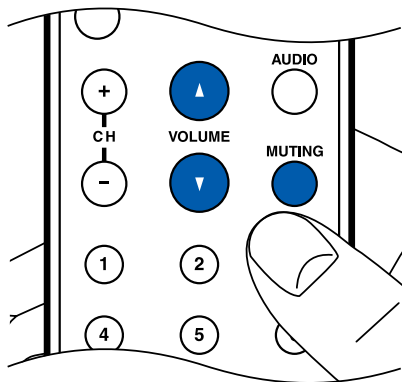


- 次の操作でも再生するソースを選択することができます。
- 本体のINPUTダイヤルを回す
 - アプリのOnkyo Controller ([→p32](#)) を使う



音量を調節する

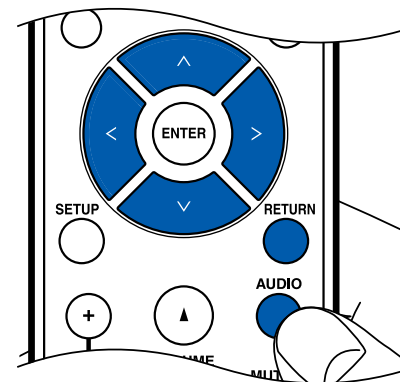
1. リモコンのVOLUMEボタンを押して、音量を調節します。
一時的に音を消すときはMUTINGボタンを押します。もう一度押すと解除されます。
- リモコンが反応しない場合は、上部にあるREMOTE MODEのMAINボタンを1回押して、リモコンをメインモードに切り換えます。
- 映像信号によっては、テレビ画面に表示されるボリュームバーが青からマゼンタに変わります。



- 次の方法でも音量を調節する事ができます。
- 本体のVOLUMEダイヤルを操作する
 - アプリのOnkyo Controller (→p32) を使う
 - 連動機能を使う (HDMI CEC) (→p37)

音質や左右の音量バランスを調節する

1. リモコンのAUDIOボタンを押します。
2. カーソルの△/▽ 上/下ボタンを押して項目を選び、</> 左/右ボタンで設定を変更します。
Bass: 低音域を強調したり、弱めたりします。 *1
Treble: 高音域を強調したり、弱めたりします。 *1
Balance: 左右のスピーカーから出力される音のバランスを調整します。
Direct: 再生時にトーンコントロール回路をバイパスし、もとの音楽をそのまま出力するDirect 機能を有効/無効に切り換えます。
3. 設定を終了するときは、RETURNボタンを押します。
 - リモコンが反応しない場合は、上部にあるREMOTE MODEのMAINボタンを1回押して、リモコンをメインモードに切り換えます。



*1 Pure Audio またはDirect モードのときは、設定できません。

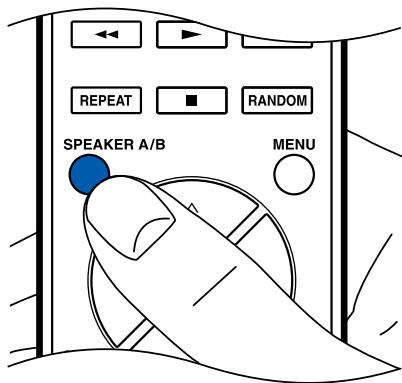
- 次の方法でも音質を調整する事ができます。
- 本体のBASS, TREBLE, BALANCE ダイヤルを回す
 - アプリのOnkyo Controller (→p32) を使う



スピーカーを切り換える

本機に2セットのスピーカーを接続している場合、どちらのスピーカーから音を出すか選択します。

1. リモコンのSPEAKER A/B ボタンを押します。
 押すたびにスピーカー A、スピーカー B、スピーカー A+B の順に切り換わります。
 - リモコンが反応しない場合は、上部にあるREMOTE MODEのMAINボタンを1回押して、リモコンをメインモードに切り換えます。



次の方法でもスピーカーを切り換えることができます。

- 本体のSPEAKER A/B ボタンを押す

連動機能を使う (HDMI CEC)

HDMIケーブルを使用して、HDMI CEC (Consumer Electronics Control) 機能に対応したTVと接続すると、テレビのリモコンで本機の音量を調節したり、電源のオン/オフ連動を行うことができます。また、HDMI CEC機能に対応したブルーレイディスクプレーヤーやゲーム機などを接続している場合は、入力切替が自動で行われます。

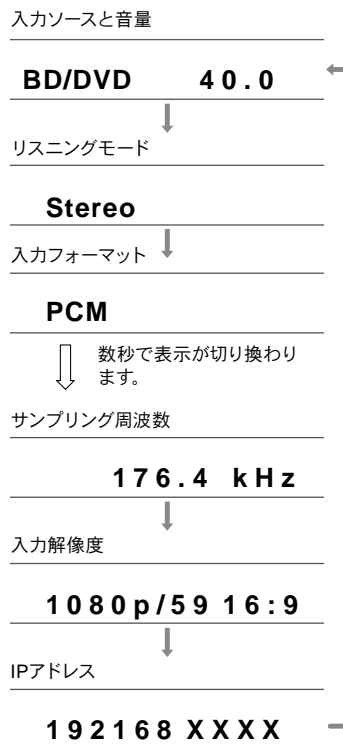
- HDMI CEC の設定 (→p74) (初期値はOn)
- テレビのHDMI CEC 機能については、テレビの取扱説明書などでご確認ください。
- CEC規格に準拠している製品と連動するよう設計されておりますが、すべてのCEC機器との連動動作を保証するものではありません。
- 連動機能が適切に働くように、HDMI端子には以下の台数より多くのCEC機器を接続しないでください。
 - ブルーレイディスク/DVDプレーヤー：最大3台
 - ブルーレイディスク/DVDレコーダー：最大3台
 - ケーブルテレビチューナー、地上デジタルチューナー、衛星放送チューナー：最大4台



表示を切り換える

リモコンのDISPLAY ボタンをくり返し押すと、本体表示部が次の順に切り換わります。

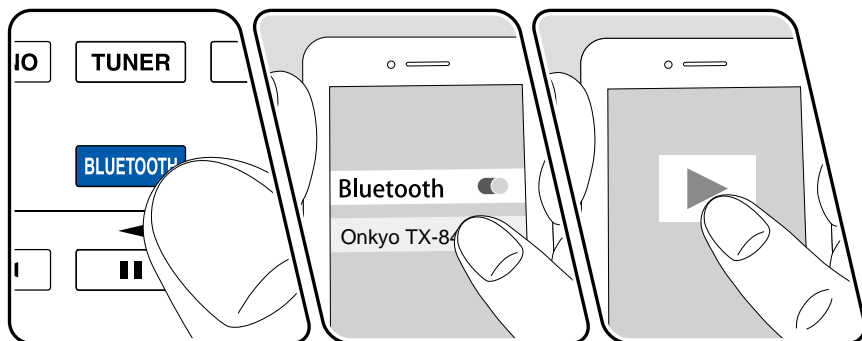
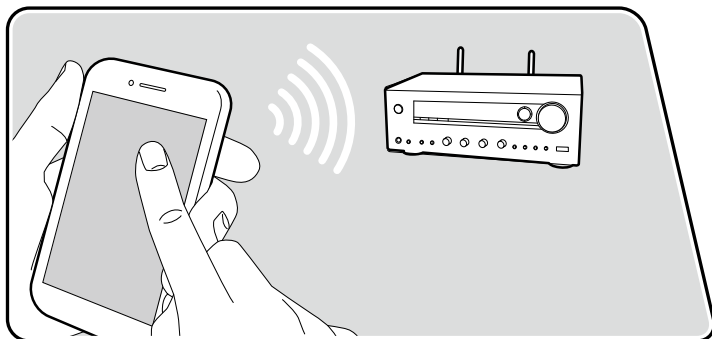
- Bluetoothなど再生するソースによって、表示内容が異なります。
- すべての情報が表示されるとは限りません。



Bluetooth® 再生

スマートフォンなどのBluetooth対応機器の音声を本機に接続したスピーカーから再生することができます。また、本機からBluetooth対応のヘッドホン、ワイヤレススピーカーなどへ音声を送信することもできます。

Bluetooth対応機器の音声を本機で再生する



イラストはイメージです

本機の電源がオンの状態で次の操作を行ってください。

ペアリング

1. BLUETOOTHボタンを押すと、表示部に「Now Pairing...」が表示され、ペアリングモードになります。

Now Pairing . . .

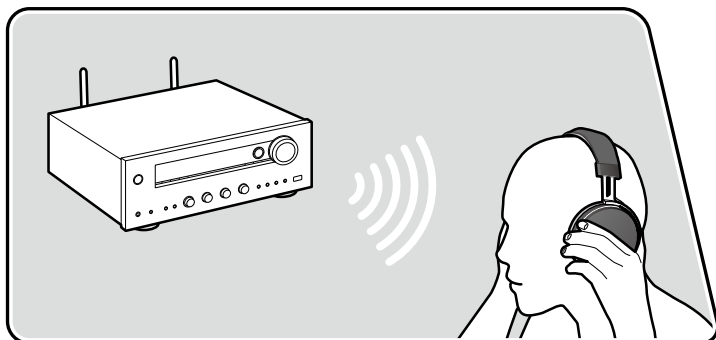
2. Bluetooth対応機器のBluetooth機能を有効(オン)にして、表示される機器から本機を選びます。パスワードを要求された場合は、「0000」を入力してください。
 - 本機は「Onkyo TX-8470 XXXXXX」と表示されます。この表示はFriendly Name機能 (→p77)やOnkyo Controller (→p32) (iOSやAndroid™でご利用になれます) で変更することができます。
 - 別のBluetooth対応機器と接続する場合は、DISPLAY ボタンを2秒以上長押しして、2の操作を行います。本機は最大8台のペアリング情報を記憶できます。
 - 約48 / 15 m 圏内で通信できます。なお、すべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証するものではありません。
 - ペアリングに失敗する場合は、セットアップメニューの「4. Bluetooth」- 「Bluetooth送信機能」(→p80)を「オフ」、 「Bluetooth受信機能」(→p79)を「オン」に設定してください。

再生する

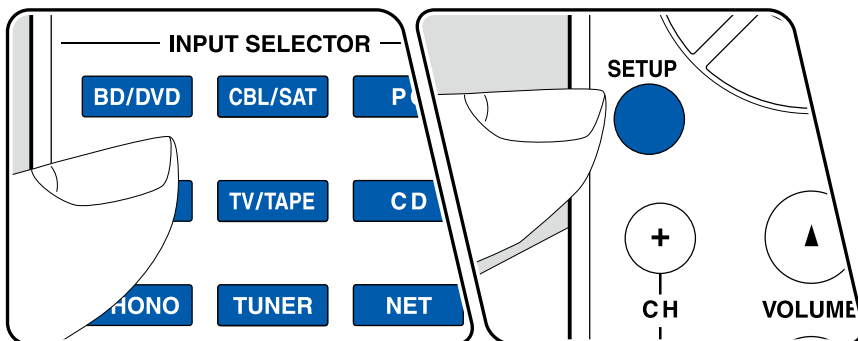
1. Bluetooth対応機器の接続操作を行います。
2. 音楽ファイルを再生します。
本機の入力が自動で「BLUETOOTH」に切り換わります。
Bluetooth対応機器のボリュームは適度に大きくしてください。
 - Bluetoothワイヤレス技術の特性上、本機での再生音はBluetooth対応機器での再生音と比べてやや遅れることがあります。



本機からBluetooth対応機器へ音声を送信する

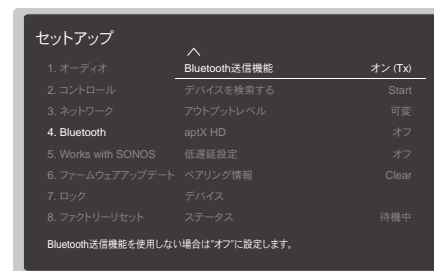


イラストはイメージです



ペアリング

- 再生したい入力切替を押します。
 - 「BLUETOOTH」以外を選択してください。「BLUETOOTH」を選択した場合は、本機能は無効です。
- リモコンのSETUPボタンを押し、「4. Bluetooth」-「Bluetooth送信機能」を選び、「オン (Tx)」または「オン (メイン + Tx)」を選択します。(初期値はOff)
 - 「オン (Tx)」を選択した場合はBluetooth対応機器のみ、「オン (メイン + Tx)」の場合はBluetooth対応機器と本体の両方から再生されます。



- 「デバイスを検索する」で、ENTERボタンを押します。
 - 受信可能なBluetooth対応機器の検索が始まり、対象の機器が一覧表示されます。
- 音声出力したい機器を選び、ENTERボタンを押すと「Now Pairing…」が表示されて、ペアリングモードになります。
 - Bluetooth対応機器によっては、手動でペアリング状態にする必要がある場合があります。機器の名称が一覧に表示されない場合には、Bluetooth対応機器の設定を確認してください。



再生する

1. 本機に接続したAV機器で再生操作を行います。TUNER、NET入力切換の場合は本機で再生操作を行います。
 - 「アウトプットレベル」で「可変」を選択すると本機でボリュームを調節することができます。あらかじめ接続したBluetooth対応機器側で適切なボリュームに調節しておいてください。「固定」の場合は、Bluetooth対応機器でボリュームの調節を行ってください。
 - 本機から複数台のBluetooth対応機器へ音声送信はできません。
 - 約48' / 15m圏内で通信できます。なお、すべてのBluetooth対応機器でこの接続動作を保証するものではありません。
 - 「Bluetooth送信機能」が「オン (Tx)」または「オン (メイン + Tx)」でかつ下記の場合は、本機がペアリング済みのBluetooth対応機器を検出すると、本機は自動でその機器と再接続します。
 - スタンバイ状態になった後、再度電源を入れたとき
 - 「BLUETOOTH」以外を選択中
 - 「NET」入力切換を選択中で、ネットワークサービス/コンテンツによる音声出力が行われているとき（一部のサービスを除く）
 機能を利用しない場合は「Bluetooth送信機能」で「オフ」を選択し、接続を解除してください。または、受信機側で接続を切断してください（受信機側で接続の切断が可能な場合）
 - 以下の場合、Bluetooth対応機器から音声出力はできません。
 - 音声ファイルがDSD形式の場合
 - 以下のネットワークサービスによる音声の再生時： Chromecast built-in, Amazon Alexa, AirPlay
 *お住いの地域によっては、サービスの提供が無いことがあります。
 - 出力される音声に本機の音質調整やリスニングモードの適用はできません。
 - 本機能はメインルーム（本機のある部屋）のみ利用可能です。別室（ゾーン 2）から音声を出力する マルチゾーン機能をオンにすると、本機能はオフになります。



ラジオを聴く



本機に内蔵されたチューナーで、AM(北米モデル)/FM(北米モデルとヨーロッパモデル)/DAB(ヨーロッパモデル)ラジオを受信することができます。

AM/FMラジオを聴く

本機の電源がオンの状態で次の操作を行ってください。

■ 自動で選局する

1. リモコンのTUNERボタンをくり返し押して、「AM」または「FM」を選びます。
2. 本体のTUNING MODEボタンをくり返し押して、表示部に「TunMode: Auto」を表示させます。

TunMode: Auto

3. カーソルの△/▽ 上/下 を押すと、自動選局が始まり、放送局が見つかりと自動的に停止します。放送局を受信すると、表示部の「TUNED」が点灯します。FM ステレオ局を受信した場合は、「FM ST」が点灯します。

FM放送を受信しにくいときは： "手動で選局する" (→p42)の操作を行ってください。なお、手動で選局するとFM 放送は受信感度に関係なくステレオ受信ではなくモノラル受信になります。

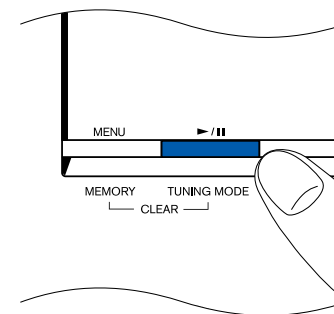
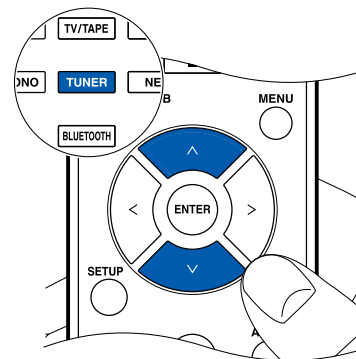
■ 手動で選局する

手動で選局するとFM 放送は受信感度に関係なくステレオ受信ではなくモノラル受信になります。

1. リモコンのTUNERボタンをくり返し押して、「AM」または「FM」を選びます。
2. 本体のTUNING MODEボタンをくり返し押して、表示部に「TunMode: Manual」を表示させます。

TunMode: Manual

3. カーソルの△/▽ 上/下 を押しながら、聴きたい放送局を選びます。
 - △/▽ 上/下 を押すごとに周波数が1 ステップずつ変わります。ボタンを押し続けると、連続して周波数が変わり、離すと止まります。



■ 周波数ステップの設定 (北米モデル)

SETUPボタンを押し、カーソルとENTERで「1. オーディオ」-「AM/FM Frequency Step」を選び、お住まいの地域に応じた周波数ステップを選んでください。なお、この設定を変更すると、登録されているプリセット局が削除されます。

□ 放送局を登録する (→[p44](#))



放送局を登録する

■ 登録する

好きな放送局を最大40局まで登録できます。

登録したい放送局を受信した後、以下の操作を行ってください。

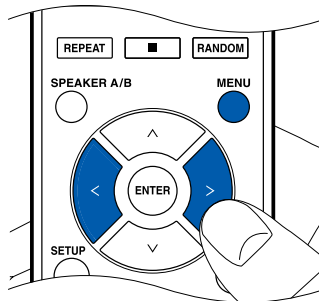
1. リモコンのMENUボタンを押して、表示部のプリセット番号を点滅させます。

FM 87.5 MHz 

2. プリセット番号が点滅している間 (約8秒間) に、カーソルの</> 左/右をくり返し押し、1～40の間で番号を選びます。
3. 再度リモコンのMENUボタンを押して登録します。
登録すると、プリセット番号の点滅が止まります。この手順をくり返して、好きな放送局を登録してください。

次の方法でも放送局を登録することができます。

- 本体のMEMORYボタンを押す。
- アプリのOnkyo Controller (→p32) を使う

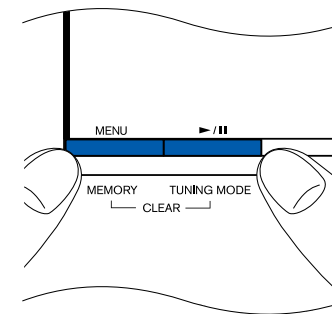
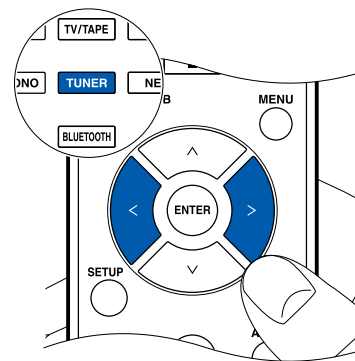


■ 登録したプリセット局を選ぶ

1. リモコンTUNERボタンを押します。
2. カーソルの</> 左/右を押して、プリセット番号を選びます。

■ 登録したプリセット局を削除する

1. リモコンのTUNERボタンを押します。
2. カーソルの</> 左/右を押して、削除したいプリセット番号を選びます。
3. 本体のMEMORYボタンを押しながらTUNING MODEボタンを押して、プリセット番号を削除します。削除されると、表示部から番号が消えます。



Spotify



スマートフォン、タブレット、パソコンをリモコンにして、Spotify で音楽を楽しめます。
詳しくは [spotify.com/connect](https://www.spotify.com/connect) をご覧ください。

Spotify ソフトウェアは、以下のサードパーティライセンスに従います：
<https://www.spotify.com/connect/third-party-licenses>

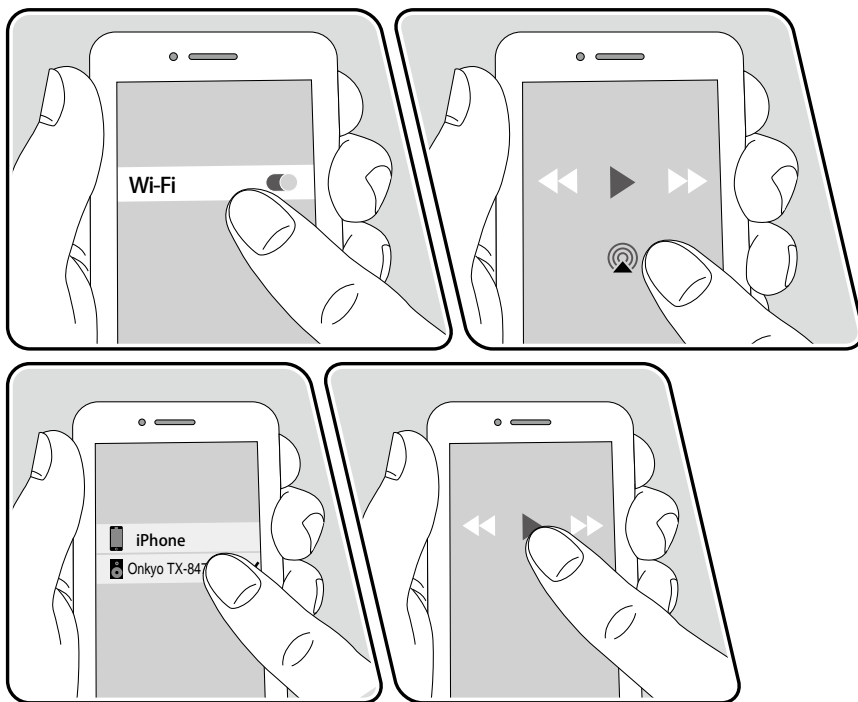


AirPlay®


本機をiPhone®、iPod touch®, iPad®などのiOS端末と同じネットワークに接続すると、iOS端末の音楽ファイルをワイヤレスで楽しむことができます。


- iOS端末のOSは最新のバージョンにアップデートしてください。
- iOSのバージョンによっては、iOS端末側の操作画面や操作手順が異なる場合があります。詳しくはiOS端末の操作説明をご参照ください。

本機で再生する



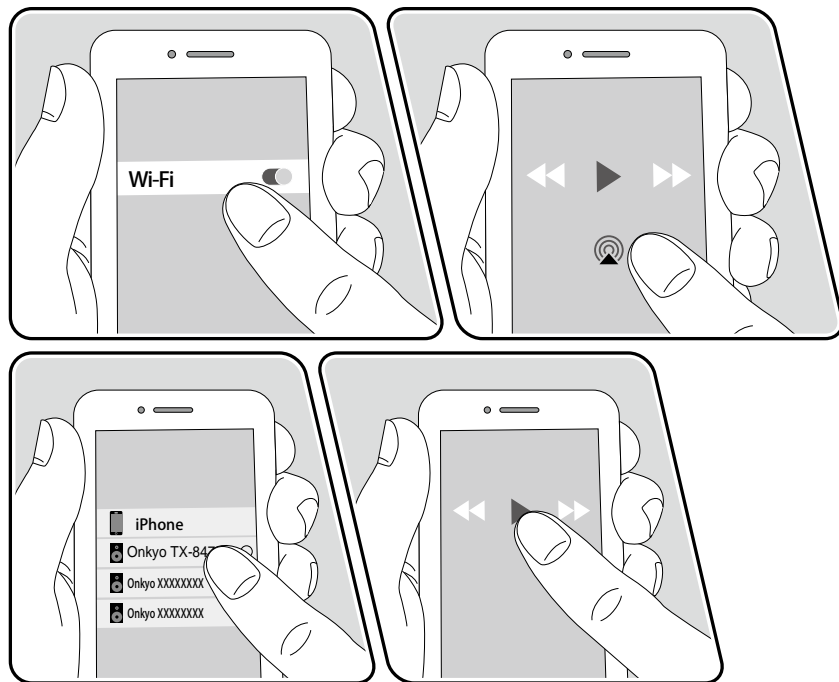
(例) iOS 10

1. iOS端末を本機がネットワーク接続しているアクセスポイントにネットワーク接続します。
2. AirPlayに対応したiOS端末の音楽再生アプリの再生画面でAirPlayアイコンをタップして、表示される機器から本機を選択します。
3. iOS端末の音楽ファイルを再生します。
 - セットアップメニューで「2. コントロール」-「ネットワークスタンバイ」を「オフ」にしているときは、手動で本機の電源をオンにして、リモコンのNETボタンを押します。お買い上げ時の状態ではネットワークスタンバイ機能(→p75)はオンに設定されています。
 - AirPlayワイヤレス技術の特性上、本機での再生音はAirPlay対応機器での再生音と比べてやや遅れることがあります。

また、iTunes (Ver. 10.2以降) を搭載したPCの音楽ファイルも再生することができます。操作は、本機とPCが同じネットワークに接続していることを確認したうえで、リモコンのNETボタンを押します。次にiTunesのAirPlayアイコンをクリックして、表示される機器から本機を選び、音楽ファイルを再生します。




複数の機器で再生する (AirPlay2)



(例) iOS 11.4

本機はAirPlay2に対応しています。iOS端末のバージョンがiOS11.4以上の場合、iOS端末の曲を本機とAirPlay2対応の他の機器で同時に再生することができます。

1. iOS端末を本機がネットワーク接続しているアクセスポイントにネットワーク接続します。
2. iOS端末の音楽再生アプリの再生画面でAirPlayアイコンをタップして、表示される機器から本機と再生したいAirPlay2対応機器を選択します。
 - AirPlay2対応機器には右側に白い丸が表示されます。
 - AirPlay2対応機器は複数台選ぶことができます。
 - 音量調整は機器ごとに調整することができます。
3. iOS端末の音楽ファイルを再生します。
 - セットアップメニューで「2. コントロール」-「ネットワークスタンバイ」を「オフ」にしているときは、手動で本機の電源をオンにして、リモコンのNETボタンを押します。お買い上げ時の状態ではネットワークスタンバイ機能 ([→p75](#)) はオンに設定されています。
 - AirPlayワイヤレス技術の特性上、本機での再生音はAirPlay対応機器での再生音と比べてやや遅れることがあります。

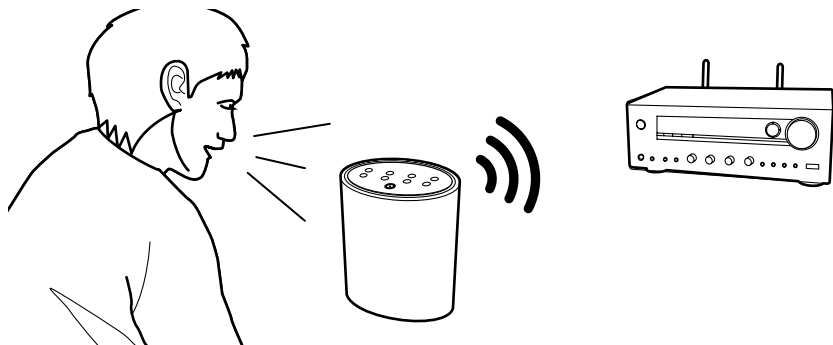
また、iTunes (Ver. 12.8以降) を搭載したPCの音楽ファイルも再生することができます。操作は、本機とPCが同じネットワークに接続していることを確認したうえで、リモコンのNETボタンを押します。次にiTunesのAirPlayアイコンをクリックして、表示される機器から本機と再生したいAirPlay2対応機器を選び、音楽ファイルを再生します。



Amazon Alexa

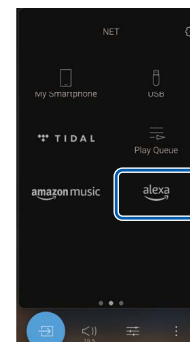
AlexaはAmazonが開発したクラウドベースの音声サービスです。本機をAmazonアカウントに登録すると、Amazon Alexa 搭載端末（Amazon Echoなど）やAmazon Alexaアプリ（iOSやAndroid™でご利用になれます）を利用して、音声操作で本機のボリュームを調整したり、音楽を再生することができます。

- Amazon Alexaを使用するには、Amazonのアカウントが必要です。詳しくはAmazonのホームページでご確認ください。
- お住いの地域によっては、サービスの提供が無いことがあります。



本機をAmazonアカウントに登録する

1. Amazonアカウントへの登録は、Onkyo Controllerで行います。本機の操作では設定することはできません。
アプリについては「1. アプリをインストールする」(→p32)をご参照ください。
2. Onkyo Controllerを起動し、表示された本機をタップします。
3. Onkyo Controllerの画面上部にある「NET」または「NETWORK」をタップして、ネットワークメニューに切り換えます。
4. 「amazon alexa」アイコンをタップします。
 - ログイン画面が表示されず、アップデートやID認証を行うアプリ（Service Unlocker）のインストールの画面が表示された場合は、画面の誘導に従ってアップデートやインストールを行ってください。



お住まいの地域によって利用可能なサービスが異なります。

5. 「セットアップ開始」をタップして、Setup画面で言語の選択と製品名の登録を行います。言語は他のAmazon Alexa 搭載端末（Amazon Echoなど）と同じ言語を選択してください。また、製品名には音声で簡単に呼び出せる名前を入力してください。
(例) スピーカー
6. 「次へ」をタップして、Amazon Alexaの画面を表示させます。
7. 画面の誘導に従って操作を行い、メールアドレスやパスワードなど、Amazonのアカウント情報を入力してAmazonにログインします(*1)。ログイン後、「許可」をタップして、本機をAmazonアカウントに登録します。



- (*1) 他のAmazon Alexa 搭載端末と同じアカウントでログインしてください。
8. 登録が完了すると、Onkyo Controllerの画面に戻ります。画面の誘導に従ってAmazon Alexa 搭載端末 (Amazon Echoなど) に話しかけて、音声操作ができるか確認します。

例: 「Alexa、スピーカー(*2)の音量を上げて」
 「Alexa、スピーカー(*2)で音楽を再生して」

(*2) 手順5で登録した製品名で話しかけてください。



本機を操作する

音声操作で本機のボリュームを調整したり、音楽の再生/停止、音楽のスキップアップ/ダウンを行うことができます。

1. 本機の電源がオンの状態で、Amazon Alexa 搭載端末 (Amazon Echoなど) に向かって話しかけます。Amazon Alexaアプリを使用する場合は、アプリを起動したあと、Alexaのロゴマークをタップしてモバイル端末に話しかけてください。

例: 「Alexa、スピーカー(*3)の音量を上げて」
 「Alexa、スピーカー(*3)で音楽を再生して」

(*3) 「本機をAmazonアカウントに登録する」の手順5で登録した製品名で話しかけてください。

- Amazon Alexaアプリの操作については、Amazonのホームページをご確認ください。



Amazon Music

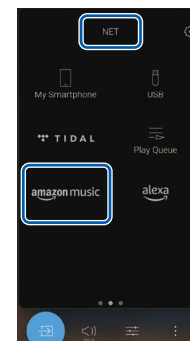


本機をAmazon Musicに登録すると、Amazonが提供している音楽配信サービスを楽しむことができます。

- Amazon Musicを再生するには、AmazonのアカウントとAmazon PrimeやAmazon Music Unlimitedへの加入が必要です。詳しくはAmazonのホームページでご確認ください。

本機をAmazon Musicに登録する

1. Amazonアカウントへの登録は、Onkyo Controllerで行います。本機の操作では設定することはできません。
アプリについては「1. アプリをインストールする」(→p32)をご参照ください。
2. Onkyo Controllerを起動し、表示された本機をタップします。
3. Onkyo Controllerの画面上部にある「NET」または「NETWORK」をタップして、ネットワークメニューに切り換えます。
4. 「Amazon Music」アイコンをタップして、Amazon Musicのログイン画面を表示させます。(機種によって、アイコン名は異なる場合があります)
 - ログイン画面が表示されず、アップデートやID認証を行うアプリ (Service Unlocker) のインストールの画面が表示された場合は、画面の誘導に従ってアップデートやインストールを行ってください。



お住まいの地域によって利用可能なサービスが異なります。

5. メールアドレスやパスワードなど、Amazonのアカウント情報を入力して、Amazonにログインします。ログインに成功して本機が登録されると、Amazon Musicのメニューが表示されます。
続いて再生する場合は、次項の手順3に進んでください。



Onkyo Controllerを使ってAmazon Musicを再生する

1. Onkyo Controllerを起動します。起動すると自動的に本機が表示されますので、表示された本機をタップして選びます。
2. 画面上部にある「NET」または「NETWORK」をタップして、ネットワーク画面に切り換えたあと、「Amazon Music」アイコンをタップします。
3. Amazon Musicのメニュー画面の中から再生したいコンテンツを選んで、再生を行います。

リモコンを使ってAmazon Musicを再生する

1. テレビの入力を本機と接続した入力に切り換えます。
2. NET を押すと、テレビにNetwork Functions の一覧画面が表示されます。
3. カーソルで「Amazon Music」を選び、ENTER で決定します。
4. Amazon Musicのメニュー画面の中から再生したいコンテンツを選んで、再生を行います。



Sonosシステムと接続して再生する



本機とSonos Portを接続すると、Sonos App上の音楽、音源を本機に送ることができます。Sonos Portを介することで、本機をネットワーク上の別のSonos機器と同じグループで再生したり、または本機のみで再生することができます。また、Sonos Appから音楽の再生を開始すると、自動的に本機の電源がオンになり、入力切替を行う連動機能が働きます。

- セットアップメニューで「2. コントロール」-「ネットワークスタンバイ」を「オフ」にしているときは、手で本機の電源をオンにして、リモコンのNETボタンを押します。お買い上げ時の状態ではNetwork Standby機能 (→p75) はオンに設定されています。
- Sonos Portは最大2台まで登録することができます。

必要な機器

- Sonos Port
- RCAオーディオケーブル (Sonos Portに付属)

本機とSonos Portとの接続方法

1. Sonos Portと本機のAUDIO IN端子をSonos Portに付属のRCAオーディオケーブルを使って接続します。PHONO端子以外のどの入力端子でも使用できます。
 - デジタルケーブルでも接続することができます。詳しくはSonosの取扱説明書をご確認ください。

設定する

Sonosを本機で再生するには、設定が必要です。以下の手順に従って設定を行ってください。

1. リモコンのSETUPボタンを押し、「5. Works with SONOS」を選び、ENTERボタンを押します。
2. カーソルの \wedge / \vee 上/下で次の項目を選んで設定します。

入力セレクト:

Sonos Portとの連動機能を有効にします。カーソルの \langle / \rangle 左/右で、Sonos Portを接続した入力端子を選びます。

接続機器:

ENTERボタンを押すと、本機と同じネットワークに接続されているSonos機器が表示されます。本機と接続されているSonos Portを選んで、ENTERボタンを押します。

- Sonos Port以外の製品 (Play:3などの出力端子を持たない製品) も機器一覧に表示され、選択することができます。その場合、Sonos側の再生が開始されると入力が切り換わりますが、音声は出力されません。接続されているSonos Portのルーム名を選択してください。
- Sonos製品一覧画面に表示できるのは32台までになります。連動したいSonos Portが見つからない場合は、前の画面に戻り連動しない製品の電源を切ってから、再度お試しください。



出力ゾーン：

カーソルの</> 左/右で音楽を聴きたいZONEを選びます。

「メイン」：メインルーム（本機のある部屋）にのみ音声を出力します。

「ゾーン 2」：別室（ゾーン 2）にのみ音声を出力します。

「メイン/ゾーン 2」：メインルームと別室（ゾーン 2）の両方に音声を出力します。

音量プリセット：

Sonos Portを再生するときのボリュームをあらかじめ設定しておくことができます。ENTERボタンを押した後にカーソルの</> 左/右を押して、ボリュームの設定を「Last」（スタンバイ状態前の音量）、「最小」、「0.5」～「99.5」、「最大」から選びます。

- 2台目の設定を行う場合は、カーソルのV DOWNを繰り返し押しして次の画面に進み、メニューを「SONOS-1」から「SONOS-2」に切り換えてください。

Sonosを本機で再生する

1. Sonos Appを使って聞きたい曲を選び、本機が設置されている部屋（またはグループ）に送ることができます。本機とSonos Portの組合せには、機器が設置されているTVルームまたはリビングルームといった覚えやすい名前をつけることをおすすめします。
- 音楽の再生を開始しても本機の入力が自動で切り換わらない場合は、一度再生を止めて、再び再生を開始してください。
- Sonos Appの設定で「Volume Pass Through」モードを選択すると、Sonos Appを使って本機のボリュームを操作することができます。
 - * 「Volume Pass Through」モードを選択すると、「Preset Volume」機能は無効になります。

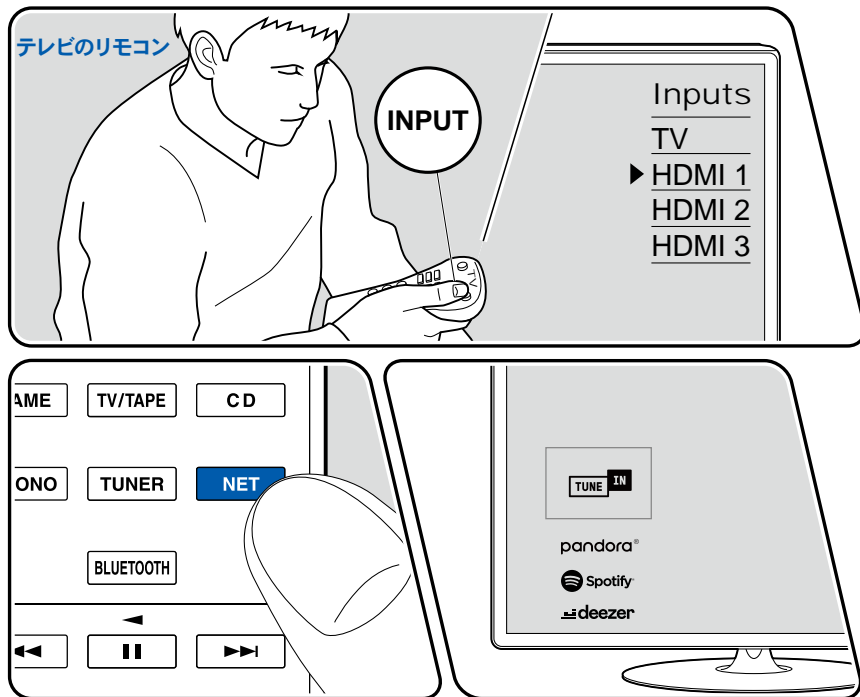


インターネットラジオ

本機をインターネットに接続されたネットワークに接続すると、TuneIn Radioなどのインターネットラジオサービスをお楽しみいただけます。

- インターネットラジオサービスを再生するには、ネットワークがインターネットに接続されている必要があります。
- インターネットラジオサービスによっては、事前にPCなどからユーザー登録が必要な場合があります。各サービスの詳細については、各サービスのホームページをご確認ください。

再生する





イラストはイメージです

本機の電源がオンの状態で次の操作を行ってください。

1. テレビの入力を本機と接続した入力に切り換えます。
2. NET を押すと、テレビにNetwork サービスの一覧画面が表示されます。
3. カーソルでお好みのインターネットラジオサービスを選び、ENTER で決定します。
4. 画面の表示に従ってカーソルでラジオ局や番組を選び、ENTER で再生します。
 - ひとつ前の画面に戻るにはRETURNボタンを押します。



インターネットラジオサービスのメニューについて

特定の放送局をお気に入り登録したり、お気に入り登録した放送局を削除したりすることができます。表示されるメニューは、選択中のサービスによって異なります。放送局の再生中に画面の右下にメニューアイコンが表示されます。このアイコンだけが表示されている場合は、そのままENTERを押すと、画面にメニューが表示されます。複数のアイコンが表示されている場合は、カーソルでアイコンを選び、ENTERを押します。

TuneIn Radio アカウントについて

TuneIn Radioのホームページ(tunein.com)でアカウントを作成し、本機からログインするとホームページ上でフォローしたお気に入りのラジオ局や番組が、本機の「My Presets」に自動的に追加されます。「My Presets」はTuneIn Radioの次の階層に表示されます。「My Presets」に追加されたラジオ局を表示するには、本機の操作においてもTuneIn Radioにログインする必要があります。ログインは本機の「TuneIn Radio」のトップリストから「Login」 - 「I have a TuneIn account」を選び、ユーザー名とパスワードを入力してください。

- 本機で「Login」を選ぶと表示される登録コードを使って、TuneIn Radioホームページのマイページからデバイスの関連付けを行うと、「Login」 - 「Login with a registration code」から、ユーザ名とパスワードの入力を省略してログインすることができます。

radiko.jpプレミアムについて (日本モデル)

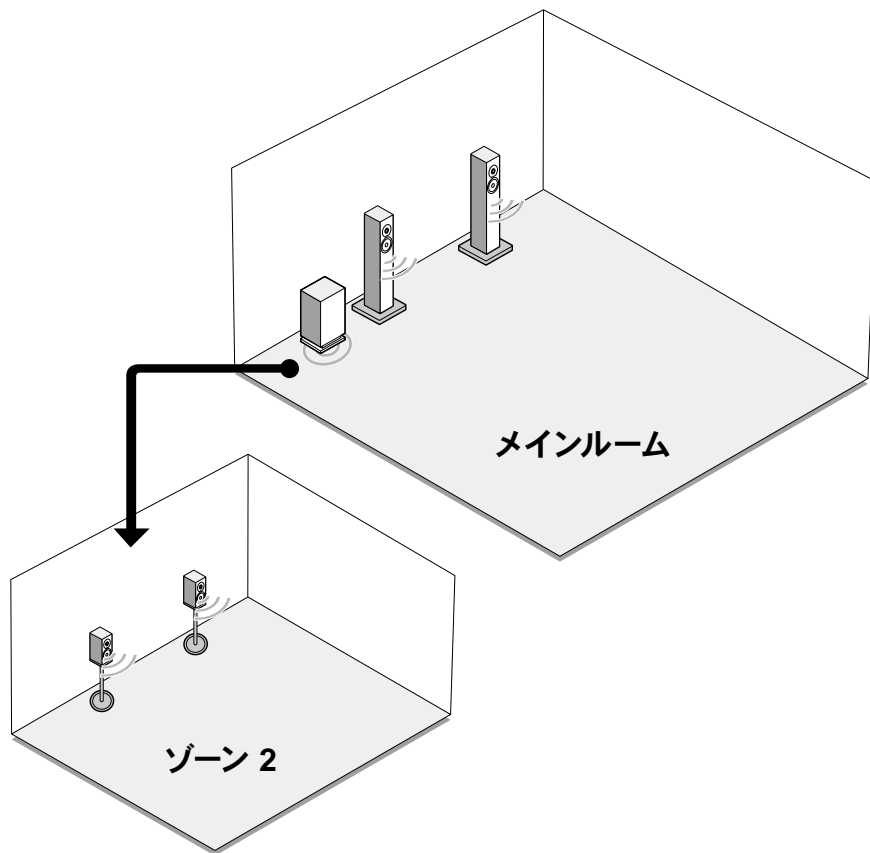
radiko.jpプレミアムの会員登録をされている場合、本機からログインすると、お使いの地域以外の全国各地の放送局を聴くことができます。radiko.jpでお使いの地域以外の放送局を選んでENTERボタンを押したあと、以下の操作でログインしてください。

1. 「E-mailアドレスを入力してください」と表示されるので、ENTERを押して、会員登録に使用したメールアドレスを入力します。入力が終わったら「OK」を選び、Enterを押します。
2. リモコンのカーソルで「OK」を選び、ENTERを押します。
3. 「パスワードを入力してください」と表示されるので、ENTERを押して、パスワードを入力します。入力が終わったら「OK」を選び、ENTERを押します。
4. リモコンのカーソルで「OK」を選び、ENTERを押します。



マルチゾーン

メインルーム（本機のある部屋）で再生をしながら、別室（ゾーン 2）で 2 ch の音声を楽しむことができます。メインルームとゾーン 2 で同時に同じソースを再生することや、別々のソースを再生することもできます。



マルチゾーン再生の操作には、Onkyo Controller (→p32) が便利です。Onkyo Controller (iOSやAndroid™でご利用になれます) をダウンロードしたスマートフォンやタブレットなどのモバイル端末で使用できます。



□ 再生する(ゾーン 2) (→p57)




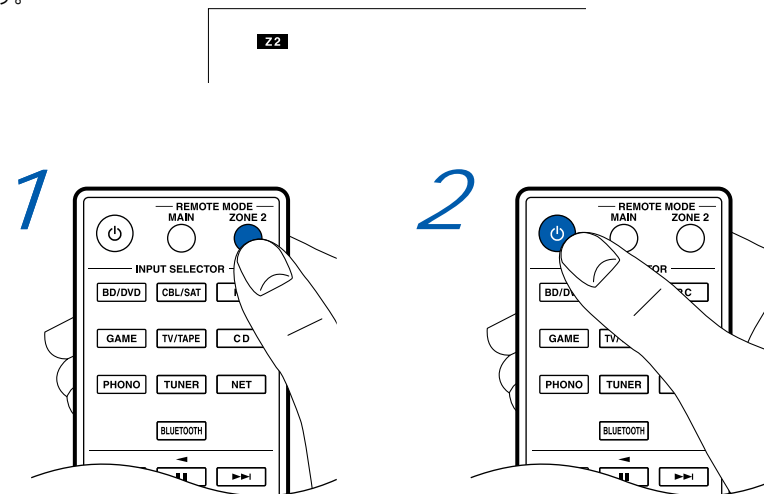
再生する(ゾーン 2)

Note

- 外部接続のAV機器の音声をゾーン2 出力するには、オーディオ用ピンケーブルでの接続が必要です。HDMIケーブルや同軸デジタルケーブル、光デジタルケーブルでの接続ではゾーン2 出力できませんのでご注意ください。
- 「NET」、「BLUETOOTH」入力切換は、メインルームと別室とで同じソースしか選べません。また、メインルームで「NET」を選択中に別室で「BLUETOOTH」を選択すると、メインルームも「BLUETOOTH」に切り換わります。
- AM/FM放送はメインルームと別室とで違う放送局を選ぶことはできません。(北米モデル)
- 「NET」入力切換では、DSD の音声信号はZONE 2 に出力できません。
- ZONE 2 がオンのときは、スタンバイ時の消費電力が増加します。
- 「本機からBluetooth対応機器へ音声を送信する」(→p40)を使用すると、本機能はオフになります。

ゾーン 2 のオン/オフを行う

- リモコンのREMOTE MODE ZONE 2 ボタンを1回を押します。
 - リモコンがZONE 2 を操作するモードに切り換わります。
- リモコンの  ON/STANDBYを押します。ZONE 2 がオンになると、本体の表示部に「Z2」が点灯します。ZONE 2 をオフにするには、もう一度同じ操作を行います。

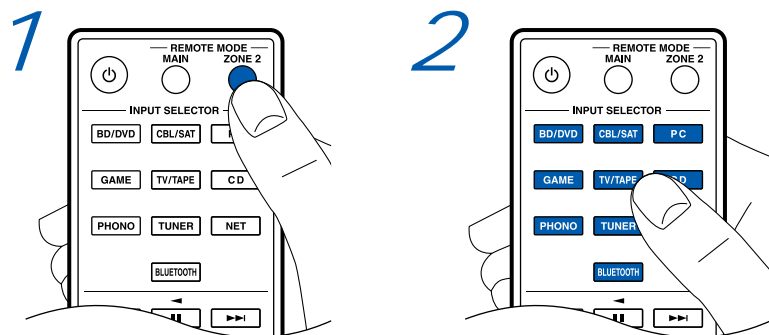


- 本体で操作する場合は、本体のZONE 2 ボタンを2回押すとオンになります。オフにするにはZONE 2 ボタンを押した後に隣にあるOFFボタンを押します。
- ZONE 2 使用時に本機の電源をスタンバイにすると、Z2 表示がうす暗く点灯し、別室のみの再生モードに切り換わります。また、本機がスタンバイ時にZONE 2 をオンにしても、別室のみの再生モードになります。



ゾーン 2 で再生するソースを選択する

- リモコンのREMOTE MODE ZONE 2 ボタンを1回を押します。
 - リモコンがZONE 2 を操作するモードに切り換わります。
- 入力切替ボタンを押して、再生するソースを選択します。



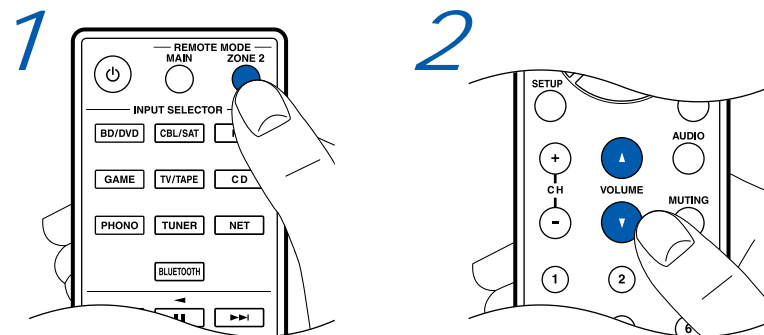
- 本体で操作する場合は、本体のZONE 2ボタンを押した後に、INPUTダイヤルを回して再生するソースを選択します。現在選択しているソースをZONE 2で再生する場合は、ZONE 2ボタンを2回連続で押します。

ゾーン 2 の音量を調節する

ボリュームコントロールが付いているプリメインアンプを使用する場合
プリメインアンプに付いているボリュームで音量を調節します。

ボリュームコントロールが付いていないプリメインアンプを使用する場合

- リモコンのREMOTE MODE ZONE 2 ボタンを1回を押します。
 - リモコンがZONE 2 を操作するモードに切り換わります。
- VOLUMEボタンを押して、ZONE 2の音量を調節します。

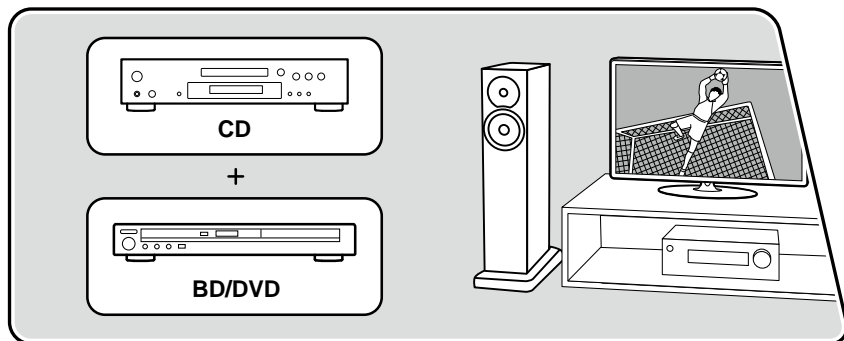


- ボリュームコントロールが付いていないプリメインアンプ接続する場合は、セットアップメニューの「ゾーン 2 アウトプットレベル」(→p73)を「可変」に設定してください。設定しない場合、大音量が出力されて、プリメインアンプやスピーカー等が破損する恐れがあります。
- 本体で操作する場合は、本体のZONE 2ボタンを押した後に、VOLUMEダイヤルを回して音量を調節します。

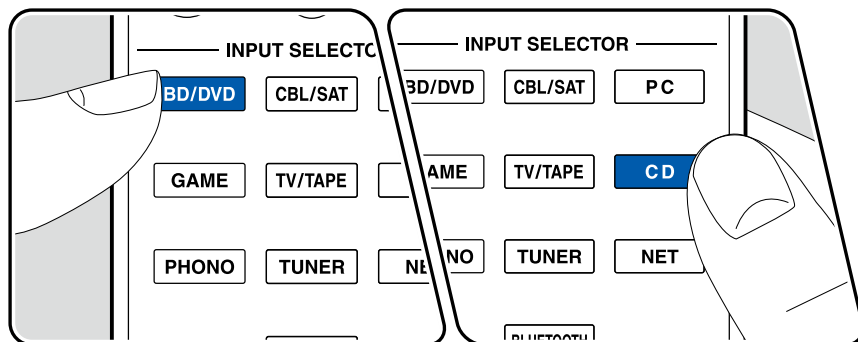


別々の音声と映像を再生する

音楽を再生しながら、お好みの映像をテレビに映す



イラストはイメージです



CD、Bluetooth対応機器などの音楽を聴きながら、ブルーレイディスクプレーヤーなどAV機器の映像をテレビに映すことができます。

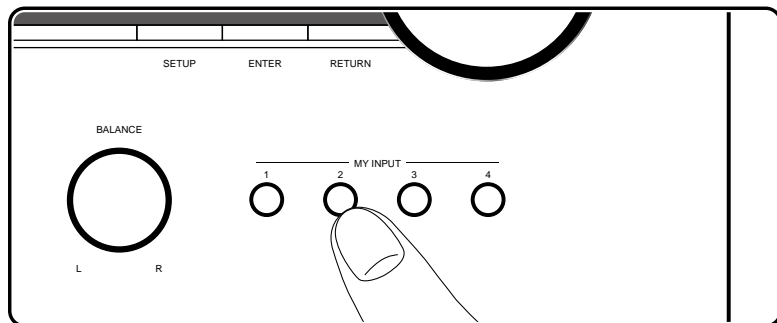
- 音声の再生は、「CD」、「PHONO」、「TUNER」、「NET」、「BLUETOOTH」など、映像入力割り当てを行っていない入力切替の選択が可能です。
- (ヨーロッパ、中東、アフリカ、アジアモデル): 「OSD Language」(→p74)をChineseまたはjapaneseに設定した場合、「NET」、「BLUETOOTH」の音声を再生しながら映像を再生することはできません。

本機の電源がONの状態です。次の操作を行ってください。

1. テレビの入力を本機と接続した入力に切り換えます。
2. BD/DVDボタンなど、テレビに映したいAV機器を接続した入力切替を押します。
 - 直前の操作で、同じ入力切替を選んでいたら、この操作は不要です。
3. CD、BLUETOOTHボタンなど再生したい音声の入力切替を押して再生操作を行います。
4. ブルーレイディスクプレーヤーなどAV機器の再生操作を行います。NET、Bluetoothの音声を再生する場合は、次の手順5の操作が必要です。
5. NET、Bluetoothの音声を再生する場合は、CAPSボタンを押して、テレビの表示をNET、Bluetoothの再生画面からAV機器の映像に切り換えます。なお、CAPSボタンをもう一度押すとNET、Bluetoothの再生画面に戻すことができます。
 - テレビの表示をAV機器の映像に切り換えた場合、NET、Bluetoothの再生画面はMini Playerとなり画面の角に表示されます。



MY INPUTを使う



現在の入力切替やリスニングモードなどの、さまざまな設定内容を4つのMY INPUTに登録して、手軽に呼び出すことができます。

(例) MY INPUTボタンを押すと、自動的に入力切替が「TUNER」に切り換わって、登録した放送局を受信します。また、リスニングモードやボリュームレベルも登録した内容に切り換わります。

登録できる設定内容について

- 入力切替 (ネットワークサービスやDAB (ヨーロッパモデル)/AM(北米モデル)/FM放送局を登録することもできます。)
- リスニングモード
- ボリュームレベル (上限は「82」)
- 出力先 (マルチゾーン)
- TREBLE/BASS/BALANCEなど

*AM/FM/DAB放送局を登録した場合、TUNERのプリセット番号「37」、「38」、「39」、「40」(→[p44](#))が上書きされます。

登録する

登録したい設定の状態に、以下の操作を行ってください。

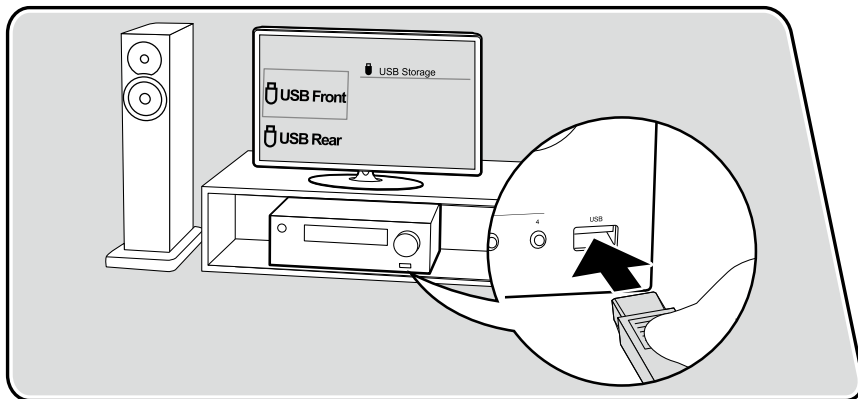
1. 1～4のいずれかのMY INPUTボタンを長押しします。
2. 表示部に「Preset Written」と表示され、設定内容が登録されます。すでに登録がされている場合は上書きされます。

登録した設定を使用する

1. 1～4のいずれかのMY INPUTボタンを押します。
 - 本体がスタンバイ時でも、MY INPUTボタンを押すと電源がオンになります。



USBストレージに保存された音楽ファイルを再生する



USBストレージに記録された音楽ファイルを再生することができます。

USBストレージに保存された音楽の再生操作には、Onkyo Controller (→p32) が便利です。Onkyo Controller (iOSやAndroid™でご利用になれます) をダウンロードしたスマートフォンやタブレットなどのモバイル端末で使用できます。



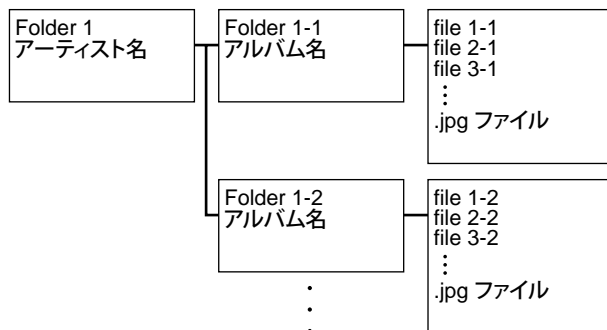
再生する

本機の電源がONの状態で行ってください。

1. テレビの入力を本機と接続した入力に切り換えます。
2. 本機のFront Panel または Rear PanelのUSB端子に音楽ファイルが入ったUSBストレージを接続します。
3. NET を押して、ネットワークサービスの一覧画面を表示させます。
4. カーソルで「USB Front」または「USB Rear」を選び、ENTER を押します。
 - 表示部の「USB」が点滅する場合は、USB ストレージが正しく接続されているか確認してください。
 - 表示部に「Connecting…」が表示されている間は、本機と接続しているUSB ストレージを抜かないでください。データ破損や故障の原因になります。
5. 次の画面でもう一度、ENTER を押します。USB ストレージ内のフォルダや音楽ファイルがリスト表示されますので、カーソルでフォルダを選び、ENTER を押して決定してください。
6. カーソルで音楽ファイルを選び、ENTER を押して再生を始めます。
 - ひとつ前の画面に戻るにはRETURNボタンを押します。
 - 本機で表示できない文字は「*」で表示されます。
 - 本機のUSB端子はUSB2.0 規格に準拠しています。再生するコンテンツによっては、転送速度が足りずに音途切れなどが発生する場合があります。
 - VBR (可変ビットレート) で記録されたファイルを再生した場合、再生時間が正しく表示されないことがあります。
 - 本機はUSB再生における下記条件時でのギャップレス再生に対応しています。WAV、FLAC、Apple Lossless再生時、同一のフォーマット、サンプリング周波数、チャンネル数、量子化ビット数が連続再生される場合



- WAV 形式の場合、アーティスト名/ アルバム名/ アルバムアート表示を可能にするには、音楽ファイルを保存する際のフォルダ構成とファイル名を次の図のようにしてください。アルバムアートは画面表示させたい.jpg ファイルを最下段フォルダに保存することで表示できます。なお、データ容量が大きい.jpgファイルは表示するまでに時間がかかる場合や表示されない場合があります。

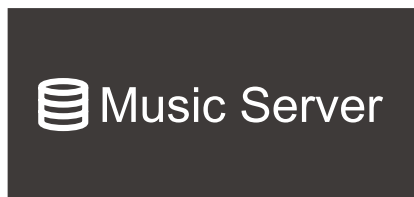


USBストレージについて

- 本機ではUSB Mass Storage Class規格に対応しているUSBストレージを使用できます。また、USBストレージのフォーマットは、FAT16、FAT32に対応しています。
- USBストレージがパーティションで区切られている場合、本機では複数のUSBストレージとして認識されます。
- 1フォルダにつき20,000曲まで、フォルダは16階層まで対応しています。
- 本機はハブおよびハブ機能付きUSB機器に対応していません。これらの機器を本機に接続しないでください。
- USBストレージにACアダプターが付属している場合は、ACアダプターをつないで家庭用電源でお使いください。
- 本機はセキュリティ機能付きUSBストレージに対応していません。
- USBカードリーダーに挿したメディアは、この機能で使えないことがあります。また、USBストレージによっては、正しく内容を読み込めなかったりする場合があります。
- USBストレージの使用に際して、データの損失や変更、ストレージの故障などが発生しても弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。USBストレージに保存されているデータは、本機でのご使用の前にバックアップを取っておくことをおすすめします。
- すべてのUSBストレージとの動作を保証するものではありません。



Music Server



本機と同じネットワークに接続したPCやNASに保存された音楽ファイルのストリーミング再生に対応しています。

Music Serverについて

- 本機が対応しているネットワークサーバーは、Windows Media® Player 12などのサーバー機能を備えたプレーヤーがインストールされたPC、またはホームネットワーク機能対応のNASです。Windows Media® Player 12をお使いの場合、事前の設定が必要です。なお、PCの場合は、Windows Media® Playerのライブラリに登録されている音楽ファイルのみが再生できます。
- VBR (可変ビットレート)で記録されたファイルを再生した場合、再生時間が正しく表示されないことがあります。
- サーバー内の音楽ファイルは、1フォルダにつき20,000曲まで、フォルダは16階層まで対応しています。
- メディアサーバーの種類によっては、本機から認識できなかったり、サーバーに保存された音楽ファイルを再生できない場合があります。
- PCやNASに保存された音楽の再生操作には、Onkyo Controller (→p32) が便利です。Onkyo Controller (iOSやAndroid™でご利用になれます) をダウンロードしたスマートフォンやタブレットなどのモバイル端末で使用できます。



Windows Media® Player 12 の設定をする

1. PCの電源を入れ、Windows Media® Player 12を開きます。
2. 「ストリーム」メニューから「メディアストリーミングを有効にする」を選び、ダイアログを開きます。
 - メディアストリームがすでに有効になっている場合は、「ストリーム」メニューから「その他のストリーミングオプション」を選ぶと、ネットワーク内の再生機器一覧が表示されますので、手順4に進んでください。
3. 「メディアストリーミングを有効にする」をクリックして、ネットワーク内の再生機器一覧を表示させます。
4. 「メディアストリーミングオプション」で本機を選び、「許可」になっていることを確認します。
5. 「OK」をクリックして、ダイアログを閉じます。
6. 「ストリーム」メニューを開き、「プレーヤーのリモート制御を許可」にチェックが入っていることを確認します。
 - Windows Media® Playerのバージョンによっては、選択する項目の名称が説明と異なる場合があります。

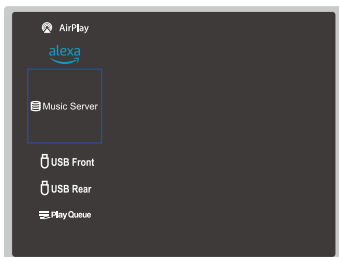
□ 再生する (→p64)



再生する

本機の電源がオンの状態で次の操作を行ってください。

1. テレビの入力を本機と接続した入力に切り換えます。
2. 再生する音楽ファイルが保存されているサーバー (Windows Media® Player 12、NASのどちらか) を起動します。
3. PCやNASが本機と同じネットワークに接続されているか確認します。
4. NETを押して、ネットワークサービスの一覧画面を表示させます。
 - 表示部の「NET」が点滅する場合は、ネットワークが正しく接続されていません。接続を確認してください。



*画面はイメージです

5. カーソルで「Music Server」を選び、ENTERを押します。

6. カーソルで目的のサーバーを選び、ENTERを押して、項目のリスト画面を表示させます。
 - 本機では、サーバーにある写真や動画にはアクセスできません。
 - サーバーの共有設定によっては、内容を表示できない場合があります。
7. カーソルで再生する音楽ファイルを選び、ENTERを押して再生を始めます。
 - 画面に「No Item.」と表示される場合は、ネットワークの接続が正しくされているか確認してください。
 - ひとつ前の画面に戻るにはRETURNボタンを押します。
 - VBR (可変ビットレート)で記録されたファイルを再生した場合、再生時間が正しく表示されないことがあります。
 - サーバー内の音楽ファイルは、1フォルダにつき20,000曲まで、フォルダは16階層まで対応しています。
 - メディアサーバーの種類によっては、本機から認識できなかったり、サーバーに保存された音楽ファイルを再生できない場合があります。

音楽ファイルを検索して、選択する

ご使用のサーバーが検索機能に対応している場合は次の検索機能を使用することが可能です。

Music Serverで使用可能なサーバーを表示した状態で、次の操作を行ってください。

1. 上/下で再生したい音楽ファイルのあるサーバーを選び、ENTERを押します。
2. 上/下でSearchフォルダを選んでENTERを押します。Searchフォルダには以下の3つのフォルダがあります。
 - 「Search by Artist」: アーティスト名で検索する場合に選びます。
 - 「Search by Album」: アルバム名で検索する場合に選びます。
 - 「Search by Track」: 曲名で検索する場合に選びます。
3. 上/下でフォルダを選んでENTERを押します。
4. 検索したい文字を入力し、ENTERを押すと検索結果が表示されます。
5. 上/下で再生したい音楽ファイルを選んでENTERを押します。



PCを操作してリモート再生する

ホームネットワーク内のPCを操作することにより、PCに保存された音楽ファイルの本機で再生できます。本機では、Windows Media® Player 12を介したリモート再生操作が行えます。Windows Media® Player 12で本機のリモート再生機能を使用するには、事前に設定が必要です。(→p63)

リモート再生する

1. 本機の電源を入れます。
 2. PCの電源を入れ、Windows Media® Player 12を開きます。
 3. Windows Media® Player 12で再生する音楽ファイルを選び、右クリックします。
 - 別のサーバー内の音楽ファイルのリモート再生する場合は、「その他のライブラリ」から目的のサーバーを開き、再生する音楽ファイルを選びます。
 4. 「リモート再生」から本機を選び、Windows Media® Player 12の「リモート再生」ウィンドウを開いて、本機で再生を始めます。
 - Windows® 10をお使いの場合は、「デバイスキャスト」をクリックしてから本機を選びます。リモート再生中の操作は、PCの「リモート再生」ウィンドウで行います。再生画面はHDMI接続されたテレビに表示されます。
 5. 「リモート再生」ウィンドウの音量バーで、音量を調節します。
 - リモート再生ウィンドウと本機の音量値は一致しない場合があります。
 - 本機で変更した音量は、「リモート再生」ウィンドウには反映されません。
 - 以下のいずれかの場合、本機はリモート再生できません。
 - ネットワークサービスを使っている
 - USBストレージの音楽ファイルを再生している
- リモート再生ではDSDには対応していません。
 - リモート再生は、ギャップレス再生に対応していません。



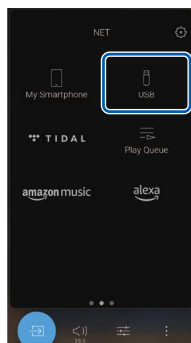
Play Queue



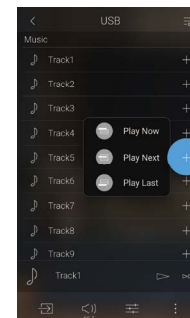
Onkyo Controller (iOSやAndroid™でご利用になれます) をスマートフォンやタブレットなどのモバイル端末にダウンロードすると、本機に接続したUSBストレージ内の音楽ファイルや、本機と同じネットワークに接続したPCやNASに保存された音楽ファイルの中から、お気に入りの再生リスト (Play Queue情報) を保存し再生することができます。Play Queue情報は、本機の電源コードをコンセントから抜くまで有効です。アプリについては「1. アプリをインストールする」(→p32)をご参照ください。

Play Queue情報の追加

1. アプリの画面で、「INPUT」入力切換を選び、「USB」アイコンをタップします。または、「NET」入力切換を選び、「USB」アイコンまたは「Music Server」アイコンをタップします。(機種によって、アイコン名は異なる場合があります)



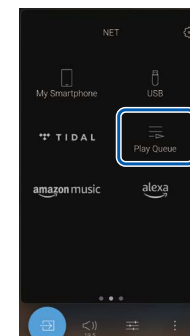
2. 追加したい曲の「+」アイコンをタップすると、Play Queue追加のポップアップを開きます。




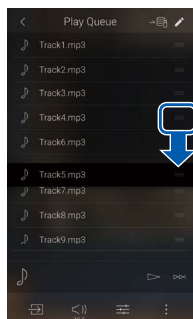
3. 「今すぐ再生」(再生)、「次に再生」(再生)、「最後に再生」(再生)アイコンをタッチすると、Play Queueに追加することができます。
 - Play Queueリストに曲がないときは、「今すぐ再生」(再生)のみが表示されます。

並び替えや削除

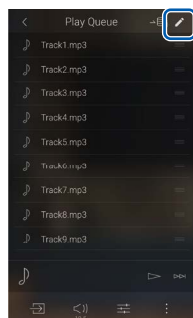
1. 「NET」入力切換を選び、「Play Queue」アイコンをタップしてPlay Queueサービス画面に入ります。







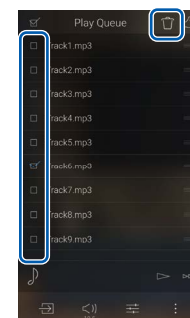
2. 曲を並び替える場合は、編集アイコン「」をタップしたあと、曲の「」アイコンをタップして、移動先にドラッグします。




3. 曲を削除する場合は、編集アイコン「」をタップして、編集モードに切り替えます。



4. 削除したい曲の隣にある「」アイコンをタップして「」を入れ、「」アイコンをタップすると曲がPlay Queueから削除されます。
- すべての曲の選択/解除を行う場合は、「Play Queue」の隣にある「」アイコンをタップします。



再生する

再生は、Play Queueの追加で「今すぐ再生 」を選択するか、Play Queueサービス画面内で曲を選択すると開始されます。





設定する

システム設定	69
メニューリスト	69
1. オーディオ	73
2. コントロール	74
3. ネットワーク	76
4. Bluetooth	79
5. Works with SONOS	81
6. ファームウェアアップデート	82
7. ロック	82
8. ファクトリーリセット	83
Web Setup	84



システム設定

リモコンのSETUPボタンを押して、セットアップメニューを表示させます。
リモコンのカーソル▲ / ▼ 上 / 下で内容を選び、ENTERボタンで決定します。
初期値を変更するには、カーソル< / > 左 / 右で操作します。

- ひとつ前の画面に戻るにはRETURNボタンを押します。
- 設定を終了するときには、SETUPボタンを押します。
- HDMIケーブルを使って本機をテレビに接続している場合は、操作画面を表示するOSD (On-Screen Display) 機能を使用して、設定を行うことができます。



メニューリスト

	テレビの画面 (OSD)	本体の表示部
1. オーディオ	インピーダンス	[1.Audio] [SpImpedance:6Ω] p73
	最大音量値	[Max Vol : Off]
	電源オン時の音量値	[POn Vol: Last]
	ゾーン 2 アウトプットレベル	[Z2 Lv : Fixed]
	AM/FM Frequency Step (北米モデルのみ)	[AM/FM:10k/0.2M]
	FM Search Level (ヨーロッパモデルのみ)	[FM Lv]: Normal]
	DAB Auto Scan (ヨーロッパモデルのみ)	[DAB Auto Scan]
	DAB DRC (ヨーロッパモデルのみ)	[DAB DRC : Off]



	テレビの画面 (OSD)	本体の表示部	
2. コントロール	OSD言語	[2.Control]	[Lang : English] p74
	HDMI CEC		[HDMI CEC : On]
	HDMIスタンバイスルー		[Thru:Auto(Eco)]
	自動スタンバイ		[Auto Stby :Off]
	HDMIスタンバイスルー時の自動スタンバイ		[ASb(Thru) :Off]
	オーディオリターンチャンネル		[ARC: On]
	ネットワークスタンバイ		[NET Stby : On]
	Bluetoothによる起動		[Bluetooth :Off]
3. ネットワーク	Wi-Fi	[3.Network]	[Wi-Fi :Off] p76
	Wi-Fi Setup		[Wi-Fi Setup]
	Wi-Fi 接続状態		表示無し
	MACアドレス		[MAC Address]
	DHCP		[DHCP : Enable]
	IPアドレス		[IP Address]
	サブネットマスク		[Subnet Mask]
	ゲートウェイ		[Gateway]
	DNSサーバー		[DNS Server]
	プロキシURL		[Proxy URL]
	プロキシポート		[Proxy Port]
	フレンドリーネーム		[Friendly Name]
	AirPlay		[AirPlay : On]
	AirPlayデバイス名		[AirPlay Name]
	AirPlayパスワード		[AirPlay PW]
	プライバシーステートメント		[PrvcyStatement]
ネットワーク確認		[Network Check]	



	テレビの画面 (OSD)	本体の表示部	
4. Bluetooth	Bluetooth受信機能	[4. Bluetooth]	[Rx : On] p79
	自動入力切り換え		[AutoChange: On]
	自動接続		[Reconnect : On]
	ペアリング情報		[Pairing Info]
	デバイス		[Device:]
	ステータス		[Stat:]
	Bluetooth送信機能		[Tx : Off]
	デバイスを検索する		[Search Devices]
	アウトプットレベル		[OutLv: Variable]
	aptX HD		[aptX HD : Off]
	低遅延設定		[LowLatency: Off]
	ペアリング情報		[Pairing Info]
	デバイス		[Device:]
	ステータス		[Stat:]
	5. Works with SONOS	SONOS-1	[5. Worksw/SONOS]
入力セレクタ			[Connect Device]
接続機器			[Out Zone: Main]
出力ゾーン			[Preset Volume]
音量プリセット			
SONOS-2			[Input: Off]
入力セレクタ			[Connect Device]
接続機器			[Out Zone: Zone2]
出力ゾーン			[Preset Volume]
音量プリセット			



	テレビの画面 (OSD)	本体の表示部	
6. ファームウェアアップデート	アップデート通知	[6.F/W Update]	[Notice: Enable] p82
	バージョン		[Ver:xxxx-xxxx-]
	ネットワーク経由のアップデート		[Update via NET]
	USB経由のアップデート		[Update via USB]
7. ロック	セットアップ項目	[7.Lock]	[Setup:Unlocked] p82
8. ファクトリーリセット	Start	[8.FactoryRst]	[ResetSettings?] p83
	キャンセル		[ResetSettings?]



1. オーディオ

□ インピーダンス (初期値: 6オーム以上)

接続したスピーカーのインピーダンス(Ω)を設定します。

- インピーダンスは、ご使用になるスピーカーの背面や取扱説明書でご確認ください。

4オーム	接続するスピーカーのインピーダンスが4 Ω 以上6 Ω 未満で、かつフルパワーでの連続使用が想定される場合。
6オーム以上	接続したスピーカーがすべて6 Ω 以上の場合

□ 最大音量値 (初期値: Off)

音量が大きくなり過ぎないように最大値を設定します。「オフ」、「50」～「99」から選びます。

□ 電源オン時音量値 (初期値: 最終値)

電源を入れたときの音量を設定します。「Last」(スタンバイ状態前の音量)、「Min」、「0.5」～「99.5」、「Max」から選びます。

- この設定値は、「最大音量値」の設定の値より高く設定できません。

□ ゾーン2 アウトプットレベル (初期値: 固定)

別室(ゾーン2)に出力しているときに、音量を別室のプリメインアンプで調整するか、本機で調整するかを設定します。

固定	別室のプリメインアンプで調整する場合
可変	本機で調整する場合

□ AM / FM Frequency Step (北米モデル) (初期値: 10 kHz / 0.2 MHz)

お住まいの地域に応じて周波数ステップを選択します。

- 「10 kHz / 0.2 MHz」または「9 kHz / 0.05 MHz」から選択します。
- この設定を変更すると、登録したプリセット局が削除されます。

□ FM Search Level (ヨーロッパモデル) (初期値: Normal)

「Normal」を選んでいるときに、FM放送の自動選局時に電波の弱い放送局が頻繁に選局される場合、「Strong」を選ぶと電波の強い放送局のみを選局するように設定できます。

□ DAB Auto Scan (ヨーロッパモデル) (初期値: -)

新しいDAB station サービスが導入された場合や引っ越しされた場合に、オートスキャンを実行することができます。

□ DAB DRC (ヨーロッパモデル) (初期値: Off)

DRC (ダイナミックレンジ制御) 機能により、DAB デジタルラジオのダイナミックレンジを圧縮して、小さな音量でも細かな音を聴こえやすくすることができます。深夜でも周囲に迷惑を掛けずにラジオを聴くことができます。

Off	DRCオフ
Large	ダイナミックレンジを大きく圧縮します。
Small	ダイナミックレンジを少し圧縮します。



2. コントロール

□ OSD言語 (初期値: English/日本語)

OSDに表示する言語を以下から選びます。
(北米モデル)

English, German, French, Spanish, Italian, Dutch, Swedish
(ヨーロッパモデル、中東、オーストラリア、アジアモデル)

English, German, French, Spanish, Italian, Dutch, Swedish, Russian, Chinese
(日本モデル)

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、オランダ語、スウェーデン語、
日本語

- 初期値は地域によって異なります。

□ HDMI CEC (初期値: オン)

この設定を「オン」にすると、HDMI接続したCEC対応機器と入力切替連動などの連動機能が働きます。

この設定を変更した場合、すべての接続機器の電源を切って電源を入れ直してください。

- ご使用のテレビによっては、テレビ側でリンク設定などが必要です。
- この設定を「オン」にして、操作画面を閉じると、本体表示部に接続されているCEC対応機器名称と「CEC On」が表示されます。
- この機能を「オン」に設定すると、スタンバイ状態での消費電力が増加しますが、必要最小限の回路のみが作動するHYBRID STANDBYモードに自動で移行して、消費電力の増加を最小限に抑制します。
- この設定が「オン」で、ご利用のテレビのスピーカーから音声を出しているときに、本機のVOLUMEダイヤルを操作すると、本機に接続したスピーカーからも音声が出力されます。どちらか一方の音声のみ出力したい場合は、本機またはテレビの設定を変えるか、本機の音量を下げてください。
- この設定を「オン」にして、異常な動作をする場合は「オフ」にしてください。
- 接続した機器がCECに対応していない場合や、対応しているかわからない場合は、「オフ」にしてください。

オン	この機能を使用する場合
オフ	この機能を使用しない場合

□ HDMIスタンバイスルー (初期値: 自動(エコ))

「オフ」以外に設定すると、本機がスタンバイ状態でも、HDMI接続している再生機器の映像と音声をテレビで再生することができます。なお、「HDMI CEC」が「オン」に設定されている場合は、「Auto」および「Auto (Eco)」のみ選択できます。その他を選択する場合は、「HDMI CEC」を「オフ」に設定してください。

- この機能を「オフ」以外に設定すると、スタンバイ状態での消費電力が増加しますが、必要最小限の回路のみが作動するHYBRID STANDBYモードに自動で移行して、消費電力の増加を最小限に抑制します。
- CEC規格に準拠していない再生機器をテレビで再生する場合は、本機の電源をオンにして入力を切り換える必要があります。
- CEC規格に準拠したテレビをお使いの場合は、「Auto (Eco)」を選ぶとスタンバイ状態での消費電力を低減できます。

オフ	この機能を使用しない場合
BD/DVD、 GAME、 CBL/SAT、 PC	たとえば「BD/DVD」を選んでいると、本機がスタンバイ状態でも、「BD/DVD」端子に接続した再生機器をテレビで再生することができます。この機能を使用したい再生機器が決まっている場合に、この設定値を選択します。
最終値	スタンバイにする直前に選んでいた入力切替の映像と音声をテレビで再生することができます。
自動、 自動(エコ)	接続した再生機器がCEC規格に準拠している場合は、この設定を選びます。スタンバイにする直前に選んでいた入力切替が何であっても、CEC連動機能により、再生機器の映像と音声をテレビで再生することができます。



2. コントロール

□ 自動スタンバイ (初期値: オン/オフ)

映像または音声入力がない状態で本機を20分間操作しなかった場合、自動的にスタンバイ状態に移行させることができます。

- 初期値は地域によって異なります。

オン	自動的にスタンバイ状態に移行させる場合（「AUTO STBY」表示が点灯します。） <ul style="list-style-type: none"> • スタンバイ状態に移行する30秒前に本体表示部とテレビ画面に「自動スタンバイ」と表示されます。
オフ	スタンバイ状態への移行をさせない場合

□ HDMIスタンバイスルー時の自動スタンバイ (初期値: オン/オフ)

「HDMIスタンバイスルー」動作中に「自動スタンバイ」設定を有効または無効にしません。

- 初期値は地域によって異なります。

オン	有効にする場合 <ul style="list-style-type: none"> • 「自動スタンバイ」および「HDMIスタンバイスルー」の設定が「オフ」の場合、この設定は「オン」にできません。
オフ	無効にする場合

□ オーディオリターンチャンネル (初期値: オン)

HDMI接続したARC機能対応テレビの音声を、本機と接続したスピーカーで聴くことができます。

オン	テレビの音声を本機のスピーカーで聴く場合
オフ	ARC機能を使用しない場合

□ ネットワークスタンバイ (初期値: オン)

この機能を「オン」に設定すると、スタンバイ状態でもネットワーク機能が働き、Onkyo Controllerなど本機をコントロールできるアプリケーションを使用して、ネットワーク経由で本機の電源をオンにすることができるようになります。

- この機能を「オン」に設定すると、スタンバイ状態での消費電力が増加しますが、必要最小限の回路のみが作動するHYBRID STANDBYモードに自動で移行して、消費電力の増加を最小限に抑制します。なお、この機能を「オフ」に設定した場合でも、HDMI CEC (→p74)、HDMIスタンバイスルー (→p74)、Bluetooth Wakeup (→p75)のいずれかの機能を有効に設定しているときは、設定に関わらず「オン」の状態になります。
- ネットワークへの接続が切断されると、消費電力の抑制のため「ネットワークスタンバイ」が無効になる場合があります。この場合は、リモコンや本体の電源ボタンで電源をオンにしてください。

□ Bluetoothによる起動 (初期値: オフ)

本機がスタンバイ時に、Bluetooth対応機器と接続することにより、本機を起動させる機能です。「4. Bluetooth」-「Bluetooth受信機能」を「オン」に設定している場合に有効です。

オン	この機能を使用する場合 <ul style="list-style-type: none"> • この機能を「オン」に設定すると、スタンバイ状態での消費電力が増加しますが、必要最小限の回路のみが作動するHYBRID STANDBYモードに自動で移行して、消費電力の増加を最小限に抑制します。
オフ	この機能を使用しない場合 <ul style="list-style-type: none"> • 「4. Bluetooth」-「Bluetooth受信機能」を「オフ」に設定している場合、この設定は「オフ」に固定されます。 • 「4. Bluetooth」-「Bluetooth受信機能」-「自動入力切り換え」を「オフ」に設定している場合も、この設定は「オフ」に固定されます。

- 「ネットワークスタンバイ」、「Bluetoothによる起動」が選択できない場合は、しばらくお待ちください。ネットワーク機能が起動すると選べるようになります。



3. ネットワーク

ネットワーク機能についての設定を変更することができます。

- DHCPでLANを構築している場合は「DHCP」の設定を「Enable」にして自動設定してください。(初期値では「Enable」になっています) また、各機器に固定IPアドレスを割り当てる場合は、「DHCP」の設定を「Disable」にして「IPアドレス」の設定で本機にアドレスを割り当て、サブネットマスクとゲートウェイなどお使いのLANに関する情報を設定する必要があります。

□ Wi-Fi (初期値: オフ (有線))

無線LAN対応ルーター経由で、本機をネットワークに接続します。

- 「オン」「Off(Wired)」を切り換える時にはNetworkサービスを停止してください。また、グループ再生を行っている場合は、一度グループを解除してから切り換える設定をしてください。

オン	無線LANで接続する場合
オフ (有線)	有線LANで接続する場合

□ Wi-Fi Setup (初期値 :-)

「Start」が表示された状態でENTERボタンを押して、無線LANの設定を行います。

□ Wi-Fi 接続状態 (初期値 :-)

接続しているアクセスポイントの情報が表示されます。

SSID	接続しているアクセスポイントのSSID
感度	接続しているアクセスポイントの信号強度
ステータス	接続しているアクセスポイントの状態

□ MAC アドレス (初期値 :-)

本機のMACアドレスを確認します。
この値は機器固有のものであり、変更はできません。

□ DHCP (初期値 : 有効)

有効	DHCPで自動設定する
無効	DHCPを使わず手動設定する • 「Disable」を選んだ場合、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」、「DNSサーバー」は手動で設定してください。

□ IPアドレス (初期値 : 0.0.0.0)

IPアドレスを表示・設定します。

□ サブネットマスク (初期値 : 0.0.0.0)

サブネットマスクを表示・設定します。

□ ゲートウェイ (初期値 : 0.0.0.0)

ゲートウェイアドレスを表示・設定します。

□ DNSサーバー (初期値 : 0.0.0.0)

DNSサーバー (プライマリ) を表示・設定します。

□ プロキシURL (初期値 :-)

プロキシサーバーのURLを表示・設定します。

□ プロキシポート (初期値 : 8080)

「プロキシURL」入力時にプロキシサーバーのポート番号を表示・設定します。



3. ネットワーク

□ フレンドリーネーム (初期値: Onkyo TX-8470 XXXXXX)

ネットワーク接続している機器側で表示される本機の機種名をわかりやすい名前に変更します。

1. ENTERボタンを押し、Edit画面を表示させます。
2. カーソルで文字・記号を選び、ENTERボタンを押します。
この操作をくり返して最大31文字まで入力します。
「A/a」: 大文字/小文字が切り換わります。
「←」「→」: 矢印の方向にカーソルが移動します。
「☒」: カーソルの左側の文字を1文字消去します。
「□」: 1文字分スペースが入ります。
• リモコンのCLRボタンを押すと、入力した文字をすべて消去します。
3. 入力が終われば、カーソルで「OK」を選び、ENTERボタンを押します。
入力した名前が保存されます。

□ AirPlay (初期値: On)

AirPlay機能の使用/不使用を設定します。

オン	この機能を使用する場合
オフ	この機能を使用しない場合

□ AirPlayデバイス名 (初期値: Onkyo TX-8470 XXXXXX)

AirPlay接続している機器側で表示される本機の機種名をわかりやすい名前に変更します。

1. ENTERボタンを押し、Edit画面を表示させます。
2. カーソルで文字・記号を選び、ENTERボタンを押します。
この操作をくり返して最大31文字まで入力します。
「A/a」: 大文字/小文字が切り換わります。
「←」「→」: 矢印の方向にカーソルが移動します。
「☒」: カーソルの左側の文字を1文字消去します。
「□」: 1文字分スペースが入ります。
• リモコンのCLRボタンを押すと、入力した文字をすべて消去します。
3. 入力が終われば、カーソルで「OK」を選び、ENTERボタンを押します。
入力した名前が保存されます。
• Home Appに本機を登録した場合、この機能は使用することができません。



3. ネットワーク

□ AirPlayパスワード (初期値:-)

入力したユーザーのみがAirPlayを利用できるよう最大31文字のパスワードを設定することができます。

1. ENTERボタンを押し、Edit画面を表示させます。
 2. カーソルで文字・記号を選び、ENTERボタンを押します。
この操作をくり返して最大31文字まで入力します。
「A/a」: 大文字/小文字が切り換わります。
「←」「→」: 矢印の方向にカーソルが移動します。
「⌫」: カーソルの左側の文字を1文字消去します。
「␣」: 1文字分スペースが入ります。
 - リモコンのMENUボタンを押すと、パスワードを「*」で表示するか入力した文字をそのまま表示するか切り換えます。
 - リモコンのCLRボタンを押すと、入力した文字をすべて消去します。
 3. 入力が終われば、カーソルで「OK」を選び、ENTERボタンを押します。
入力したパスワードが保存されます。
- Home Appに本機を登録した場合、この機能は使用することができません。

□ プライバシーステートメント (初期値::同意しない)

ログイン名、Eメールアドレス、パスワードなどを必要とするネットワークサービスを使用する場合、当社プライバシーステートメントへお客様の同意が必要です。

- この設定はプライバシーステートメントの確認後に設定できます。
- この設定を「Not Accepted」に設定すると、本機で記憶しているログイン名、Eメールアドレス、パスワードなどが削除され、ログインしていたネットワークサービスからログアウトされます。

□ ネットワーク確認 (初期値:-)

ネットワークの接続状態を確認します。

「Start」が表示された状態でENTERボタンを押してください。

- 「3. ネットワーク」が選択できない場合は、しばらくお待ちください。ネットワーク機能が起動すると選べるようになります。



4. Bluetooth

Bluetooth機能についての設定を変更することができます。

- 「4. Bluetooth」が選択できない場合は、しばらくお待ちください。Bluetooth機能が起動すると選べるようになります。

(Bluetooth受信機能)

□ Bluetooth受信機能 (初期値: オン)

Bluetooth対応機器の音声を本機で受信する機能の使用/不使用を設定します。

オン	この機能を使用する場合
オフ	この機能を使用しない場合

□ 自動入力切り換え 自動入力切り換え(初期値: オン)

Bluetooth対応機器側から本機に接続した状態で再生すると、本機の入力切換を自動的に「BLUETOOTH」に切り換えることができます。

オン	Bluetooth対応機器の再生に対応して、入力切換を自動で「BLUETOOTH」にします。
オフ	この機能を無効にします。 <ul style="list-style-type: none"> 自動的に入力切換が切り換わらない場合は、「オフ」に設定して、手動で入力切換を設定してください。

□ 自動接続 (初期値: オン)

入力切換を「BLUETOOTH」に切り換えると、自動的に最後に接続していたBluetooth対応機器と接続する機能です。

- ご使用のBluetooth対応機器によっては、この機能が働かないことがあります。

オン	この機能を使用する場合
オフ	この機能を使用しない場合

□ ペ어링情報 (初期値: -)

本機に保存されているペ어링情報を初期化することができます。ペ어링済みの機器と接続できなくなった場合にお試しください。(→p91)

「Clear」が表示された状態でENTERボタンを押すと、本機に保存されているペ어링情報が初期化されます。

- Bluetooth対応機器側のペ어링情報は初期化されません。再度その機器と本機をペ어링する際は、Bluetooth対応機器側のペ어링情報を消去してから行ってください。ペ어링情報の消去については、Bluetooth対応機器の取扱説明書をご参照ください。

□ デバイス (初期値: -)

接続されているBluetooth対応機器の名前が表示されます。

- 「ステータス」が「待機中」や「ペ어링」の場合は、名前は表示されません。

□ ステータス (初期値: -)

接続されているBluetooth対応機器の状態が表示されます。

待機中	ペ어링されていない
ペ어링	ペ어링中
接続済み	接続完了



4. Bluetooth

(Bluetooth送信機能)

□ Bluetooth送信機能 (初期値: オフ)

本機の音声をBluetooth対応機器に送信する機能の使用/不使用を設定します。

オン (Tx)	この機能を使用する場合(Bluetooth対応機器のみで再生)
オン (メイン + Tx)	この機能を使用する場合(本機とBluetooth対応機器の両方で再生)
オフ	この機能を使用しない場合

□ デバイスを検索する (初期値: -)

本機の音声を受信可能なBluetooth対応機器を検索します。「Start」を選び、ENTERボタンを押します。受信可能なBluetooth対応機器の名前が一覧表示されます。カーソル▲/▼ 上/下で接続する機器を選び、ENTERボタンを押すと、ペアリングが開始されます。

□ アウトプットレベル (初期値: 可変)

ボリュームの調整を本機で行うか、Bluetooth対応機器で行うかを選択することができます。

可変	本機のボリュームを使用する場合
固定	Bluetooth対応機器のボリュームを使用する場合

□ aptX HD (初期値: オフ)

Bluetooth対応機器と本機とをaptX HD方式で接続することができます。

- 受信機側のコーデックがaptX HDに対応している必要があります。

オン	この機能を使用する場合
オフ	この機能を使用しない場合

□ 低遅延設定 (初期値: オフ)

ゲーム画面視聴中など、テレビの映像に対してBluetooth接続した機器から再生される音声が遅れて聞こえる場合、音声の遅延を低減することができます。

オン	この機能を使用する場合
オフ	この機能を使用しない場合

□ ペアリング情報 (初期値: -)

本機に保存されているペアリング情報を初期化することができます。ペアリング済みの機器と接続できなくなった場合にお試しください。(→p91)

「Clear」が表示された状態でENTERボタンを押すと、本機に保存されているペアリング情報が初期化されます。

- Bluetooth対応機器側のペアリング情報は初期化されません。再度その機器と本機とをペアリングする際は、Bluetooth対応機器側のペアリング情報を消去してから行ってください。ペアリング情報の消去については、Bluetooth対応機器の取扱説明書をご参照ください。

□ デバイス (初期値: -)

接続されているBluetooth対応機器の名前が表示されます。

- 「ステータス」が「待機中」や「ペアリング」の場合は、名前は表示されません。

□ ステータス (初期値: -)

接続されているBluetooth対応機器の状態が表示されます。

待機中	ペアリングされていない
ペアリング	ペアリング中
接続済み	接続完了
接続済み (aptX)	aptX対応の機器との接続完了
接続済み (aptX HD)	aptX HD対応の機器との接続完了



5. Works with SONOS

Sonos Portと接続する場合の設定を変更することができます。

(SONOS-1/SONOS-2)

□ 入力セレクト (初期値: オフ)

本機とSonos Portを接続した入力端子を選択します。

- 「オフ」を選択すると、Sonosとの連動機能が無効になります。

□ 接続機器 (初期値: -)

本機と同じネットワークに接続されているSonos Portの名前を表示します。ENTERボタンを押すと、接続しているSonos Portを選択することができます。

- Sonos Port以外の製品 (Play:3などの出力端子を持たない製品) も機器一覧に表示され、選択することができてしまいます。その場合、Sonos側の再生が開始されると入力が切り換わりませんが、音声は出力されません。接続されているSonos Portのルームネームを選択してください。
- Sonos製品一覧画面に表示できるのは32台までになります。連動したいSonos Portが見つからない場合は、前の画面に戻り連動しない製品の電源を切ってから、再度お試しください。
- この機能を使用するには、あらかじめ「入力セレクト」を設定しておいてください。

□ 出力ゾーン (初期値: メイン)

音楽を聴きたいゾーンを選びます。

- この機能を使用するには、あらかじめ「Input Selector」を設定しておいてください。

メイン	メインルーム (本機のある部屋) にのみ音声を出力します。
ゾーン 2	別室 (ゾーン 2) にのみ音声を出力します。
メイン/ゾーン2	メインルームと別室 (ゾーン 2) の両方に音声を出力します。

□ 音量プリセット (初期値: メイン=最終値 / ゾーン 2=最終値)

Sonos Portを再生するときのボリュームをあらかじめ設定しておくことができます。メインルーム (本機のある部屋) と別室 (ゾーン 2) で異なるボリュームを設定することができます。「最終値」(スタンバイ状態前の音量)、「最小」、「0.5」～「99.5」、「最大」から選びます。

- この機能を使用するには、あらかじめ「入力セレクト」を設定しておいてください。



6. ファームウェアアップデート

□ アップデート通知 (初期値:有効)

更新可能なファームウェアが存在する場合、ネットワーク経由で更新を通知します。

有効	通知する場合
無効	通知しない場合

□ バージョン (初期値:-)

現在のファームウェアのバージョンを表示します。

□ ネットワーク経由のアップデート (初期値:-)

ネットワーク経由でファームウェアを更新するときにENTERボタンを押して選択します。

- インターネットに接続していない場合や、更新可能なファームウェアが存在しない場合は、この設定は選択できません。

□ USB経由のアップデート (初期値:-)

USB経由でファームウェアを更新するときにENTERボタンを押して選択します。

- USBストレージを接続していない場合や、USBストレージに更新可能なファームウェアが存在しない場合は、この設定は選択できません。
- 「6. ファームウェアアップデート」が選択できない場合は、しばらくお待ちください。ネットワーク機能が起動すると選べるようになります。

7. ロック

セットアップメニューの設定を変更できないようにすることができます。

□ セットアップ項目 (初期値:解除)

セットアップメニューをロックして、設定を変更できないようにします。

ロック	ロックを設定
解除	ロックを解除



8. ファクトリーリセット

すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

「Start」を選び、ENTERボタンを押します。

- 「ファクトリーリセット」を行うと、お客様の設定内容が初期値に戻りますので、実行前に、設定内容をメモなどに記録してください。

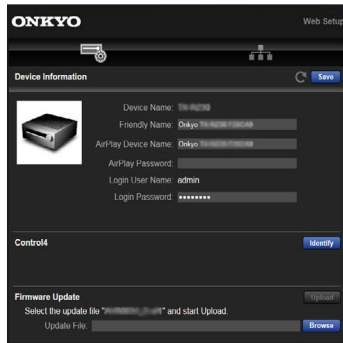


Web Setup

メニュー操作

本機のネットワーク機能に関する設定などをPCやスマートフォンなどのインターネットブラウザを使って設定することができます。

1. リモコンのSETUPボタンを押して、セットアップメニューを表示させます。
2. カーソルで「3. ネットワーク」を選び、「IPアドレス」に表示されるIPアドレスをメモします。
3. PCやスマートフォンなどのインターネットブラウザを起動し、URL欄に本機のIPアドレスを入力します。
4. ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。下記を入力して「OK」をクリックします。
ユーザー名: admin (固定)
パスワード: admin (初期値)
 - ブラウザを閉じた場合は、再度入力が必要です。
5. パスワードの変更を行います。
 - パスワードは忘れないようにメモなどに記録してください。忘れてしまった場合は、本機をリセットして(→p87)初期値 (admin) でログインし直してください。
6. インターネットブラウザに本機の情報 (Web Setup画面) が表示されます。



7. 設定の変更後は、「Save」を選んで設定を保存してください。

Device Information

Friendly NameまたはAirPlay Device Nameの変更やAirPlay Passwordの設定などができます。

Control4 : Control4システムをお使いの場合に本機を登録します。

Firmware Update : PCにダウンロードしたファームウェアファイルを選んで、本機をアップデートできます。

Network Setting

Status : 本機のMACアドレスと、IPアドレスなどのネットワークに関する情報を確認できます。

Network Connection : ネットワークの接続方法を選択できます。「Wireless」を選んだ場合は、「Wi-Fi Setup」から接続するアクセスポイントを選んで接続してください。

DHCP : DHCPの設定を変更できます。「オフ」を選んだ場合、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」、「DNSサーバー」は手動で設定してください。

Proxy : プロキシサーバーのURLを表示・設定します。



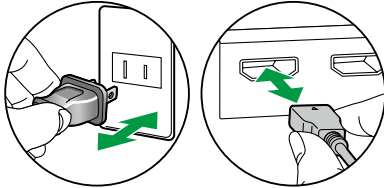
困ったときは

はじめにお読みください	86
動作が不安定なときは	87
再起動をお試しください	87
本機のリセット（設定内容は初期化されます）	87
電源を入れたときに表示される初期設定をオフにする	88
故障かなと思ったら	89
■ 電源	89
■ 音声	89
■ 映像	90
■ 連動動作	91
■ AM/FM放送に関して （北米モデルとヨーロッパモデル）	91
■ BLUETOOTH機能	91
■ ネットワーク機能	93
■ USBストレージ	94
■ 無線LANネットワーク	94
■ マルチゾーン機能	95
■ リモコン	95
■ 表示部	95
■ その他	95



はじめにお読みください

トラブルは接続や設定、操作方法を見直す以外にも、電源のオン/オフ、電源コードの抜き差しで改善することがあります。本機や接続している機器の両方でお試ください。また、映像や音が出ない、HDMI連動ができないなどの場合、接続しているHDMIケーブルの抜き差しを行うと改善することもあります。差し直す際は、HDMIケーブルが巻かれていると接触が悪くなりますので、なるべく巻かずに差し直してください。差し直したあとは、本機と接続している機器の電源を一度オフにし、再度電源を入れ直してください。



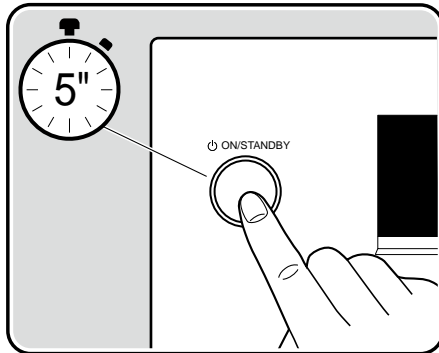
- 本機はマイクロコンピュータにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約5秒後にあらためて電源プラグを差し込んでください。
- 製品の故障により正常に録音・録画できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については補償対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音・録画できることを確認の上、録音・録画を行ってください。



動作が不安定なときは

□ 再起動をお試しください

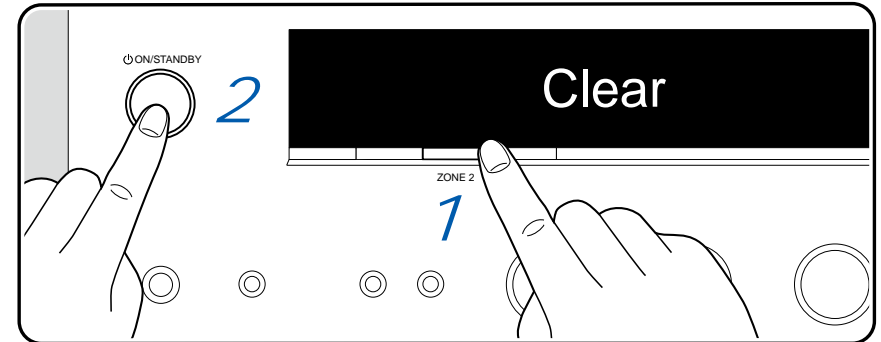
本機を再起動すると改善することがあります。本機の電源をスタンバイにして5秒以上待ってから、本体のON/STANDBYボタンを5秒以上押し続けて、本機を再起動してください。（本機の設定内容は保持されます。）再起動しても改善しない場合は、本機や接続機器の電源コードやHDMIケーブルの抜き差しをお試しください。



□ 本機のリセット（設定内容は初期化されます）

再起動で改善しない場合は、本機をリセットして、すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すことで、トラブルが解消されることがあります。リセットを行うと、お客様の設定内容が初期値に戻りますので、以下の操作をする前に、設定内容をメモなどに記録してください。なお、初期設定の操作中は本機をリセットすることはできません。以下の操作をする前に、RETURNボタンを押して初期設定を終了してください。

1. 本機の電源がONの状態では本体のZONE 2ボタンを押しながら、ON/STANDBYボタンを押します。
2. 表示部に「Clear」が表示されてスタンバイ状態に戻ります。表示部から「Clear」が消えるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。



電源を入れたときに表示される初期設定をオフにする

Wi-Fiの接続が完了していない、または有線LAN接続が行われていない場合、電源を入れると初期設定が表示されます。

初期設定を表示させなくするには、表示中にRETURNボタンを5秒以上長押しします。

- 設定を元に戻すには初期化(→[p87](#))が必要になりますので、ご注意ください。



故障かなと思ったら

■ 電源

□ 本機の電源が切れる

- セットアップメニューの「2. コントロール」-「自動スタンバイ」が作動すると、自動でスタンバイ状態になります。
- 本機の温度が異常に上昇して保護回路機能が作動した可能性があります。この場合、電源を入れ直してもまた電源が切れる状態がくり返されます。本機の周りに十分な換気スペースを確保して、本機の温度が下がるまでしばらく待ってから電源を入れ直してください。

(→p75)

警告: 煙が出ている、変なにおいがする、異様な音がするなど、少しでも異常を感じたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社の修理窓口にご連絡ください。

■ 音声

- 接続した機器の出力端子と、本機の入力端子が正しく接続されているか確認してください。
- 接続ケーブルが、折れ曲がったり、ねじれたり、破損したりしていないことを確認してください。
- 表示部に「MUTING」と表示し、表示部のMUTE表示が点滅している場合、リモコンのMUTINGボタンを押して消音を解除してください。
- ヘッドホンをPHONES端子に接続しているときは、スピーカーから音は出ません。

以上を確認しても改善されない場合、以下を確認してください。

□ テレビの音が出ない

- 本機の入力切換を、テレビと接続した端子のポジションに切り換える必要があります。
- テレビがARC機能に対応していない場合は、HDMIケーブルの接続に加えて、光デジタルケーブルまたはオーディオ用ピンケーブルでテレビと本機を接続してください。

(→p24)

□ 接続した再生機器の音が出ない

- 本機の入力切換を、再生機器と接続した端子のポジションに切り換える必要があります。
- 接続した機器でのデジタル音声出力の設定を確認してください。DVD対応のゲーム機など、機器によっては初期設定がオフになっていることがあります。
- 一部のDVD-Videoディスクでは、メニューから音声出力形式を選ぶ必要があります。

□ スピーカーから音が出ない

- スピーカーコードの+/-は正しく接続されているか、むき出しの芯線部分がスピーカー端子の金属部分と接触していないか確認してください。
- スピーカーコードがショートしていないことを確認してください。
- スピーカーの接続が正しく行われているか、「スピーカーケーブルを接続する」(→p18)をご確認ください。

(→p18)



□ ノイズが聴こえる

- コード留めを使ってオーディオ用ピンケーブル、電源コード、スピーカーコードなどを束ねると音質が劣化するおそれがあります。コードを束ねないようにしてください。
- オーディオケーブルが雑音を拾っている可能性があります。ケーブルの位置を変えてみてください。

□ HDMIに入力した音声の冒頭部分が聴こえない

- HDMI信号は、ほかの音声信号に比べて認識するのに時間がかかるため、音声がすぐに出力されない場合があります。

□ 音が急に小さくなった

- 本機の内部温度が一定の温度を超えた状態で長時間お使いになると、回路保護のために自動で音量を絞る場合があります。

■ 映像

- 接続した機器の出力端子と、本機の入力端子が正しく接続されているか確認ください。
- 接続ケーブルが、折れ曲がったり、ねじれたり、破損したりしていないことを確認してください。
- テレビの映像が乱れる場合は、本機の電源コードや接続ケーブルが干渉している場合があります。テレビのアンテナ線と本機のケーブル類を離してお試してください。
- テレビなど、モニター側での入力画面の切り換えを確認してください。

以上を確認しても改善されない場合、以下を確認してください。

□ 映像が出ない

- 本機の入力切換を、再生機器と接続した端子のポジションに切り換える必要があります。

□ HDMI入力端子に接続した機器の映像が出ない

- 本機の電源がスタンバイ状態の場合、接続した再生機器の映像をテレビに映し出すにはセットアップメニューの「2. コントロール」-「HDMIスタンバイスルー」を有効にする必要があります。
- HDMI入力端子から入力した映像が出ないとき、本機の表示部に「Resolution Error」と表示されていませんか？この場合テレビが、プレーヤーから入力した映像の解像度に対応していません。プレーヤー側で設定を変更してください。
- HDMI-DVIアダプターを使っている場合は、正常な動作は保証されません。また、PCから出力される映像信号についても保証されません。
- Deep Colorの機能をオフに切り換えてみてください。Deep Color機能をオフにするには、本体のZONE2 OFFボタンを押しながら、表示部に「Deep Color: Off」が表示されるまでENTERボタンをくり返し押ししてください。Deep Color機能をオンするには、上記の手順で「Deep Color: On」が表示されるまでボタンを押ししてください。

(→p74)

□ 映像がちらつく

- テレビの対応解像度が再生機器の出力解像度に適合していない可能性があります。再生機器と本機をHDMI接続している場合は、再生機器側の出力解像度を変更してお試してください。また、テレビの画面モードを変更すると、改善される場合があります。



■ 連動動作

□ テレビなどのCEC対応機器とのHDMI連動動作が働かない

- 本機のセットアップメニューの「2. コントロール」-「HDMI CEC」の設定を「オン」にする必要があります。
- CEC対応機器側もHDMI連動の設定が必要です。取扱説明書でご確認ください。

(→p74)

■ AM/FM放送に関して (北米モデルとヨーロッパモデル)

□ 放送が受信しづらい、ノイズが多い

- アンテナの接続をもう一度確認してください。
- アンテナをスピーカーコードや電源コードから離してください。
- テレビやコンピューターから離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- モノラル受信 (→p42) に変更してみてください。
- AM受信時、リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。(北米モデル)
- テレビに配線されている壁面のアンテナ端子を利用するとFM受信がクリアになることがあります。

(→p28)

■ BLUETOOTH機能

- 本機の電源抜き差しや、Bluetooth対応機器の電源オン/オフなどをお試しください。Bluetooth対応機器の再起動が効果的な場合もあります。
- Bluetooth対応機器がA2DPプロファイルに対応している必要があります。
- 電子レンジ、コードレス電話機など2.4 GHz帯の電波を使用する機器の近くでは電波干渉を起こしますので使用できないことがあります。
- 周囲に金属製の物があると、電波に影響を及ぼし、Bluetooth接続ができない場合があります。

以上を確認しても改善されない場合、以下を確認してください。

□ Bluetooth対応機器 (PCやスマートフォンなど) から本機への送信ができない

- Bluetooth対応機器のBluetooth機能が有効になっているか確認してください。

□ Bluetooth対応機器 (PCやスマートフォンなど) から本機への接続ができない

- ペ어링情報を初期化して、もう一度ペ어링を行ってください。
はじめに本機に保存されているすべてのペ어링情報を消去します。セットアップメニューの「4. Bluetooth」-「Bluetooth受信機能」-「ペ어링情報」を選び、「Clear」が表示された状態でENTERボタンを押します。
次にBluetooth対応機器側に保存されている本機のペ어링情報を消去します。ペ어링情報の消去については、Bluetooth対応機器の取扱説明書をご参照ください。

最後にもう一度ペ어링を行います。ペ어링方法については、「Bluetooth対応機器の音声の本機で再生する」 (→p39) をご参照ください。

□ 本機からBluetooth対応機器 (ワイヤレスヘッドホンなど) への送信ができない

- 本機の「Bluetooth送信機能」設定が「オン (Tx)」または「オン (メイン + Tx)」になっているか確認してください。



□ 本機からBluetooth対応機器（ワイヤレスヘッドホンなど）への接続ができない

- Bluetooth対応機器のBluetooth機能が有効になっているか確認してください。
- ペ어링情報を初期化して、もう一度ペ어링を行ってください。
はじめに本機に保存されているすべてのペ어링情報を消去します。セットアップメニューの「4. Bluetooth」-「Bluetooth送信機能」-「ペ어링情報」を選び、「Clear」が表示された状態でENTERボタンを押します。
次にBluetooth対応機器側に保存されている本機のペ어링情報を消去します。ペ어링情報の消去については、Bluetooth対応機器の取扱説明書をご参照ください。
最後にもう一度ペ어링を行います。ペ어링方法については、「本機からBluetooth対応機器へ音声を送信する」(→p40)をご参照ください。

□ Bluetooth接続しているのに音楽の再生ができない

- 本機またはBluetooth対応機器のボリューム設定が小さいと、音声が再生されないことがあります。本機またはBluetooth対応機器のボリューム設定をご確認ください。
- Bluetooth対応機器によっては、送信/受信切換スイッチが搭載されている場合があります。ご利用になる用途に応じて設定を切り換えてお試しください。
- Bluetooth対応機器の特性や仕様によっては、本機で音楽を再生できない場合があります。

□ 音声が途切れる

- Bluetooth対応機器に問題が発生している可能性があります。ホームページなどで情報を調べてみてください。

□ Bluetooth対応機器との接続後、音質が低下した

- 受信状態がよくありません。Bluetooth対応機器を本機に近づける、またはBluetooth対応機器と本機の間にある障害物を取り除いてください。



■ ネットワーク機能

- ネットワークサービスを選択できない場合は、ネットワーク機能が起動すると選べるようになります。起動には約1分かかることがあります。
- NET表示が点滅している場合、本機がホームネットワークに正しく接続できていません。
- 本機とルーターの電源抜き差しや、ルーターの再起動などをお試しください。
- アクセスポイント一覧に該当のルーターが表示されないときは、無線LANルーターがSSIDを隠す設定になっている場合や、ANY接続がオフになっている場合があります。設定を変えてお試しください。

以上を確認しても改善されない場合、以下を確認してください。

□ インターネットラジオが聴けない

- サービスプロバイダーがサービスを終了していると、本機でそのネットワークサービスやコンテンツを利用できなくなる場合があります。
- モデムとルーターが正しく接続され、電源が入っているか確認してください。
- ルーターのLAN側ポートと本機が正しく接続されているか確認してください。
- 他の機器からインターネットに接続できるか確認してください。できない場合、ネットワークに接続されているすべての機器の電源をオフにし、しばらくしてからオンにしてみてください。
- ISPによってはプロキシサーバーを設定する必要があります。
- お使いのISPがサポートしているルーターやモデムを使用しているか確認してください。

□ ネットワークサーバーが使用できない

- 本機とネットワークサーバーは同じルーターに接続する必要があります。
- 本機が対応しているネットワークサーバーは、Windows Media® Player 12またはホームネットワーク機能対応のNASです。
- Windows Media® Playerは設定が必要な場合があります。「Music Server」をご確認ください。
- PCを使用する場合は、Windows Media® Playerのライブラリに登録されている音楽ファイルのみが再生できます。

(→p63)

□ ネットワークサーバーで音楽ファイルを再生しているときに音が途切れる

- ネットワークサーバーが動作に必要な条件を満たしているか確認してください。
- PCをネットワークサーバーにしている場合、サーバーソフトウェア（Windows Media® Player 12など）以外のアプリケーションソフトを終了させてみてください。
- PCで大きな容量のファイルをダウンロードしたりコピーしている場合は再生音が途切れる場合があります。



■ USBストレージ

□ USBストレージが表示されない

- USBストレージやUSBケーブルが本機のUSB端子にしっかりと差し込まれているか確認してください。
- USBストレージをいったん本機から外し、再度接続してみてください。
- 本機のUSB端子から電源供給を受けるタイプのハードディスクの動作は保証できません。
- コンテンツの種類によっては正常に再生できないことがあります。対応フォーマットをご確認ください。
- セキュリティ機能付きのUSBストレージの動作は保証できません。

(→p61)

■ 無線LANネットワーク

• 本機と無線LANルーターの電源の抜き差しや、無線LANルーターの電源オン状態の確認、および無線LANルーターの再起動などをお試しください。以上を確認しても改善されない場合、以下を確認してください。

□ 無線LANネットワークに接続できない

- 無線LANルーターの設定が手動設定に切り換わっている場合があります。自動設定に戻してください。
- 手動でのセットアップをお試しください。つながる場合があります。
- 無線LANルーターがSSIDを隠す設定（ステルスモードなど）になっている場合や、ANY接続がオフになっている場合は、表示されません。設定を変えてお試しください。
- SSIDおよび暗号化設定が正しいか確認してください。ネットワークの設定と本機の設定内容を合わせてください。
- マルチバイト文字で設定されているSSIDへの接続は対応していません。無線LANルーターのSSIDを英数字で設定しなおして再度お試しください。

□ 選択したSSIDとは異なるSSIDに接続される

- 無線LANルーターによっては、1台で複数のSSIDを設定できるものがあります。このようなルーターに自動設定ボタンを使って接続すると、接続したいSSIDとは異なるSSIDに接続される場合があります。この場合、パスワード入力による接続を行ってください。

□ 再生音が途切れたり通信できない

- 電波状態が悪いため、電波が届かないことがあります。無線LANルーターからの距離を短くしたり、障害物をなくしたりして、見通しを良くしてから接続し直してください。また、電子レンジや他のアクセスポイントから離して設置してください。無線LANルーターと本機は、同じ部屋に配置することを推奨します。
- 周囲に金属製の物があると、電波に影響を及ぼし、無線LANの接続ができない場合があります。
- 他の無線LANを本機の近くで使用すると、再生音が途切れたり通信できないなど他にも色々な症状が発生することがあります。このような場合は無線LANルーターのチャンネルを変更することで回避できます。変更方法は無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 無線LANで使用する帯域が不足している可能性があります。有線LANで接続してください。



■ マルチゾーン機能

□ 外部接続のAV機器の音声をゾーン出力できない

- 外部接続のAV機器の音声をゾーン2 出力するには、オーディオ用ピンケーブルでの接続が必要です。HDMIケーブルや同軸デジタルケーブル、光デジタルケーブルでの接続ではゾーン2 出力できません。

□ その他

- NET入力切替からの音声信号の場合、DSD音声信号はゾーン出力できません。

■ リモコン

- 電池の極性を間違えて挿入していないか確認してください。
- 新しい電池を入れてください。種類が異なる電池、新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。
- 本体の受光部が直射日光やインバータータイプの蛍光灯の光に当たらないようにしてください。必要に応じて位置を変えてください。
- 本体を色付きのガラス扉が付いたラックやキャビネットに設置したり、扉が閉じているとリモコンが正常に機能しないことがあります。

■ 表示部

□ 表示部が点灯しない

- Dimmer機能が働いていると表示部が薄暗くなります。DIMMERボタンを押して、表示部の明るさを変えてください。
- リスニングモードがPure Audioになっていると表示部の電源がオフになります。

(→[p10,p15](#))

(→[p10](#))

■ その他

□ 本体から異音聞こえる

- 本機と同系統のコンセントに他の機器を接続している場合、その機器の影響を受けて異音が発生する場合があります。他の機器の電源プラグをコンセントから抜いて症状が改善される場合は、本機とその機器を別系統のコンセントに接続してください。



仕様について



主な仕様

アンプ (音声) 部	北米と日本モデル	ヨーロッパ、中東、アフリカ、アジアモデル
定格出力*	<p>(北米モデル) With 8 ohm loads, both channels driven, from 20Hz-20kHz; rated 110 watts per channel minimum RMS power, with no more than 0.08% total harmonic distortion from 250 milliwatts to rated output.</p> <p>(日本モデル) 150 W × 2チャンネル (1 kHz、全高調波歪率 0.7%以下、6 Ω、非同時駆動、JEITA) 110 W × 2チャンネル (20 Hz - 20,000 Hz、全高調波歪率 0.08%以下、8 Ω、2チャンネル駆動時、JEITA)</p>	2 ch × 140 W at 4 or 6 ohms, 1 kHz, 2 ch driven of 1% THD 2 ch × 120 W at 8 ohms, 1 kHz, 2 ch driven of 1% THD
実用最大出力 *	<p>(北米モデル) 210 W at 6 ohms, 1 kHz, 2 ch driven of 10% THD</p> <p>(日本モデル) 2 ch × 190 W at 6 ohms, 1 kHz, 2 ch driven of 10% THD</p>	2 ch × 170 W at 6 ohms, 1 kHz, 2 ch driven of 10% THD (JEITA)
総合ひずみ率	0.08%以下 (20 Hz - 20,000 Hz、定格)	
入力感度/インピーダンス	200 mV/32 kΩ (LINE(RCA))、4 mV/47 kΩ (PHONO MM)、0.4 mV/110 Ω (PHONO MC)	
RCA定格出力電圧/インピーダンス	PRE OUT : 1 V/470 Ω	
	LINE OUT : 200 mV/470 Ω	
PHONO最大許容入力電圧	70 mV (MM 1 kHz 0.5%)、7 mV (MC 1 kHz 0.5%)	
周波数特性	5 Hz - 100 kHz/+1 dB、-3 dB (DIRECT/Pure Audio)	
トーンコントロール最大変化量	±10 dB、100 Hz (Bass)、±10 dB、10 kHz (Treble)	
SN比	106 dB (IHF-A、LINE IN、SP OUT)、 76 dB (IHF-A、PHONO MM 5mV IN、SP OUT)、 60 dB (IHF-A、PHONO MC 0.5mV IN、SP OUT)	
スピーカー適応インピーダンス	4 Ω - 16 Ω	



ヘッドホン定格出力	80 mW + 80 mW (32 Ω、1 kHz、10% THD)
ヘッドホン適応インピーダンス	8 Ω - 600 Ω
ヘッドホン周波数特性	5 Hz - 100 kHz (Direct/Pure Audio)

*定格出力は2chで定格負荷の1/8出力（正弦波）している状態です。実用最大出力は大きな出力を一時的に使用する事を想定しています。

AM/FMチューナー部	北米モデル	ヨーロッパモデル
FM受信範囲	87.5 MHz - 107.9 MHz	87.5 MHz - 108.0 MHz、RDS
50 dB SN感度 (FM MONO)	2.8 μV, 20.2 dBf (IHF、1 kHz、100% MOD)	
AM受信範囲	530 kHz - 1710 kHz	-
DAB受信範囲	-	174.928 MHz - 239.200 MHz (Band III)
DAB感度	-	-100 dBm (Min.) (Band III)
プリセットチャンネル数	40	

Bluetooth部	北米と日本モデル	ヨーロッパ、中東、アフリカ、アジアモデル
通信システム	Bluetooth Specification version 4.2	
周波数帯域	2.4GHz (2.402-2.480GHz)	
変調方式	FHSS (周波数ホッピングスペクトラム拡散)	
対応プロファイル	A2DP 1.3.1, AVCTP 1.4, AVDTP 1.3, AVRCP 1.6.1	
対応コーデック	受信: SBC, AAC 送信: SBC, aptX, aptX HD	
伝送範囲 (A2DP)	20 Hz - 20 kHz (サンプリング周波数 44.1 kHz)	
最大通信距離	遮蔽物の無い見通し約15 m (*) (*)実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。	



HDMI	北米と日本モデル	ヨーロッパ、中東、アフリカ、アジアモデル
入力		4
出力		1

	HDMI IN *1				HDMI OUT
	BD/DVD	CBL/SAT	PC	GAME	
bandwidth	40Gbps	40Gbps	40Gbps	40Gbps	40Gbps
ALLM	✓	✓	✓	✓	✓
Gaming-VRR	✓	✓	✓	✓	✓
QFT	✓	✓	✓	✓	✓
SBTM	✓	✓	✓	✓	✓
DSC	✓	✓	✓	✓	✓
Uncompressed	8K/60p 4:2:0	8K/60p 4:2:0	8K/60p 4:2:0	8K/60p 4:2:0	8K/60p 4:2:0
Compressed (TV needs DSC)	8K/60p 4:4:4	8K/60p 4:4:4	8K/60p 4:4:4	8K/60p 4:4:4	8K/60p 4:4:4
ARC *2					✓
HDR10 / HLG (BT.2020)	✓	✓	✓	✓	✓
HDR10+	✓	✓	✓	✓	✓

*1 対応音声フォーマット：2チャンネルリニアPCM (32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz, 176.4 kHz, 192 kHz, 16/20/24 bit)、DSD (2.8 MHz)

*2 ARC対応音声フォーマット：PCM



対応入力解像度	フレームレート	カラースペース	Color depth	HDMI Input
4K (3840x2160p)	24/25/30 Hz	YCbCr4:2:2	12 bit	✓
		YCbCr4:4:4/RGB	8 bit	✓
			10/12 bit	✓
4K SMPTE (4096x2160p)	48/50/60 Hz	YCbCr4:2:0	8 bit	✓
			10/12 bit	✓
		YCbCr4:2:2	12 bit	✓
			YCbCr4:4:4/RGB	8 bit
	100/120 Hz	YCbCr4:2:0	8/10/12 bit	✓
			12 bit	✓
		YCbCr4:4:4/RGB	8/10 bit	✓
			12 bit	✓(*1)
			12 bit	✓(*1)
5K (5120x2160p)	24/25/30 Hz	YCbCr4:2:2	12 bit	✓
		YCbCr4:4:4/RGB	8 bit	✓
			10/12 bit	✓
	48/50/60 Hz	YCbCr4:2:0	8/10/12 bit	✓(*2)
		YCbCr4:2:2	12 bit	✓
		YCbCr4:4:4/RGB	8 bit	✓
10/12 bit	✓			
8K (7680x4320p)	24/25/30 Hz	YCbCr4:2:0	8/10/12 bit	✓
		YCbCr4:2:2	12 bit	✓
		YCbCr4:4:4/RGB	8/10 bit	✓
			12 bit	✓(*1)
	48/50/60 Hz	YCbCr4:2:0	8/10 bit	✓
			12 bit	✓(*1)
		YCbCr4:2:2	12 bit	✓(*1)
		YCbCr4:4:4/RGB	8/10/12 bit	✓(*1)

(*1)DSC (Display Stream Compression) で圧縮された映像を入出力することができます。DSCは高い帯域幅が必要な高精細映像をHDMIで伝送することを実現する映像圧縮技術です。このビデオフォーマットで再生中は、AUDIO Menuや音量操作などを行っても画面に表示されません。

(*2)5K,48Hz,YCbCr4:2:0,8/10/12 bitには対応していません。



ネットワーク部	北米と日本モデル	ヨーロッパ、中東、アフリカ、アジアモデル
イーサネットLAN	1 (10BASE-T/100BASE-TX)	
無線LAN	対応規格 IEEE 802.11 a/b/g/n/ac準拠 (Wi-Fi® 準拠)、5 GHz/2.4 GHz帯	
<p>■ Music Server (→p63) 対応音声フォーマット</p>	<p>MP3 (.mp3)</p> <ul style="list-style-type: none"> • MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer-3/44.1 kHz、48 kHz/8~320 kbpsおよびVBR/2 ch <p>WMA (.wma)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 44.1 kHz、48 kHz/5~320 kbpsおよびVBR/2 ch <p>WAV (.wav)</p> <p>WAVファイルは非圧縮のPCMデジタルオーディオを含みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、76.4 kHz、192 kHz/8 bit、16 bit、24 bit/2 ch <p>AIFF (.aiff/.aif)</p> <p>AIFFファイルは非圧縮のPCMデジタルオーディオを含みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz、192 kHz/8 bit、16 bit、24 bit/2 ch <p>AAC (.aac/.m4a/.mp4/.3gp/.3g2)</p> <ul style="list-style-type: none"> • MPEG-2/MPEG-4 Audio/44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz/8~320 kbpsおよびVBR/2 ch <p>FLAC (.flac)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz、192 kHz/8 bit、16 bit、24 bit/2 ch <p>LPCM (Linear PCM)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 44.1 kHz、48 kHz/16 bit/2 ch <p>Apple Lossless (.m4a/.mp4)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz、192 kHz/16 bit、24 bit/2 ch <p>DSD (.dsf/.dff)</p> <ul style="list-style-type: none"> • DSF/DSDIFF/2.8 MHz、5.6 MHz、11.2 MHz/2 ch 	



USB Section	北米と日本モデル	ヨーロッパ、中東、アフリカ、アジアモデル
USB	2 (Front: Ver.2.0, 5 V/0.5 A, Rear: Ver.2.0, 5 V/1A)	
<p>■USB Storage Device(→p61) 対応音声フォーマット</p>	<p>MP3 (.mp3) <ul style="list-style-type: none"> • MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer-3/44.1 kHz, 48 kHz/8~320 kbpsおよびVBR/2 ch </p> <p>WMA (.wma) <ul style="list-style-type: none"> • 44.1 kHz, 48 kHz/5~320 kbpsおよびVBR/2 ch </p> <p>WAV (.wav) WAVファイルは非圧縮のPCMデジタルオーディオを含みます。 <ul style="list-style-type: none"> • 44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz, 176.4 kHz, 192 kHz/8 bit, 16 bit, 24 bit/2 ch </p> <p>AIFF (.aiff/.aif) AIFFファイルは非圧縮のPCMデジタルオーディオを含みます。 <ul style="list-style-type: none"> • 44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz, 176.4 kHz, 192 kHz/8 bit, 16 bit, 24 bit/2 ch </p> <p>AAC (.aac/.m4a/.mp4/.3gp/.3g2) <ul style="list-style-type: none"> • MPEG-2/MPEG-4 Audio/44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz/8~320 kbpsおよびVBR/2 ch </p> <p>FLAC (.flac) <ul style="list-style-type: none"> • 44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz, 176.4 kHz, 192 kHz/8 bit, 16 bit, 24 bit/2 ch </p> <p>Apple Lossless (.m4a/.mp4) <ul style="list-style-type: none"> • 44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz, 176.4 kHz, 192 kHz/16 bit, 24 bit/2 ch </p> <p>DSD (.dsf/.dff) <ul style="list-style-type: none"> • DSF/DSDIFF/2.8 MHz, 5.6 MHz, 11.2 MHz/2 ch </p>	



総合	北米と日本モデル	ヨーロッパ、中東、アフリカ、アジアモデル
電源・電圧	(北米モデル) AC 120 V, 60 Hz (日本モデル) AC 100 V, 50/60 Hz	AC 220 - 240 V, 50/60 Hz
消費電力	(北米モデル) 265 W (日本モデル) 210 W	275 W
完全スタンバイ時	0.2 W	0.2 W
ネットワークスタンバイ (有線) 時	(北米モデル) 1.7 W (日本モデル) 1.6 W	1.8 W
ネットワークスタンバイ (無線) 時	1.5 W	1.6 W
BLUETOOTHによる起動時	(北米モデル) 1.6 W (日本モデル) 1.5 W	1.7 W
HDMI CEC スタンバイ時	0.2 W	0.3 W
スタンバイモード (オールオン) 時	(北米モデル) 2.0 W (日本モデル) 2.1 W	2.2 W
最大外形寸法 (幅×高さ×奥行)	435 mm × 149.5 mm × 329 mm 17-1/8" × 5-7/8" × 12-15/16"	
質量	9 kg (19.8 lbs.)	



音声入力	北米と日本モデル	ヨーロッパ、中東、アフリカ、アジアモデル
アナログ	4 (PHONO×1 を含む)	
デジタル	3 (COAXIAL×1、OPTICAL×2) <ul style="list-style-type: none"> デジタル入力から入力されるPCM信号 (ステレオ/モノラル) のサンプリングレート : 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz/16 bit、20 bit、24 bit 	

音声出力	北米と日本モデル	ヨーロッパ、中東、アフリカ、アジアモデル
アナログ	MAIN PRE OUT L/R ×1、 SUBWOOFER PRE OUT ×1、 ZONE 2 PRE/LINE OUT ×1	
スピーカー	SPEAKERS A L/R ×1 (バナナプラグ対応)、 SPEAKERS B L/R ×1 (バナナプラグ対応)	SPEAKERS A L/R ×1、 SPEAKERS B L/R ×1
ヘッドホン	1 (ø 6.3 mm, 1/4")	

仕様および外観は予告なく変更することがあります。

☐ → [ライセンスと商標](#)



ONKYO

SN 29404180_Ja

© Copyright 2024 Premium Audio Company Technology Center K.K. All rights reserved. ©2024 Premium Audio Company Technology Center K.K. Tous droits de reproduction et de traduction réservés.

Privacy Policy, available at [<https://www.onkyo.com/privacy/>].

O2410-0